

1550、1570、1575、1580、1585 シリーズ TerrainCut™ フロントモア



JOHN DEERE

取扱説明書

1500 シリーズ TerrainCut™ フロント モア

OMTCU39327 L3 版 (JAPANESE)

John Deere Turf Care

輸出版
Printed in U.S.A.

概要

John Deere の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます

当社はお客様に感謝し、末永く機械を安全に満足してご利用いただけるよう願っています。

OUO1082,0000A47-40-19SEP13

必要な排出ガス関連情報

整備会社

修理工場または所有者の選任したスタッフは、純正部品または同等品を使用して、排出ガス制御装置とシステムのメンテナンス、交換、修理を行うことができます。ただし、John Deere によって支払われる保証、リコール、その他のすべての整備は、認定 John Deere サービスセンターで行う必要があります。

DX,EMISSIONS,REQINFO-40-08DEC23

オペレータマニュアルの使用

このマニュアルは機械の重要な部分です。機械を売却する場合は一緒に引き渡してください。

オペレータマニュアルを読み、ユーザーやその他の人のけが、または機械の損傷の防止に役立ててください。このマニュアルでは、最も安全で最も効果的な機械の使用について説明しています。この機械の安全で正しい操作方法を理解することにより、この機械を操作することがある他の人を訓練することもできます。

アタッチメントを所有している場合は、機械のオペレータマニュアルと一緒にアタッチメントのオペレータマニュアルの安全および操作情報を使用して、アタッチメントを安全に正しく操作してください。

このマニュアルと機械上の安全標示ラベルは、他の言語でも入手可能です (注文するには、認定取扱店にお問い合わせください)。

オペレータマニュアルの各セクションは、すべての安全メッセージの理解とコントロール類の学習を進めやすいように特定の順序で配置されています。したがって、この機械を安全に操作できます。また、このマニュアルを使用して、特定の運転や整備に関する質問に答えることもできます。このマニュアルの最後にある便利な索引を使用すると、必要な情報をすばやく見つけることができます。

このマニュアルに示す機械は、お客様の機械とは少し異なる場合がありますが、説明を理解するうえで十分な類似性を有しています。

「右側」と「左側」は、前進している機械の進行方向に向かった状態で判断します。破線 (-----) が使用されている場合、参照しているアイテムは表示されていません。

この機械を納入する前に、取扱店は機械が最高の性能を発揮できるよう納品前点検を実施しています。

OUO1082,0000A48-40-19SEP13

機械の用途

この機械は、通常のユーティリティ作業、公園および居住環境のメンテナンスでの使用、適切な農作業、冬季の作業用に設計されています。他の方法に使用すると、使用目的に反していると見なされます。

この機械は、転倒および落下物に対する保護構造 (FOPS) を装備していない限り、林業で使用することはできません。オペレータステーションは、FOPS を装備していない限り、その環境の乗員を十分に保護することはできません。

メーカーから購入できるキャビンは、危険物質に対して適切に保護するように設計されていません。オペレータは適切な保護具を着用してください。

メーカーは、このような誤使用の結果として生じた損傷やけがについて一切責任を負いません。これらの危険はすべてユーザーが負う必要があります。また、メーカーの指定する操作、整備、修理の条件を順守し、厳密に従うことも使用目的の必須要素です。

本機の操作、整備および修理は、本機のすべての特性を理解し、関連する安全上の規則 (事故の防止策) を熟知している者に限り行うことができます。事故防止規則、一般的に認められている安全衛生上の規則、交通法規を常に順守する必要があります。

製造時の仕様を超える燃料供給の設定や出力の超過を行った場合、本機の保証対象外となる場合があります。

この機械を勝手に改造した場合、その結果として生じる損傷やけがに対してメーカーはすべての責任を免除されます。

MX00654,00001B3-40-17OCT13

特殊なメッセージ

このマニュアルには、潜在的な安全上の懸念、機械の損傷に注意をうながす特殊なメッセージに加え、役に立つ運転および整備情報が掲載されています。すべて

概要

の情報を注意深く読み、けがや機械の損傷を防止してください。

⚠ 注意： けがを防止してください。この記号とテキストは、危険要素や手順を無視した場合に発生する可能性がある、オペレータや近くにいる人の潜在的な危険または死亡事故の可能性について強調しています。

重要： 損傷を防止してください。このテキストは、機械の損傷の原因になる可能性があるオペレータの操作や条件を伝えるために使用されています。

注記： オペレータが機械を運転または整備するときに役立つ一般情報は、このマニュアル全体にわたって掲載されています。

OUO1082,0000A49-40-19SEP13

機械の装置

お客様の機械がローントラクターであるか、コンパクトユーティリティトラクターであるか、ユーティリティ機械であるかに関係なく、機械でより多くの作業を実施したり、多機能な機械にしたりすることできる John Deere 装置 / キットを取り揃えています。

JohnDeere.com でお客様の機械に適した装置の製品ライン全体を確認するか、John Deere 取扱店にお問い合わせください。エアレーターから電動リフトキットさらにチラーに至るまで、すべてのニーズを満たす John Deere アタッチメント/キットがあります。

OUO1082,0000A4A-40-19SEP13

目次

製品識別.....	5
安全ラベル.....	6
安全.....	11
コントロールの操作.....	19
機械の操作.....	24
交換部品.....	37
整備間隔.....	38
潤滑関連の整備.....	40
エンジンの整備.....	43
トランスミッションの整備.....	56
ステアリングとブレーキの整備.....	60
電気の整備.....	63
その他の整備.....	68
トラブルシューティング.....	76
保管.....	78
組み立て.....	80
仕様.....	85
法規遵守の宣言.....	91
サービスに関する声明.....	93
整備記録.....	94

本文書は翻訳版です。このマニュアルに掲載の全ての情報、画像、仕様は、発行時の情報に基づいています。予告なしに変更されることがあります。

COPYRIGHT © 2023
DEERE & COMPANY
Moline, Illinois
All rights reserved.
Previous Editions
Copyright © 2014

製品識別

識別番号の記録

フロントモア

OUMX068,0000689-40-14AUG17

1550 PIN (040001 ~)

1570 PIN (040001 ~)

1575 PIN (040001 ~)

1580 PIN (040001 ~)

1585 PIN (040001 ~)

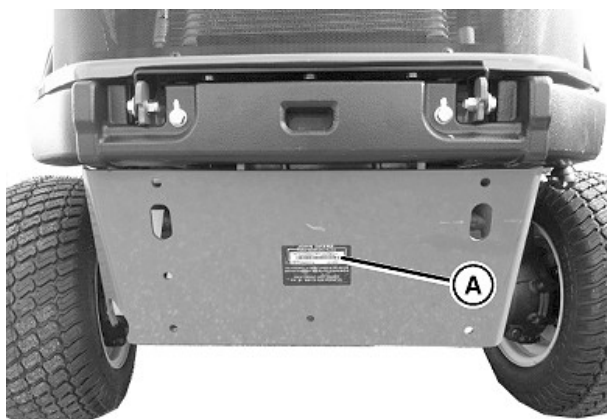
整備に関する情報を認定サービスセンターに問い合わせる必要がある場合は、製品モデルと識別番号を必ず伝えてください。

製品の識別番号の場所を確認する必要があります。下の空欄に情報を記録してください。

購入日 :

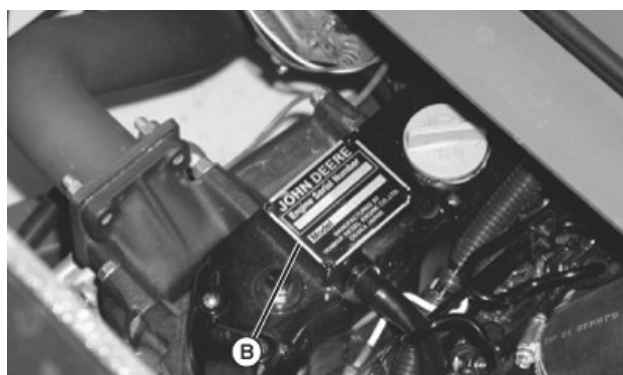
販売店名 :

販売店電話番号 :



TCT007876—UN—11JUL13

製品識別番号 (A) :

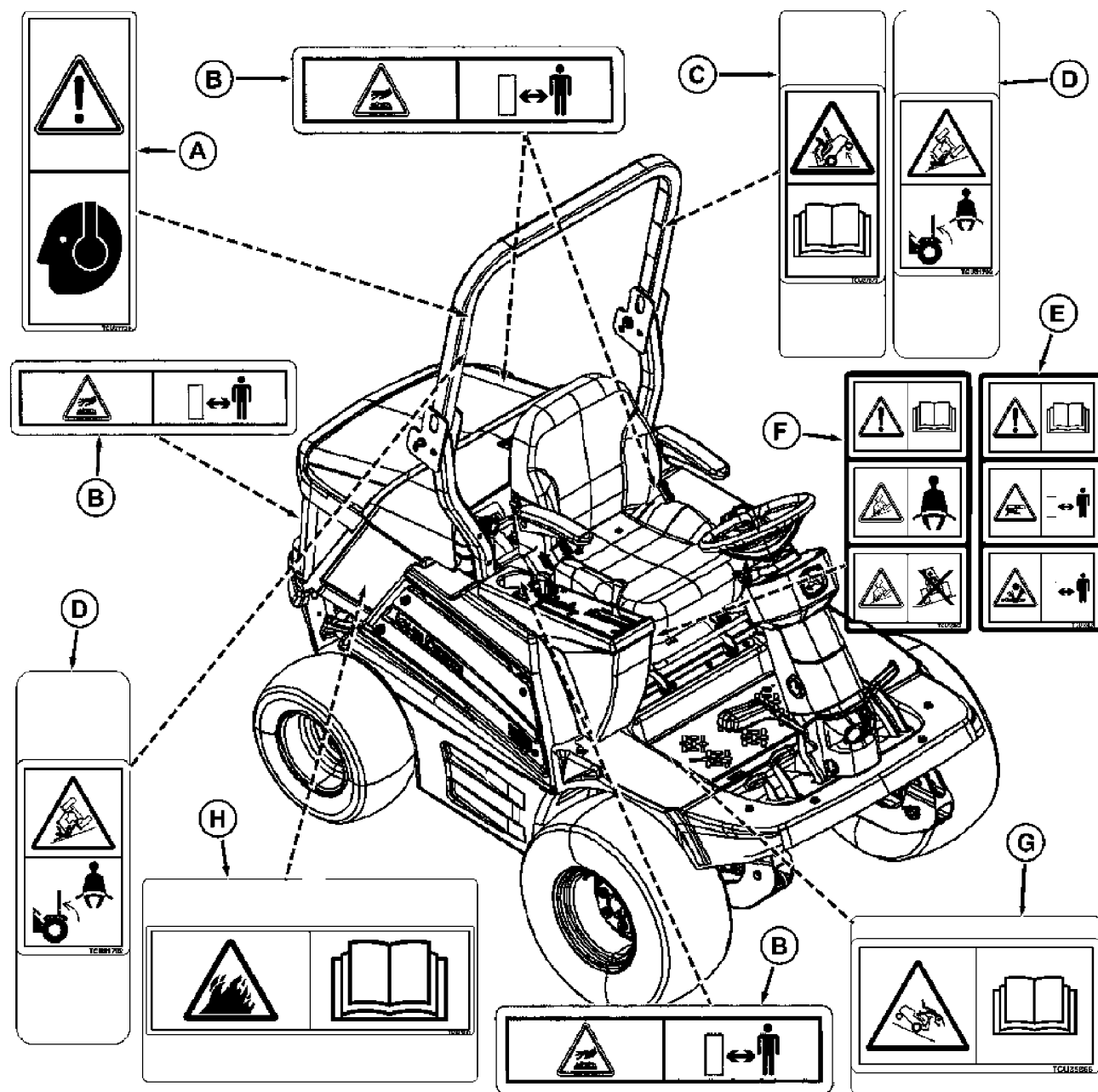


TCAL43291—UN—14MAR13

エンジンシリアル番号 (B) :

安全ラベル

安全ラベルの位置 (キャブなし)



TCT008017—UN—29OCT15

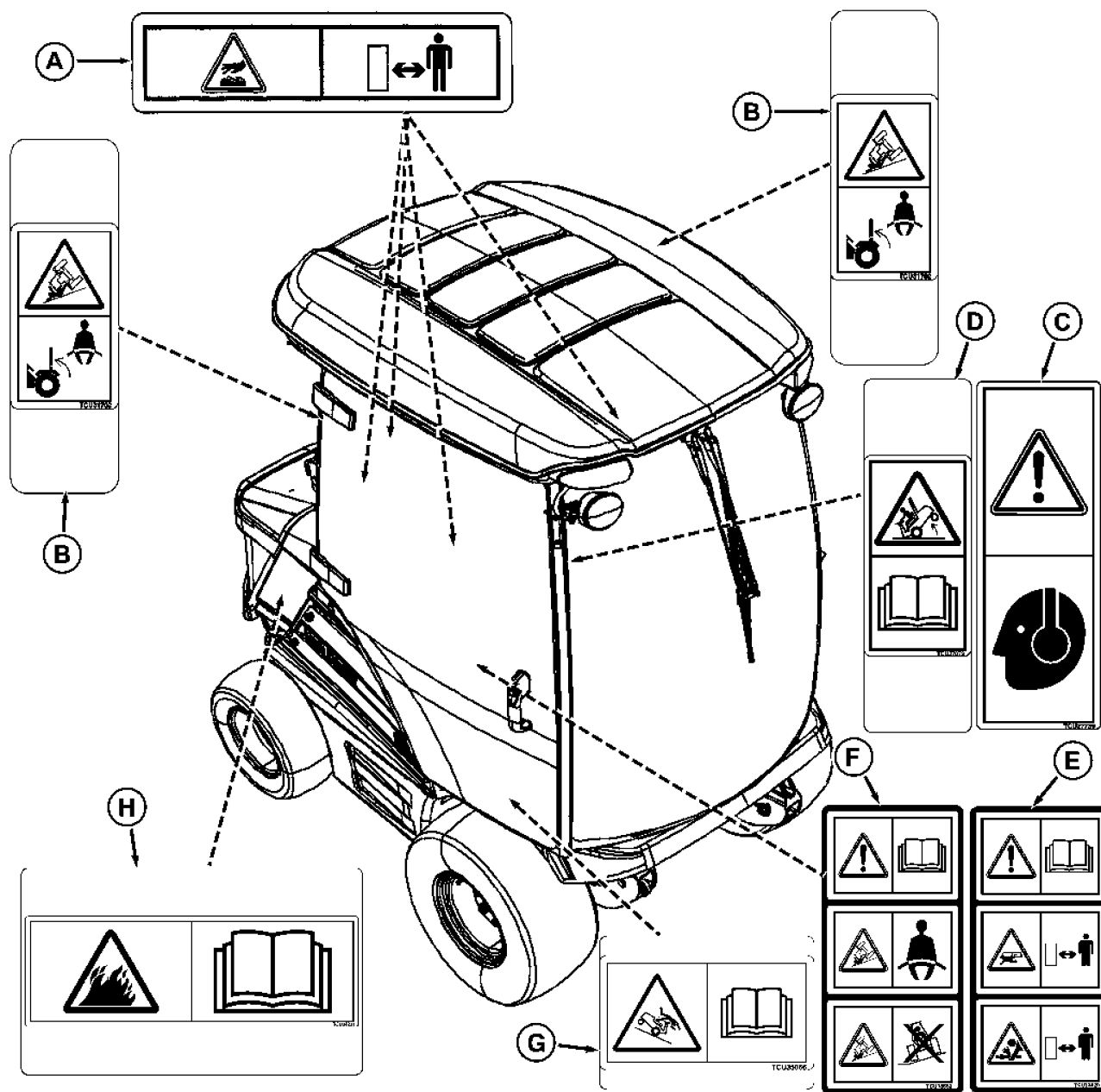
A : 騒音によるけがの防止 TCU27739
 B : 高温面に注意 TCU13555 (後部に 2 箇所、シートの背後に 2 箇所)
 C : 転倒によるけがの防止 TCU37873
 D : 挟み込み防止 TCU31702

E : けがの防止 TCU13520
 F : けがの防止 TCU36506
 G : ステアリング制御と安定性の維持 TCU35866
 H : 装置火災によるけがの防止 TCU34231

OOU2005.00000A5-40-06JUL16

安全ラベル

安全ラベルの位置 (キャビン付きの場合)



TCT009078—UN—03NOV15

- A : 高温面に注意 TCU13555 (後部に 2 箇所、シートの背後に 2 箇所)
 B : 挟み込み防止 TCU31702
 C : 騒音によるけがの防止 TCU27739
 D : 転倒によるけがの防止 TCU37873

- E : けがの防止 TCU13520
 F : けがの防止 TCU36506
 G : ステアリング制御と安定性の維持 TCU35866
 H : 装置火災によるけがの防止 TCU34231

OUO2005.000028F-40-06JUL16

安全ラベル

絵入りの安全標示ラベル



TCT005498—UN—11SEP12

この機械のいくつかの重要な場所には、潜在的な危険を知らせるために安全標示ラベルが貼られています。危険要素は、警告用三角ラベルの絵で示されます。隣接する絵はけがを防ぐための情報を提供します。これらの安全標示ラベル、機械上のラベルの位置、および簡単な説明をこの「安全」セクションに示します。

販売業者から供給される部品については、このオペレータマニュアルに転載されていない追加の安全情報が存在する可能性があります。

OUMX068,000067C-40-19MAR14

挟み込み防止



TCAL25049—UN—24MAY12

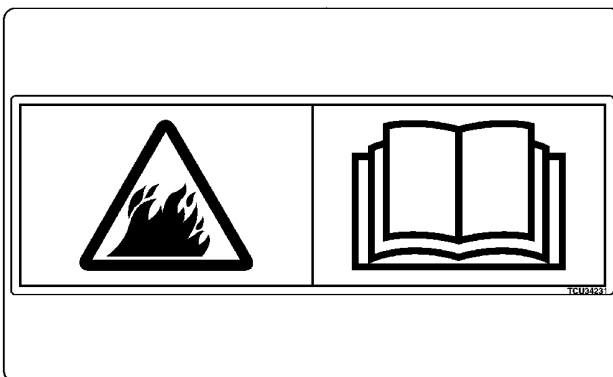
- 横転保護構造を完全に伸長させてください。
- 機械が傾いたときは、機械から飛び降りないでください
- シートベルトの着用

横転保護構造を下す必要がある場合：

- シートベルトは着用しないでください。
- 十分注意して運転してください。

OUC02005,0000120-40-16AUG13

装置火災の防止



TCT010624—UN—19MAR14

装置の火災を回避してください。

熱くなっている部分や可動部分に草、葉、ごみが詰まると、火災の原因になります。

使用前後と使用中に機械を点検してください。

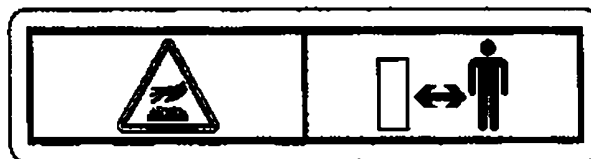
清掃する前にエンジンを止めて、機械の温度を下げてください。

機械全体を点検して清掃し、以下の場所には特に注意してください。

1. マフラーおよび排気システム
2. エンジンおよびエンジンスクリーン
3. モアデッキの上およびシールドの下

OUMX068,000067F-40-19MAR14

高温面



TCAL45198—UN—10APR13

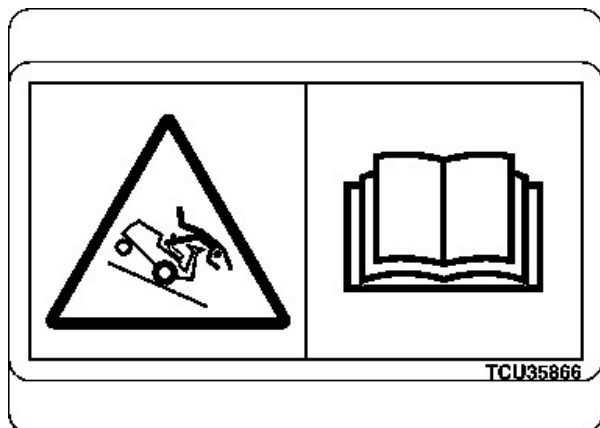
高温面に近づかないでください。

OUC02005,0000121-40-16AUG13

安全ラベル

ステアリング制御と安定性の維持

ステアリング制御と安定性を維持してください

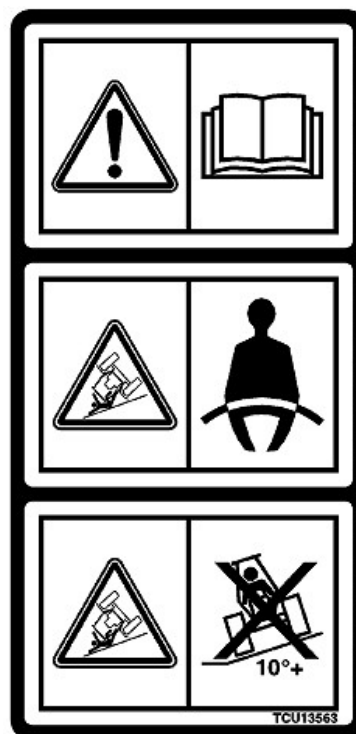


TCT008321—UN—14AUG13

- バラストに関する推奨事項については、オペレータマニュアルを参照してください。

OUC02005,00000A9-40-16AUG13

けが防止



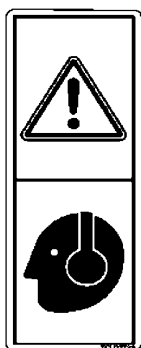
TCT008322—UN—14AUG13

けがを防止してください

- オペレータトレーニングが必要です。
- 横転するおそれのある場所では機械を操作しないでください。
- 絶対に他の人を同乗させないでください。
- 上部との隙間が少ない場所で作業するために禁止されていない限り、ROPS (転倒時保護構造) を上げる必要があります。
- ROPS を下げていない限り、シートベルトを着用してください。
- 機械から離れる前に：
 - 装置を地面まで下げます。
 - エンジンを停止します。
 - パーキングブレーキをかけます。
 - キーを抜きます。
- 10 度を超える傾斜面では絶対にこの機械を操作しないでください。

OUC02005,00000AB-40-16AUG13

大きな騒音によるけがの防止



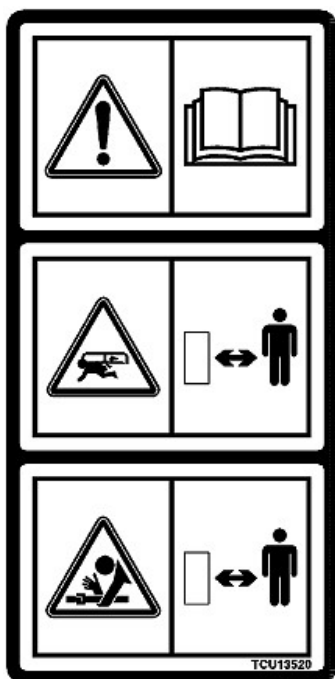
TCAL45197—UN—10APR13

- 騒音に長期間さらされると、難聴や聴力障害の原因となることがあります。
- 適切な聴覚保護具を着用してください。

OUC02005,0000122-40-16AUG13

安全ラベル

けが防止



TCT008323—UN—14AUG13

けがを防止してください

- オペレータトレーニングが必要です。
- オペレータマニュアルをお読みください。
- すべてのコントロールについて確認してください
- シールドを所定の位置に取り付けてください。
- すべての安全装置を維持してください。
- 後退する前に、後をよく確認してください。
- 子供や他の人を近づけないでください。
- 動力で駆動される部品から離れてください。

OUC02005,00000AC-40-16AUG13

横転によるけがの防止



TCT010623—UN—19MAR14

横転によるけがの防止：

- 装置を取り外しているときは、低速で運転し、急停止を避けて急旋回や傾斜地を避けてください。
- 輸送時は装置を下げた状態に維持してください。

OUMX068,000067D-40-19MAR14

必須のオペレータトレーニング

- 取扱説明書、アタッチメントのマニュアル、および他のトレーニング資料をよくお読みください。オペレータや整備士が英語を読めない場合、所有者はこの資料について説明する責任があります。このマニュアルは他の言語でも用意されています。
- 装置の安全な操作、オペレータコントロール、安全標示ラベルをよく理解してください。
- すべてのオペレータと整備士がトレーニングを受けてください。機械の所有者はユーザーのトレーニングについて責任があります。
- 年齢、身体能力、および知的能力は装置関連のけがの要因になることがあります。オペレータは、機械を適切かつ安全に操作できる知的能力および身体的能力を有する必要があります。
- 子供またはトレーニングを受けていない人に絶対に装置の操作や整備をさせないでください。現地の法規制によりオペレータの年齢が限定される場合があります。
- 所有者 / ユーザーは自分自身、他の人、所有物に対し事故やけがを予防でき、またそうする責任があります。
- 機械の操作は、障害物のない広々とした場所で、熟練したオペレータの指導の下で行ってください。
- 装置を下げて動かさないで、作業エリアのテスト走行を行ってください。悪路を走行するときは、速度を落としてください。

OUO1082,000657E-40-15MAY18

準備

- 地形を評価して、作業を適切かつ安全に実行するために必要な付属品とアタッチメントを決定します。メーカーが認可している付属品とアタッチメントのみを使用してください。
- 安全メガネ、聴力保護用具を含む適切な衣服を着用してください。長髪、ゆったりした衣類、装飾品は可動部品に絡まる可能性があります。
- 装置を使用するエリアを点検します。機械で飛ばされる可能性がある石、玩具、ワイヤのなどの物体はすべてを取り除きます。
- ガソリンや他の燃料を扱うときは十分に注意してください。これらは可燃性があり、燃料蒸気は爆発性があります。
 - a. 認定された容器のみを使用してください。
 - b. エンジン運転中は、絶対にガスクラップを外したり燃料を補充しないでください。喫煙しないでください。
 - c. 絶対に屋内で機械への燃料の補給または抜き取りを行わないでください。
- オペレータプレゼンスコントロール、安全スイッチ、シールドが取り付けられ、正しく機能していることを点検してください。すべての安全装置が正し

く機能していない限り、機械を操作しないでください。

OUO1082,000657F-40-15MAY18

安全な操作

- 危険な一酸化炭素ガスが溜りやすい閉鎖された場所では絶対にエンジンを作動させないでください。
- 十分な明るさのある場合のみ、穴や隠れた危険を回避しながら操作してください。
- エンジンの始動前に、すべての駆動装置がニュートラルで、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。必ずオペレータ位置からエンジンを始動してください。装備されている場合はシートベルトを着用してください。
- 傾斜地では速度を落とし、特に注意を払ってください。傾斜地では必ず推奨されている方向に走行してください。本機では、傾斜面を上下に移動することはできませんが、斜面を横切る形では走行しないでください。芝の状態は作業機の安定性に影響することがあります。急斜面の近くでの作業中は注意してください。
- 傾斜地での旋回や方向転換は、減速して慎重に行ってください。
- ブレードが回転しているときは絶対にデッキを上げないでください。
- PTO シールドやその他のガードが所定の位置にしっかり配置されていない場合は、絶対に操作しないでください。すべてのインターロックが取り付けられ、適正に調整され、正しく機能していることを確認してください。
- グラスキャッチャを使用している場合を除き、絶対に排出デフレクタを上昇させて、取り外して、または改造して操作しないでください。排出シュートまたはグラスキャッチャ全体を所定の場所に取り付けていない状態でモアを使用しないでください。
- エンジンガバナの設定を変更したり、エンジンが過回転しないようにしてください。過度の回転数でエンジンを運転すると、けがの危険性が高くなります。
- グラスキャッチャを空にするまたはシュートの詰まりを除去するなどの理由により運転席から離れる前に、水平な場所に機械を停車し、装置を下げて駆動装置の接続を解除し、パーキングブレーキをかけ、エンジンを止めてください。
- 何かにぶつかった場合や異常な振動が起きた場合は、装置を止めてブレードを点検してください。必要な修理を行ってから作業を再開してください。
- カuttingユニットに手足を近づけないでください。
- 後退前に背後と下側を見て、進路に障害物がないことを確認します。
- 絶対に同乗者を乗せず、ペットや周囲の人を近づけないでください。
- 旋回する場合や、道路や歩道を横断する場合は、速

安全

度を落として慎重に操作してください。刈り作業中以外はブレードを停止してください。道路の近くで作業する場合や道路を横断する場合は、周りの交通状況に注意してください。

- モアの排出方向に注意し、人に向けないようにしてください。
- アルコールまたは薬物の影響を受けている間は、機械を操作しないでください。
- トレーラーやトラックへの機械の積み込み、積み下ろしの際は注意してください。
- 見通しの悪い曲がり角、植木の茂み、樹木、その他の視界を遮る物に近づいているときは注意してください。
- 操作する前に機械を点検してください。金具が締まっていることを確認してください。損傷、ひどい摩耗、または損失した部品を修理あるいは交換してください。ガードとシールドの状態が良好で所定の位置に固定されていることを確認してください。運転する前に必要な調整を行ってください。
- 使用前に、必ずブレード、ブレードのボルト、モアアセンブリが摩耗・損傷していないことを目視点検してください。ブレードとボルトは、摩耗や損傷がある場合には、バランスを保つためセットで交換してください。
- アクセサリやアタッチメントを取り付ける際は、安全ラベルが見えるように取り付けてください。
- 操作中にラジオや音楽用ヘッドフォンを着用しないでください。整備および操作を安全に行うには十分な注意が必要です。
- 機械に誰もいない状態で放置、保管、駐車するときは、確実な機械式ロックを使用していない限り、モアデッキを下げてください。

OUO1023.000044C-40-13MAR13

芝刈りエリアの確認



MXAL41932—UN—22MAY13

- 引き倒される可能性がある物を芝刈りエリアから除去します。芝刈りエリアへの人やペットの立入りを禁止します。
- 低く垂れ下がっている枝や同様の障害物でオペレータがけがをしたり、芝刈り作業が中断する可能性があります。刈り取りの前に、低く垂れ下がっている枝など、可能性のある障害物を確認し、これらの障害物を刈り込むか、取り除きます。
- 芝刈りエリアを調査してください。安全な芝刈りパターンを設定してください。駆動力や安定性が疑われる場所では、芝刈りを行わないでください。
- 装備されている場合はモアを下げて作動させずに、

領域のテスト走行を行ってください。悪路の上を走行する際は、速度を落としてください。

- 刈り取り作業対象の領域全体を調査し、本機を安全に操作できる勾配と、他のメンテナンス作業で維持する必要がある勾配を確認します。

MP47322,00F4617-40-05JUL17

安全な駐車

1. 機械を傾斜面ではなく水平な場所に停止します。
2. モアのブレードや他のアタッチメントをすべて解除します。
3. 装置を地面まで下げます。
4. 駐車ブレーキをロックします。
5. エンジンを停止します。
6. キーを抜きます。
7. オペレータシートを離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。
8. 燃料遮断弁を閉じます (機械に装備されている場合)。
9. 機械を整備する前に、バッテリーのマイナスケーブルの接続を外すか、スパークプラグワイヤを取り外します (ガソリンエンジンの場合)。

OUO1023.0000035-40-21FEB13

回転中のブレードは危険です。



MXAL41928—UN—18FEB13

- 回転しているブレードにより、腕や脚を切ったり、物が飛ばされる可能性があります。安全上の注意事項に従わない場合、重傷事故や死亡事故が発生する可能性があります。
- エンジン運転中は、モアデッキに手、脚、服を近づけないでください。
- 前進および後退とも、常に細心の注意を払ってください。オペレータが気づく前に、人、特に子供などが芝刈りエリアに急に入ることがあります。
- 後退する前に、モアブレードやアタッチメントを停止し、機械の下側や後ろに特に子供がいらないか慎重に確認してください。
- 後退しながら芝刈りを行わないでください。
- 刈り作業をしていないときは、ブレードを停止します。
- グラスキャッチャを空にする場合やシュートの詰ま

りを直す場合も含めて、何かの理由で運転席を離れる時は、必ず機械を安全に駐車してください。

MX00654,000001F-40-27MAR14

子供の保護

- 死亡や重傷事故は、誰かに芝刈り機に同乗させてもらった経験から幼い子供が芝刈り機を「楽しい物」としてとらえてしまっている場合に起こります。
- 子供は芝刈り機器や芝刈りの作業に対して関心を持つものです。回転中のブレードの危険性やオペレータが子供の存在に気付かないことを、彼らは理解できていません。
- 以前に機械に乗せてもらったことのある子供は、また乗せてもらいたくて刈り作業区域に突然入り込み、機械の前部や後部で轢かれる可能性があります。
- 子供の悲劇的な事故は、オペレータが子供の存在に気が付かない場合、特に子供が背後から機械に近づいた場合に起こる可能性があります。後退する前、および後退中は、モアのブレードを停止し、特に子供に注意して機械の下方と後方をよく確認してください。
- ブレードを外してある場合でも、絶対に子供を機械または付属装置に同乗させてはいけません。またカートやトレーに子供を乗せて引っ張ってはいけません。落ちて重傷を負ったり、機械の安全操作を妨げたりすることがあります。
- 本機は決してレクリエーション用 ビークル (RV) として、あるいは子供を楽しませるために使用しないでください。
- 子供、または訓練されていない者に機械を操作させてはいけません。本機や付属装置に子供を乗せないよう、オペレータ全員に指示してください。
- 芝刈り機の操作中、子供は屋内に入れて刈り区域に近づけないようにし、オペレータ以外の責任ある大人の監視下においてください。
- 子供の存在や出現を常に予期して操作を行ってください。子供は、つい今しがた居たところにはじっとしていないものと考えてください。作業区域に子供が入ってきたら機械を止めます。

OUO2005,0000217-40-05FEB13

傾斜面での操作

安全な操作のための傾斜の確認

- 傾斜面で作業する場合は、作業手順とルールを確立してください。手順には、刈り作業対象のエリア全域を調査し、どの斜面ならこの機械を安全に操作できるかの判断が含まれていなければなりません。常識と的確な判断をもって調査を行ってください。
- 長さ 1.2 m (4 ft) のまっすぐなランバー材を傾斜面に

置き、アングルインジケーターやプロトラクターにより傾斜角を測定します。

- 25° を超える傾斜角度では絶対に作業機で刈り作業や操作を行わないでください。
- 推奨される最大傾斜角の 25° を超えると転倒のリスクが増し、重傷や死亡につながるおそれがあります。
- 制御不能や転倒事故のリスクを判断する際は、予想される芝の状態と傾斜面の角度を必ず考慮します。
- 15° 以下の傾斜面では転倒のリスクは低いですが、傾斜角が John Deere が推奨する 25° の最大角度になるとリスクが中程度まで増大します。
- 推奨傾斜角度は基本構成の機械を対象としています。基本構成とは、モアデッキのみを装備し、キャビン、MCS またはその他の装置なしの構成です。キャビン、MCS、その他の装置を追加すると、横転の危険性が高くなり、推奨操作傾斜角度が小さくなります。

傾斜面での安全な操作

- 傾斜地は、重大なけがまたは死亡を招く可能性がある制御不能や転倒事故に関連する重要な要因です。傾斜地で操作する際は、いかなる場合でも特別な注意が必要となります。
- 傾斜面で不安を感じる場合には、刈り作業を行わないでください。
- 傾斜面での刈り作業は、斜面に対して横の方向ではなく上下方向に行います。
- 穴、わだち、隆起、石や岩、その他の隠れた物体などに注意してください。不均等な地形では機械が転倒するおそれがあります。背の高い草により障害物が隠れる可能性があります。
- 傾斜地で停車またはシフトする必要がないように低い対地速度を選択してください。
- タイヤのトラクションが失われていなくても、転倒することがあります。
- 芝が濡れているまたは滑りやすいときに移動する場合は注意してください。タイヤがトラクションを失う可能性があります。ブレーキが適切に機能している場合でも、傾斜地ではタイヤがトラクションを失うまたはスリップすることがあります。
- 傾斜面では、発進、停車、または旋回を避けます。タイヤのトラクションがなくなった場合は、PTO を解除し、斜面をゆっくり真直ぐに降りてください。
- 傾斜面ではすべての動きをゆっくりと徐々に行ってください。急に速度や方向を変えないでください。機械が横転する可能性があります。
- グラスキャッチャーやその他の装置を取り付けて機械を操作しているときは特に注意してください。これらは機械の安定性に影響を与える可能性があります。これらの装置は急な斜面では使用しないでください。
- 危険区域付近では刈り作業または機械の操作を行わないでください。機械が横転する原因となります。ホイールが縁に乗り上げたり、縁が崩れた場合は、機械が突然トラクションを失ったり、滑ったり、横

安全

転したりすることがあります。危険区域と刈り作業区域の間に、機械の幅以上の緩衝区域を維持します。

- 傾斜地で運転する場合、または機械の前部または後部に取り付ける装置を使用する場合は、安定性を高めるためにホイールウエイトやカウンターウエイトに関するメーカーの推奨事項に従ってください。不要な場合は、ウエイトを取り外してください。
- 装置を取り外している時は、機械を非常にゆっくりと運転し、急停止を避けてください。
- 傾斜面で作業する際は、装置を地面まで下ろした状態に維持します。傾斜面での作業中に装置を上げると、機械が不安定になるおそれがあります。
- 機械を輸送する際は、装置を下ろして安定性を確保します。

OUO2005,0000166-40-27MAR14

シートベルトの適切な着用



TCAL42361—UN—08MAR13

- 転倒時保護構造 (ROPS) を使用して機械を操作するときはシートベルトを着用し、転倒などの事故によるけがを防止してください。
- 折りたたみ式 ROPS を折りたたんだ位置にして機械を操作する場合は、シートベルトを使用しないでください。できるだけ早く折りたたみ式 ROPS を直立位置に戻してください。
- シートベルトの改造、分解、修理は行わないでください。
- シートベルトの取り付け具、バックル、ベルト、引き込み部に損傷の見られる場合は、シートベルト全体を交換してください。
- シートベルトと取り付け金具は少なくとも年に 1 回点検してください。金具の緩みや、ベルトの傷み (切れ、ほつれ、過剰または異常な擦り切れ、変色、摩耗など) の兆候に注意してください。John Deere 認定の交換部品のみを使用してください。
- 厚目の衣服の重ね着はシートベルトの正しい位置決め障害となり、ベルトの効果が低減する可能性があります。

OUO1023,0000454-40-11MAR14

ROPS (転倒時保護構造) の正しい使用

- 絶対に ROPS を取り付けないで機械を運転しないでください。
- ROPS を取り外さないでください。
- ROPS に損傷がないこと、すべての取り付け金具がしっかりと締め付けられていることを定期的に十分点検し、安全に作動する状態に ROPS を維持し

てください。ROPS の構造が緩んでいたり、何らかの理由で取り外されていたりする場合には、ROPS のすべての部品が正しく取り付けられていることを確認します。ROPS のすべての金具は、メーカー推奨事項にある適切なトルクで締め付けられている必要があります。

- 損傷している ROPS は交換してください。修理または改造しないでください。ROPS が構造的な損傷を受けた場合、横転事故にあった場合、または溶接、曲げ、穴あけ、または切断により何らかの改造を施された場合、ROPS の保護機能が損なわれます。メーカーの認定を維持するのに交換は必要です。
- シートは ROPS の安全ゾーンの一部です。John Deere 認定のシートのみで交換してください。
- 緊急時にシートベルトをすばやく外すことができることを確認してください。
- 損傷、改造された ROPS は絶対に修理しないでください。構造に関するメーカーの認定を維持するには、交換する必要があります。
- 障害物の下を運転する前に、頭上高 (枝、出入口、電気配線などと機械の隙間) を慎重に確認してこれらの物に接触しないでください。
- ROPS は一体型の有効な安全装置です。機械を運転中は、折りたたみ式 ROPS を上げてロック位置に維持してシートベルトを着用してください。
- 絶対に必要な場合のみ折りたたみ式 ROPS を一時的に下げてください。折りたたんでいるときは、シートベルトを着用しないでください。
- 折りたたみ式 ROPS を下げている場合、転倒保護機能はないことに注意してください。
- 刈り作業の区域を点検し、傾斜、急斜面、溝、盛り土、または水が多い場所がある区域では絶対に折りたたみ式 ROPS を折りたたまないでください。

MX00654,000001D-40-27MAR14

同乗の禁止

- 機械にはオペレータのみが乗り込むことができます。同乗は許可しないでください。
- 機械またはアタッチメントに同乗すると、異物にぶつかったり、機械から落ちて重傷を負う危険があります。
- また、同乗者はオペレータの視界を妨げて機械の安全な運転が損なわれます。

OUO2005,000021B-40-05FEB13

公道での安全運転

公道での衝突によるけがや、死亡事故が起きないように十分気をつけて下さい。

- 安全灯と安全装置を使用してください。特に夜間など、公道で運転する際に視認しにくい場合は、作業機を低速で動かしてください。

安全

- 公道を走行中は常に、地元に規制に従い、点滅警告灯をや方向指示器を使用してください。追加の点滅警告灯を取り付けなければならない場合もあります。

OUO2005,000021C-40-05FEB13

ホイール金具の点検

- ホイール金具がきちんと締めつけられていないと重大な事故が発生して大けがをするおそれがあります。
- 最初の 100 運転時間の間は、ホイール金具の締め具合を頻繁に点検してください。
- ホイール金具が緩んでいるときは常に、適切な手順に従って規定のトルクで締め付ける必要があります。

OUO2005,000021D-40-05FEB13

適切な衣服の着用



TCT015572—UN—24MAY18

- 機械の操作時は、安全ゴーグルまたはサイドシールド付きの安全メガネを必ず着用してください。
- ぴったりした衣類と作業に適した安全具を着用してください。
- 作業時には必ず作業靴と長ズボンを着用してください。裸足やサンダル履きで装置を操作しないでください。
- 耳栓などの適切な保護具を着用してください。騒音により難聴や聴力障害が起こることがあります。

TC00531,00001DE-40-26JUN18

安全な牽引

- 停車距離は、速度、牽引物の重量に伴い長くなります。ゆっくりと走行し、停止するまでの時間と距離の余裕を確保してください。
- 牽引総重量は、牽引する機械、バラスト、オペレータの重量を超えないでください。アタッチメントまたは牽引車両のオペレータマニュアルに記載されているとおりにカウンターウエイトまたはホイールウエイトを使用してください。
- 牽引荷重が過大な場合、トラクションが失われたり、傾斜地で制御できなくなる可能性があります。傾斜地での運転時は牽引重量を減らしてください。
- 被牽引装置に子供や他の人を絶対に乗せないでください。

- 認可されているヒッチのみを使用してください。牽引用のヒッチを備えた機械でのみ牽引してください。認可されたヒッチポイント以外の場所に被牽引装置を取り付けしないでください。
- 牽引式装置および傾斜地での牽引時の重量制限については、メーカーの推奨事項に従ってください。
- 牽引荷重がある状態で傾斜地を後退できない場合は、牽引荷重に対し傾斜がきつすぎます。牽引負荷を減らすか、運転しないでください。
- 急旋回しないでください。路面条件の悪いところでの方向転換や運転では、さらに注意してください。後退するときは、十分注意してください。
- 下り坂でギアをニュートラルに入れて惰走しないでください。

OUO1082,000634B-40-14FEB13

メンテナンスと保管



TCAL43414—UN—15MAR13

- 危険な一酸化炭素ガスが溜まりやすい閉鎖された場所では絶対に機械を操作しないでください。
- 駆動装置の接続を解除し、作業機を降ろし (装備されている場合)、駐車ブレーキをかけ、エンジンを止め、キーを抜き取るかスパークプラグの接続を外します (ガソリンエンジンの場合)。調整、清掃、または修理の前に、すべての動きが停止するまで待ちます。
- 火災防止のため、カッティングユニット、駆動装置、マフラー、エンジンから草やごみを取り除きます。こぼれているオイルや燃料を拭き取ります。
- 保管する前にエンジンを冷まします。火気の周辺には保管しないでください。
- 保管中や輸送中は燃料を遮断してください。火気周辺に燃料を保管したり、室内で燃料を抜き取ったりしないでください。
- 機械を平坦な場所に駐車します。訓練を受けていない人には絶対に機械の整備を任せないでください。作業を開始する前に、整備の手順を確認してください。
- 必要な場合は、ジャッキスタンドを使用するか、整備用のラッチをロックして部品を支持してください。整備作業を行うために持ち上げる必要のある機械部品はしっかりと支持してください。
- 機械またはアタッチメントを整備する前に、油圧部品やスプリングなど、エネルギーが残っている部品から圧力を慎重に解放してください。
- アタッチメントまたはカッティングユニットを地面または機械的ストップまで下ろし、油圧コントロールレバーを前後に動かして油圧を解放してください。

安全

- 修理を行う前に、バッテリーの接続を外すか、スパークプラグ (ガソリンエンジンの場合) を取り外してください。最初にマイナス端子、次にプラス端子の順に接続を外してください。最初にプラス端子、次にマイナス端子の順に再接続してください。
- タインまたはブレードを点検するときは十分注意してください。タインまたはブレードを整備するときは、タインまたはブレードを覆うか、手袋を着用し、十分注意してください。タインまたはブレードは交換のみ行います。絶対にまっすぐにしたり溶接したりしないでください。
- 可動部品に手、脚、着衣、装飾品、長い髪を近づけないでください。可能な場合は、エンジン運転中に調整を行わないでください。
- 十分に換気され、開放された場所で、火花や炎から離してバッテリーを充電してください (装備されている場合)。バッテリーに充電器を接続したり、接続解除したりする前に充電器をコンセントから抜いてください。保護服を着用し、絶縁した工具を使用してください。
- すべての部品を適切な作動状態に保ち、すべての金具を締め付けた状態に保ちます。擦り切れたり損傷したりしている銘板はすべて交換してください。
- グラスキャッチャの構成部品と排出用ガードを頻繁に点検し、必要に応じてメーカーの推奨部品と交換してください。グラスキャッチャの部品の摩耗、損傷、劣化により、可動部動が露出したり、物体が飛ばされることがあります。
- 特にタインまたはブレード取り付けボルトなど、すべてのナットやボルトをきつく締め、装置が安全な作業条件であることを確認してください。
- ブレーキの効き具合を頻繁に点検してください。必要に応じて調整や整備を行ってください。
- 複数のブレードがある機械では、1つのタインまたはブレードが回転すると他のタインまたはブレードも回転する可能性があることに注意してください。

TH84124,00001DF-40-26JUL18

高圧流体の回避



TCAL25960—UN—24MAY12

- 物理的な損傷、ねじれ、経時変化、暴露により油圧ホースやラインが破損する場合があります。ホースやラインを定期的に点検してください。損傷しているホースやラインは交換してください。
- 作動油の接続部は物理的な損傷や振動により緩む可能性があります。定期的に接続部を点検してください。緩んだ接続部を締め付けます。
- 圧力がかかっている液体が噴き出すと、皮膚に浸透して大けがをするおそれがあります。油圧ラインや他のラインの接続を外す前に圧力を解放して、危険

を回避してください。また、圧力をかける前にすべての接続をしっかりと締めてください。

- ボール紙で漏れを探してください。手や身体を高圧流体から保護してください。
- 事故が発生した場合は、直ちに医師の診察を受けてください。皮膚にかかった液体は、数時間以内に外科的に除去する必要があります。除去しないと、壊疽を引き起こす場合があります。このような外傷に慣れていない医師は、専門医療機関に問い合わせてください。このような情報は、Deere & Company Medical Department (Moline, Illinois, U.S.A) から入手可能です。米国およびカナダでこの情報を得るには、1-800-822-8262 までお電話ください。

OUO2005.0000220-40-05FEB13

火災防止

- すべてのオペレータにこれらの推奨事項を復習するように伝えてください。質問がある場合は、John Deere 販売店にお問い合わせください。
- 機械およびこの取扱説明書に掲載されているすべての安全手順に必ず従ってください。点検や清掃を行う前に必ずエンジンを止め、駐車ブレーキをかけ、イグニッションキーを抜いてください。
- 定期メンテナンスに加えて、お使いの John Deere 装置の性能を十分に発揮させ、火災の危険を減らすための最良の方法の1つは、機械に堆積したごみを定期的に取り除くことです。
- 操作後、機械を清掃または保管する前に、機械を広い場所で冷ましてください。木、布、薬剤など、可燃物の近くや、給湯器や炉などの裸火や着火源の近くに機械を駐車しないでください。
- 保管前には、集草器のバッグ、容器、およびカーゴボックスを完全に空にして、装置からすべての可燃物を完全に取り外してください。
- ごみは機械のどの部分にも溜まりますが、特に水平面に溜まります。機械の操作の前後に、エンジンルーム、マフラー部分、およびモアデッキの上またはカッティングユニットから草やごみを完全に取り除きます。乾燥した状態での芝刈りやマルチング作業のときは、追加の清掃が必要な場合があります。
- 使用前と保管前の機械の清掃に加えて、エンジン部分を清潔に保つことは、火災予防に最も役立ちます。定期的な点検と清掃を必要とするその他の部分には、ホイールリムの背後、ワイヤハーネス、ホース/ラインの取り回し、刈り取りアタッチメントなどがあります。これらの部分を清潔に保つには、圧縮空気、リーフブロワ、または水が役に立ちます。
- これらの点検や清掃の頻度は、運転条件、機械構成、運転速度、特に乾燥、高温、風の強い条件といった天候条件など、複数の要因に応じて変わります。このような条件で運転している場合は、これらのエリアを終日にわたって頻繁に点検し清掃してください。
- 注油が多すぎたり、機械に燃料やオイルが漏れたり流出したりすると、刈り屑が集まる場所となる可能

安全

性があります。機械を早めに修理し、燃料やオイルを清浄にすることにより、刈り屑が集まる可能性を抑えます。

- ベアリングの故障や過熱は、火災につながる可能性があります。この危険を減らすため、機械のオペレータマニュアルに記載されている、潤滑の間隔と位置に関する指示に常に従ってください。潤滑間隔や潤滑位置について質問がある場合やベアリングの位置している可能性のある個所から何らかの異音が聞こえる場合は、最寄りの取扱店にお問い合わせください。暖まっていると時の機械の洗浄もベアリング寿命を短くしてベアリングの早期故障の可能性を高めます。
- 機械に燃料遮断機能がある場合は、機械の保管や輸送時に必ず燃料を遮断してください。
- 燃料ライン、タンク、キャップ、継手に亀裂や漏れがないか頻りに点検します。必要に応じて交換します。

OUO2005.0000221-40-27MAR19

安全な輸送

- 機械をトレーラーやトラックに積み降ろしする際は、注意してください。
- トレーラーやトラックに機械を積み込むための全幅のランプを使用してください。
- 適切なストラップ、チェーン、ケーブル、またはロープを使用して機械を結束してください。前後のストラップは機械の外側に、下に向ける必要があります。
- 詳細については、「操作」セクションの「機械の輸送」を参照してください。

MX00654.000001E-40-25MAR14

タイヤの安全



TCAL25965—UN—24MAY12

タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となる可能性があります：

- 適切な装置と十分な経験がない場合は、タイヤの取り付けを行わないでください。
- 常に正しいタイヤ圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。絶対に、ホイールやタイヤアセンブリを溶接したり加熱したりしないでください。加熱すると空気圧が上がり、タイヤが爆発します。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形したりすることがあります。
- タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片

側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。

- タイヤに圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないか点検します。

OUO2005.0000222-40-10MAY17

燃料の安全な取り扱い



MXAL41938—UN—18FEB13

けがや器物破損の防止のため、燃料の取扱いは慎重に行ってください。燃料は非常に引火性が高く、燃料蒸気は爆発性があります。

- タバコ、葉巻、パイプ、その他の発火の原因となるものをすべて消してください。
- 認定された燃料容器のみを使用してください。Underwriter's Laboratory (UL) または米国試験材料協会 (ASTM) により認定された非金属のポータブル燃料容器のみを使用してください。ファンネルを使用する場合は、プラスチック製であり、金網やフィルタがないことを確認してください。
- エンジン運転中は、絶対に燃料タンクのキャップを取り外したり、燃料を追加したりしないでください。燃料を補給する前にエンジンが冷めるまで待ちます。
- 絶対に屋内で機械に燃料を追加したり、燃料を抜き取ったりしないでください。機械を屋外に出し、適切な換気措置をとってください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。燃料が衣服にこぼれた場合は、すぐに着替えてください。機械の近くに燃料がこぼれた場合は、エンジンを始動しないで、こぼれた場所から機械を遠ざけてください。燃料蒸気が消散するまで、発火の原因を作らないでください。
- 絶対に直火、火花、または給湯器その他の電気器具内などの点火用ライトがあるところに機械または燃料容器を保管しないでください。
- 静電気放電による火災や爆発を防止してください。静電気放電により、アース接続されていない燃料容器内の燃料蒸気に点火する可能性があります。
- 車両内またはトラックやトレーラーのプラスチックライナー付き荷台の上では絶対に容器に注入しないでください。燃料を補充する前に、必ず車両から離れた地面の上に容器を置いてください。

安全

- 燃料駆動の装置はトラックやトレーラーから移動させ、地面の上で燃料を補充してください。これが不可能な場合は、燃料ディスペンサノズルからではなく携帯容器でこれらの装置に燃料を補充してください。
- 燃料補充が完了するまで、ノズルを燃料タンクの縁や容器の開口部に常に接触させてください。ノズルロック開放装置は使用しないでください。
- 絶対に燃料タンクに入れすぎないでください。燃料タンクにキャップを戻してしっかり締めます。
- 使用後は燃料容器のキャップをすべて確実に戻してください。
- ガソリンエンジンの場合、メタノール混合ガソリンを使用しないでください。メタノールは健康と環境に有害です。

OUO2005,0000223-40-12OCT16

廃棄物と薬剤の取り扱い

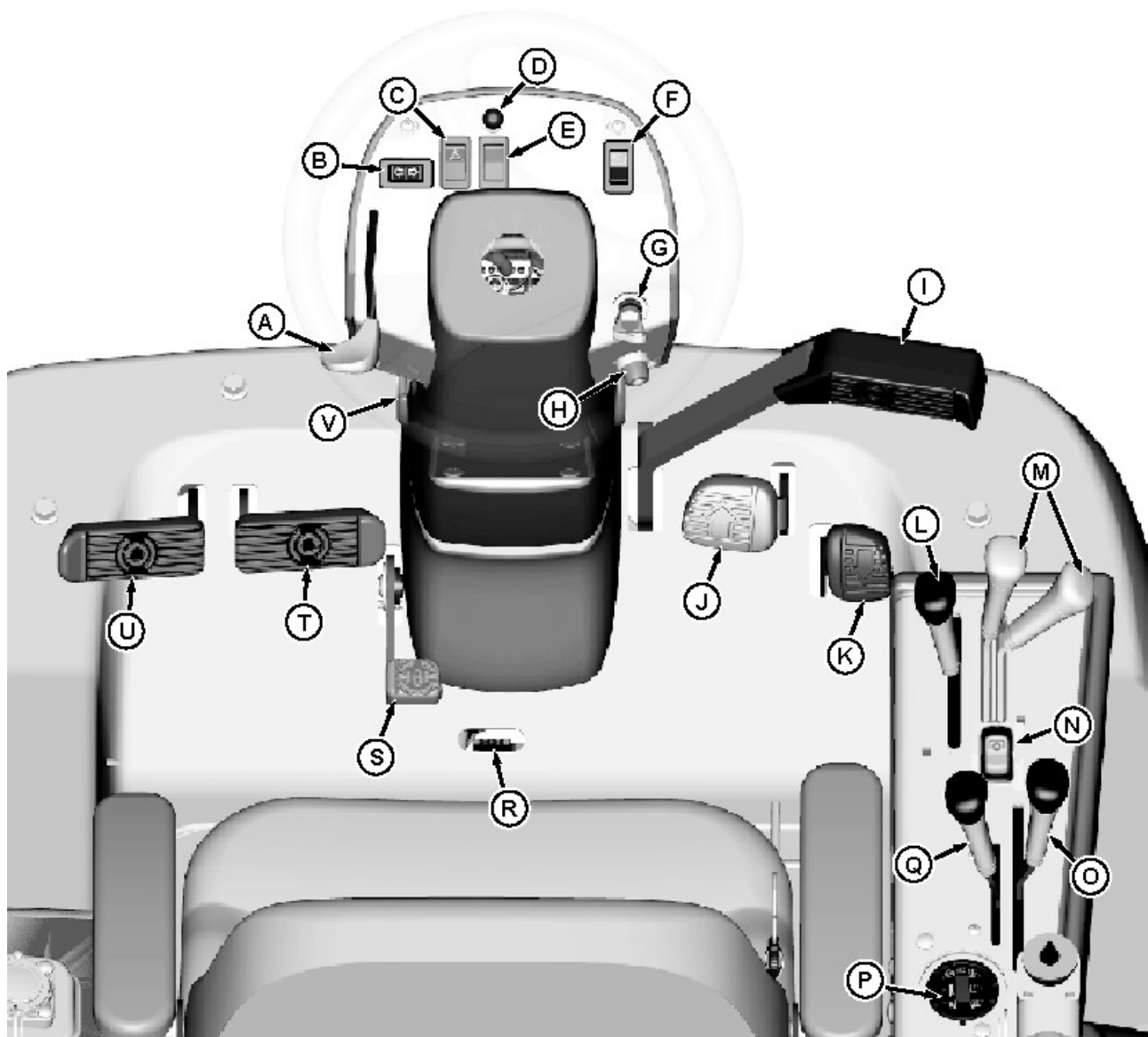
使用済みのオイル、燃料、クーラント、ブレーキフルード、バッテリーなどの廃棄物は環境や人に有害です。

- 飲料容器を廃液に使用しないでください。誤飲のおそれがあります。
- 廃棄物のリサイクルや処分の方法については、現地のリサイクルセンターまたは認定販売店にお問い合わせください。
- 安全データシート (SDS) は、化学製品に関する具体的な情報を提供します。物理的危険や健康上の危険、安全手順、緊急時の対処方法が記載されています。お使いの機械で使用されている薬剤製品の販売業者はその製品の SDS を提供する責任があります。

OUO2005,0000224-40-11OCT18

コントロールの操作

オペレータステーションのコントロール類：1550、1570、1580



図：4 輪駆動モデル

TCT013237—UN—18NOV15

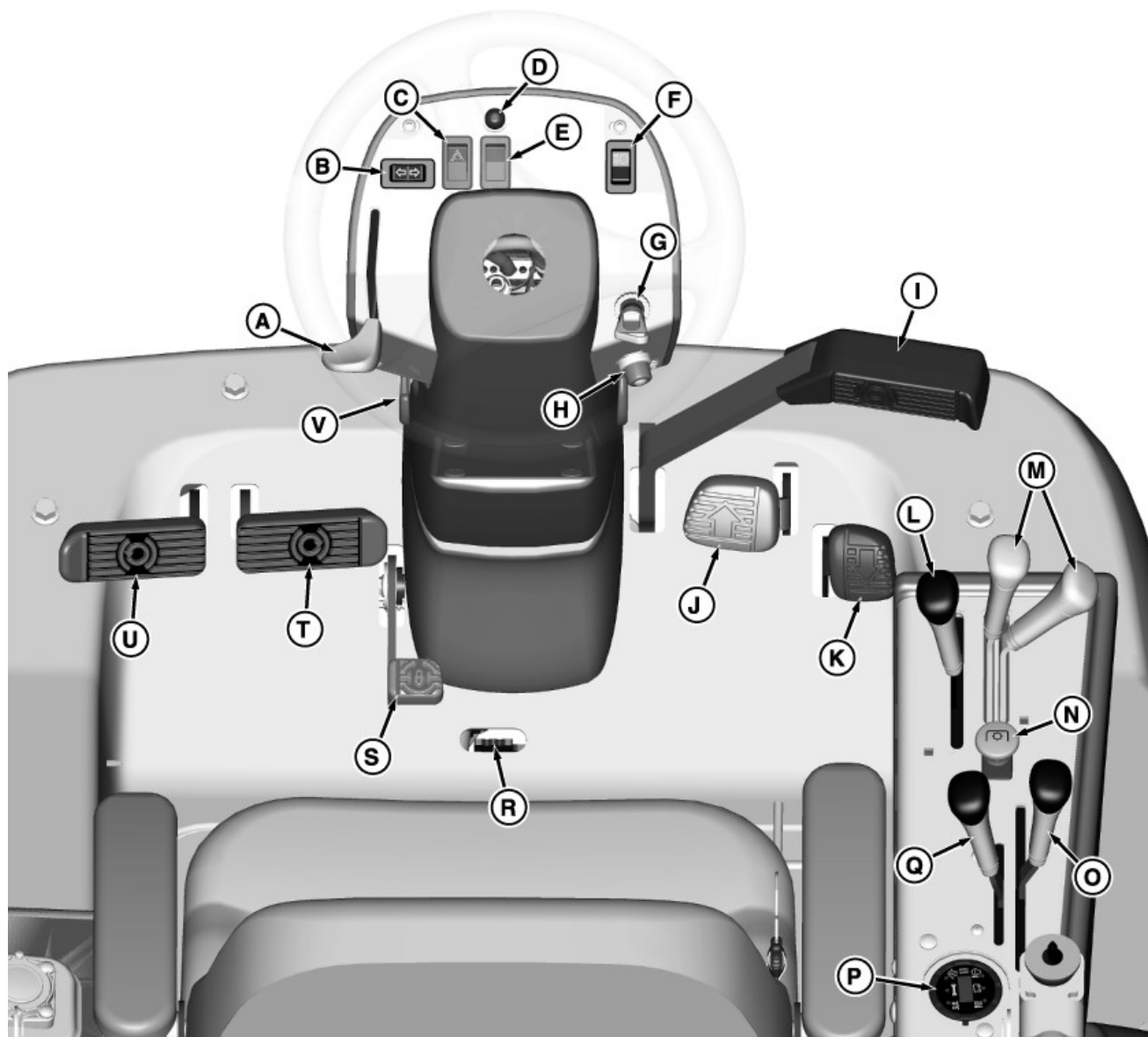
A：スロットルレバー
B：方向指示灯スイッチ (オプション)
C：ハザードスイッチ (オプション)
D：表示灯、緑 (オプション)
E：ヘッドライトスイッチ (オプション)
F：ワークランプスイッチ
G：キースイッチ
H：ホーンスイッチ (オプション)
I：駐車ブレーキペダル
J：前進ペダル
K：後退ペダル

L：アタッチメントリフトレバー
M：補助油圧装置コントロールレバー (オプション)
N：PTO スイッチ
O：4WD コントロールレバー
P：オペレータディスプレイ
Q：車軸速度レバー
R：駐車ブレーキロックレバー
S：トラクションアシストペダル
T：右旋回ブレーキペダル
U：左旋回ブレーキペダル
V：ステアリングコラムチルトレバーロック

OUC2005.000035C-40-17NOV15

コントロールの操作

オペレータステーションのコントロール類：1580



TCT008513—UN—20MAR14

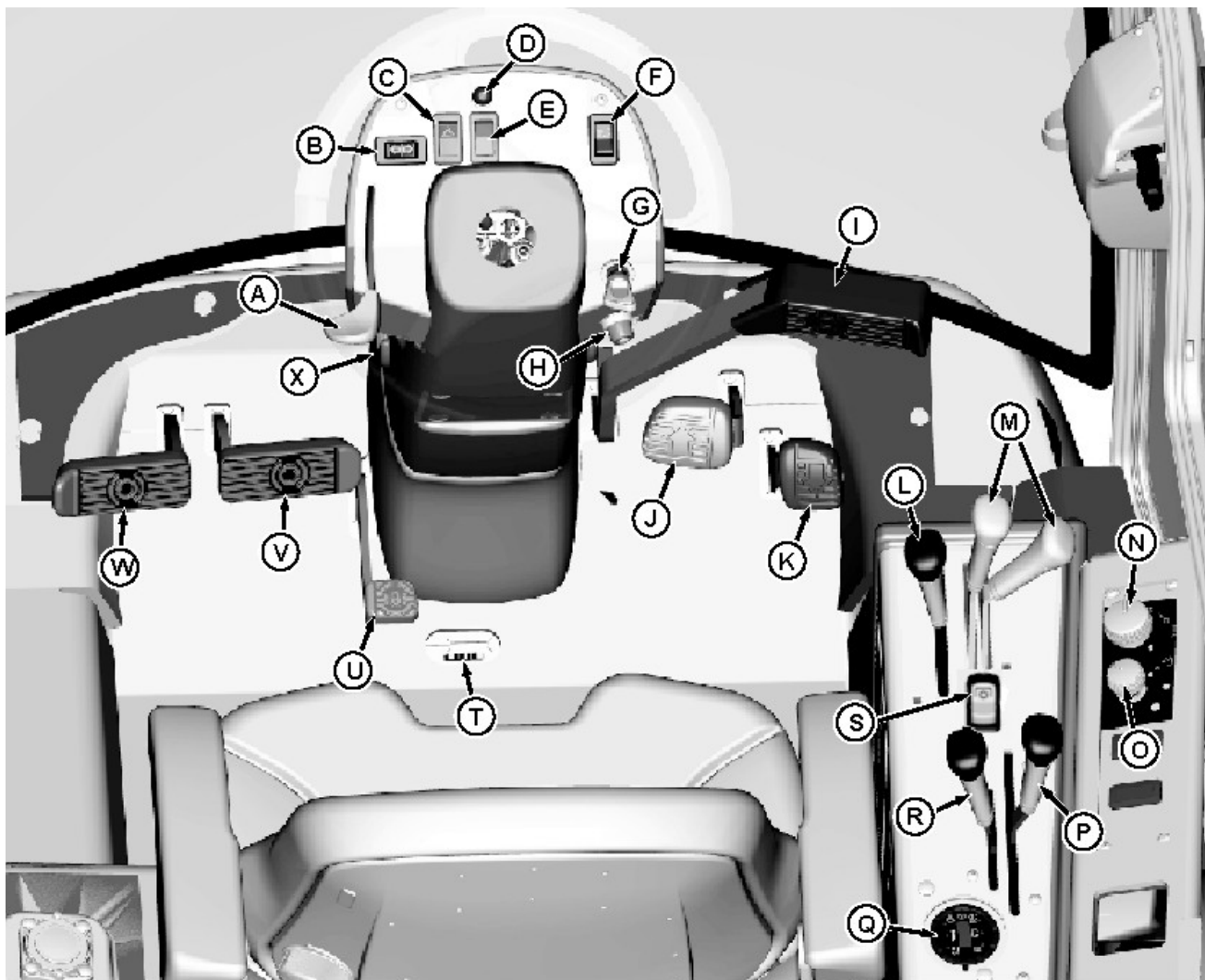
A : スロットルレバー
B : ターンシグナルスイッチ (オプション)
C : ハザードスイッチ (オプション)
D : 表示灯、緑 (オプション)
E : ヘッドライトスイッチ (オプション)
F : ワークランプスイッチ
G : キースイッチ
H : ホーンスイッチ (オプション)
I : パーキングブレーキペダル
J : 前進ペダル
K : 後退ペダル

L : 装置リフトレバー
M : 補助油圧装置コントロールレバー (オプション)
N : PTO スイッチ
O : 4WD コントロールレバー
P : オペレータディスプレイ
Q : 車軸速度レバー
R : パーキングブレーキロックレバー
S : トラクションアシストペダル
T : 右旋回ブレーキペダル
U : 左旋回ブレーキペダル
V : ステアリングコラムチルトレバーロック

OUO2005,0000205-40-20MAR14

コントロールの操作

オペレータステーションのコントロール類 : 1575 / 1585 (キャブモデル)



TCT013238—UN—18NOV15

図 : 1585 モデル

A : スロットルレバー
B : 方向指示灯スイッチ (オプション)
C : ハザードスイッチ (オプション)
D : 表示灯、緑 (オプション)
E : ヘッドライトスイッチ (オプション)
F : ワークランプスイッチ
G : キースイッチ
H : ホーンスイッチ (オプション)
I : 駐車ブレーキペダル
J : 前進ペダル
K : 後退ペダル
L : アタッチメントリフトレバー
X : ステアリングコラムチルトレバーロック

M : 補助油圧装置コントロールレバー
N : ライトスイッチ
O : フロントガラスワイパースイッチ
P : 4WD コントロールレバー
Q : オペレータディスプレイ
R : 車軸速度レバー
S : PTO スwitch
T : 駐車ブレーキロックレバー
U : トラクションアシストペダル
V : 右旋回ブレーキペダル
W : 左旋回ブレーキペダル

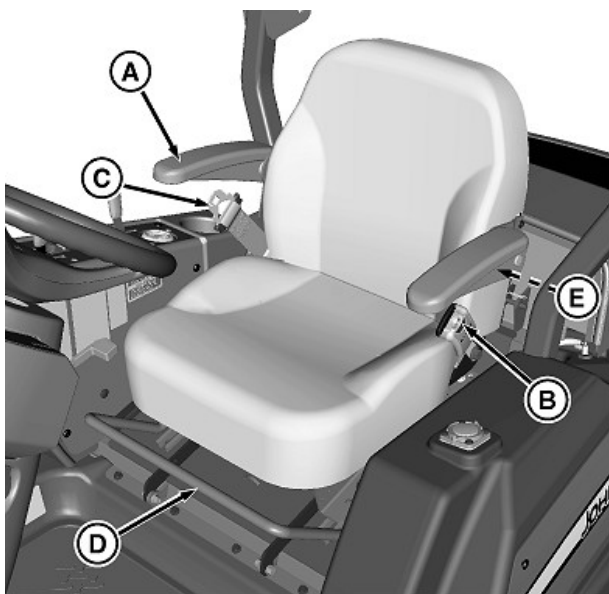
OUO2005,000010D-40-17NOV15

コントロールの操作

シートのコントロール類

重要： けがを防止してください。転倒時保護構造 (ROPS) を直立位置にし、その位置に固定して機械を運転するときは、シートベルトを着用してください。隙間の小さい区域で運転するために ROPS を折りたたむ必要がある場合は、シートベルトを使用しないでください。条件が許す限り早く ROPS を上げてシートベルトを着用してください。

シートのコントロール類：ひじかけ付きデラックスコンフォートシート



TCT008505—UN—20SEP13

A : 折りたたみ式ひじかけ
B : シートベルトラッチ
C : シートベルトバックル
D : シート前後調整レバー
E : ひじかけ高さ調整ノブ

- 快適性を最大にして機械の制御も維持できるように前後位置を調整してください。
- 運転時にステアリングホイールとフットペダルを容易に使用できることを確認してください。
- 各ひじかけの下の方のノブを調整してひじかけを上げ下げできます。

シートのコントロール類：ひじかけ付き調整式サスペンションシート



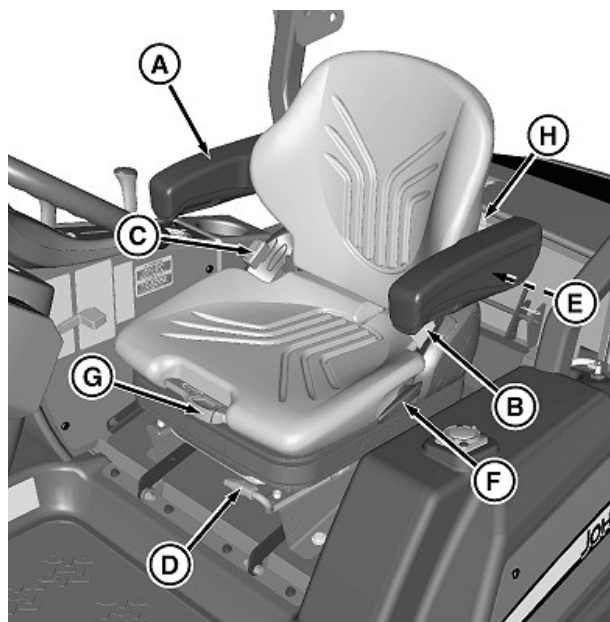
TCT008506—UN—20SEP13

A : 折りたたみ式ひじかけ
B : シートベルトラッチ
C : シートベルトバックル
D : シート前後調整レバー
E : ひじかけ高さ調整ノブ
F : シートバック調整ノブ
G : 体重インジケーター
H : シートサスペンション調整クランク
I : ランバーサポートノブ

- 快適性を最大にして機械の制御も維持できるように前後位置を調整してください。
- 運転時にステアリングホイールとフットペダルを容易に使用できることを確認してください。
- 各ひじかけの下の方のノブを調整してひじかけを上げ下げできます。
- ハンドクランクを使用してサスペンションを調整します。
- 体重インジケーターをモニタしてオペレータの体重に設定を維持します。
- シートバック調整ノブを使用してシートレキを必要な角度に調整します。
- 下部シートバックのサポートは、シートバックの右側にあるランバーサポートノブを使用して調整できます。

コントロールの操作

シートのコントロール類：エアライドサスペンション
シート



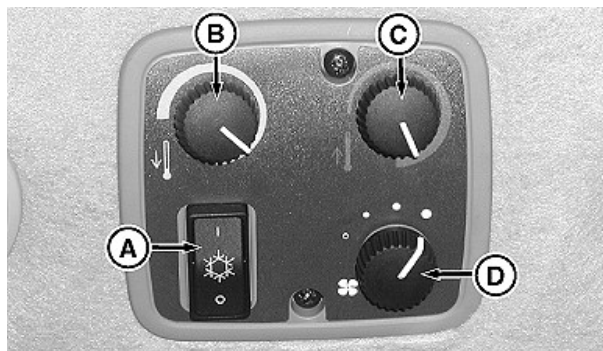
TCT008507—UN—20SEP13

- A : 折りたたみ式ひじかけ
- B : シートベルトラッチ
- C : シートベルトバックル
- D : シート前後調整レバー
- E : ひじかけ高さ調整ノブ
- F : シートバック調整レバー
- G : 空気圧スイッチ
- H : ランバーサポートノブ

- 快適性を最大にして機械の制御も維持できるように前後位置を調整してください。
- 運転時にステアリングホイールとフットペダルを容易に使用できることを確認してください。
- 各ひじかけの下の方のノブを調整してひじかけを上げ下げできます。
- 空気圧スイッチを使用してサスペンションを調整します。
- シートバック調整レバーを使用してシートレーキに必要な角度に調整します。
- 下部シートバックのサポートは、シートバックの左側にあるランバーサポートノブを使用して調整できます。

OUC2005,000010E-40-19MAR14

空気温度のコントロール類 (キャビン付きの場合)



TCT008311—UN—13AUG13

- A : エアコン / デフロスタスイッチ
- B : エアコン温度コントロールノブ
- C : ヒーター温度コントロールノブ
- D : ブロア速度制御ノブ

OUC2005,000010F-40-14AUG13

機械の操作

日常運転チェックリスト

毎回使用前

- ☐ エンジンオイルを点検します。
- ☐ 作動油を点検します。
- ☐ クーラントを点検します。
- ☐ 漏れを点検します。
- ☐ タイヤを点検し、空気圧をチェックします。
- ☐ 安全インターロックシステム、ライトを点検します。
- ☐ ブレーキシステムを点検します。
- ☐ エアクリーナ目詰まりインジケータを点検します。
- ☐ 部品に緩み、欠損、損傷がないか点検します。
- ☐ すべての安全ガードとシールドを点検します。
- ☐ 燃料 / ウォーターセパレータを点検します。
- ☐ ベルトを点検します。
- ☐ ペダルとステアリングコントロールを点検します。
- ☐ シートベルトを点検します。
- ☐ ボンネットのシール面を点検して清掃します。

使用後

- ☐ 燃料の点検 / 補充
- ☐ 機械からごみを取り除きます。
- ☐ 冷却システムからごみを取り除きます。
- ☐ モア / 装置の駆動システムからごみを除去します。
- ☐ 刈取りユニットやアタッチメントからごみを取り除きます。
- ☐ モアデッキの下側からごみを除去します。
- ☐ モアデッキのドライブベルトを点検します。
- ☐ モアブレードを点検します。
- ☐ 洗浄後に機械を潤滑します。

OUO2005.0000200-40-09NOV18

プラスチック面や塗装面の損傷防止

- 最初に水で洗っていない限り、プラスチック部品を拭かないでください。乾いた布を使用すると、傷の原因になります。
- 防虫スプレーは、プラスチックや塗装面を傷める可能性があります。機械の近くで防虫剤を噴霧しないでください。
- 機械に燃料をこぼさないように注意してください。燃料は機械の面を傷める可能性があります。こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 長期にわたって日光にさらされると、ボンネット面が損傷します。

OUO1023.0000462-40-13MAR13

機械への乗降 (キャビン付きの場合)

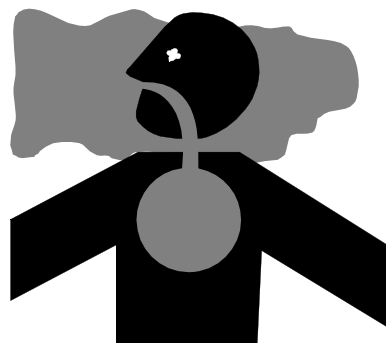


TCT008319—UN—14AUG13

1. 左右からキャビンに乗り込むには、ハンドルのボタン (A) を押してドアを開きます。ドアが閉位置にロックするまでドアを閉めます。
2. キャビンから出るには、内側のドアハンドルのハンドルをひねってドアを開けます。

OUO2005.0000111-40-04NOV13

安全システムのテスト



TCAL41599—UN—22JAN13

⚠ 注意： エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な疾患や死亡の原因になります。

- エンジンを運転する前に、機械を屋外に移動させてください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排気ガスをエリア外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業エリアに取り込み、排気ガスを除去してください。

機械を使用する前に、機械に装備されている安全システムを点検する必要があります。これらの安全システムの点検を実施する前に、機械のオペータマニュアルをよく読み、機械の運転を完全に習得してください。

機械の操作

機械の通常の運転のための点検手順については、以下に従ってください。

これらの手順中に故障が確認された場合は、機械を運転しないでください。**整備については、認定された取扱店にお問い合わせください。**

これらのテストは、開放されたエリアで行ってください。人を近づけないでください。

OUO1023,0000464-40-14MAR13

PTO スイッチのテスト

- シートに座ってシートがオペレータの体重に合わせて正しく調整されていることを確認します。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
- パーキングブレーキをかけます。
- PTO スイッチをオンにします。スイッチの PTO ノブを「ON」位置まで引き上げます。
- エンジンの始動を試みます。

結果：スタータモーターは回りません。回った場合、安全インターロック回路に問題があります。

- パーキングブレーキを解除します (PTO スイッチはオンのままです)。エンジンの始動を試みます。

結果：スタータモーターはかみ合いません。かみ合った場合、安全インターロック回路に問題があります。

OUO2005,0000062-40-04NOV13

シートおよびパーキングブレーキスイッチのテスト

- シートに座ってシートがオペレータの体重に合わせて正しく調整されていることを確認します。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
- 以下の手順に従って PTO スイッチをオフにします。スイッチの PTO ノブを「OFF」位置まで押し下げます。
- マスターブレーキペダルを踏み込みます。
- エンジンを始動します。
- マスターブレーキペダルを解除します。
- シートから腰を上げますが、機械からは降りないでください。

結果：数秒後にエンジンが停止する必要があります。エンジンが停止しない場合、安全インターロック回路に問題があります。

OUO2005,0000063-40-04NOV13

パーキングブレーキのテスト

機械を 17° の斜面 (30% 勾配) に停車します。エンジンを停止してパーキングブレーキをかけます。

結果：パーキングブレーキは機械を静止状態に保持しなければなりません。(ANSI 規格では 1 時間に 61cm (24 in) 未満の動きは許容されています)。これ以上機械が動く場合は、ブレーキを調整する必要があります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO1023,0000467-40-13MAR13

正しいバラストの使用



TCT007879—UN—11JUL13

- この機械で使用される装置は、装置を上げたときに転倒や制御不能を防止するためにバラストを取り付ける必要がある場合があります。
- 機械や装置のモデルと年式に応じてバラストは異なります。
- バラストに関する情報については、装置のオペータマニュアルを参照し、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO2005,0000060-40-05JUN14

シートの調整 (デラックスサスペンション)

シート位置の調整

- シートに座ります。
- シート調整レバーを引き上げてロック位置から解放します。
- シートを前後にスライドさせて希望の位置に動かします。オペレータの右足のかかとを前進 / 後退ペダルの前のフロアにしっかりと置くことができる必要があります。
- レバーを放します。

機械の操作

シートスプリング張力の調整

1. 体重インジケータを確認しながらシートスプリング調整ノブを回してシートスプリング張力を調整します。
2. オペレータの体重と体重インジケータに表示されている値を一致させます。オペレータプレゼンススイッチが作動してエンジンを始動できるように、シートが少し沈む必要があります。

シート高さの調整

1. シート高さロックが解除されるまで、シートベースの前部、およびシート高さ調整レバーを引き上げます。
2. オペレータシートを必要な高さまで上げ下げします。(4つの位置を利用できます)。
3. シート高さロックレバーを解除し、ラッチがかかるまでシートを少し動かし続けます。

OUO1023,0000469-40-13MAR13

シートの調整 (コンフォート調整サスペンション)

シート位置の調整

1. シートに座ります。
2. シート調整レバーを引き上げてロック位置から解放します。
3. シートを前後にスライドさせて希望の位置に動かします。オペレータの右足のかかとを前進 / 後退ペダルの前のフロアにしっかりと置くことができる必要があります。
4. レバーを放します。

シートサスペンションの調整

ゲージに表示されているオペレータの体重に合わせて、必要な位置までノブを回します。

シートバックの調整

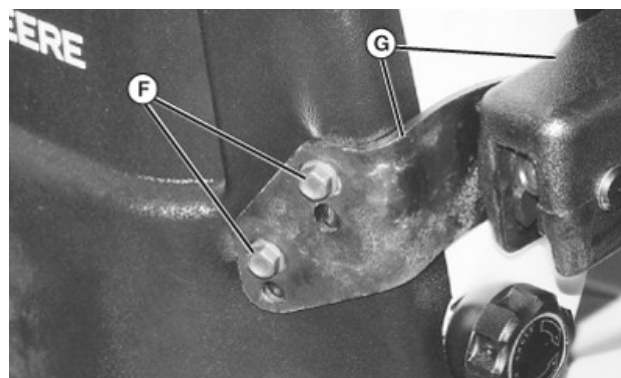
- ノブを右 (時計回り) に回して、シートバックを直立位置にします。
- ノブを左 (反時計回り) に回して、シートバックを少し傾けます。

ランバーサポートの調整

- ランバーサポートノブを左 (反時計回り) に回して、ランバーサポートを弱くします。
- ランバーサポートノブを右 (時計回り) に回して、ランバーサポートを強くします。

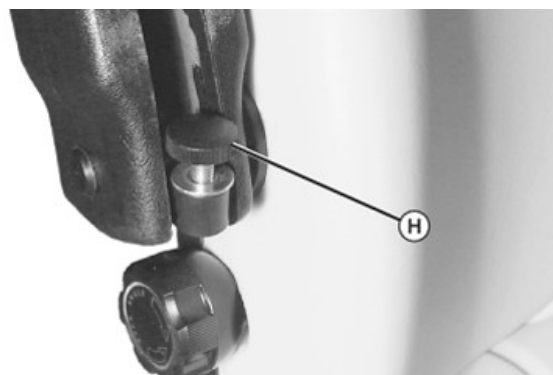
ひじかけの調整

- 両側のひじかけを上下に動かすには、以下の手順に従います。



TCAL43313—UN—14MAR13

- a. ボルト 2 個 (F) を取り外し、ひじかけとブラケット (G) をもう一方のセットの穴に上げます。
 - b. ボルトを取り付けて締め付けます。
- 両側のアームレストの角度を変更するには、以下の手順に従います。



TCAL43314—UN—14MAR13

- a. ひじかけを持ち上げてノブ (H) を露出させます。
- b. ノブ (H) を回し、ノブの高さを上下に動かしてひじかけの角度を変更します。

OUO1023,000046A-40-13MAR13

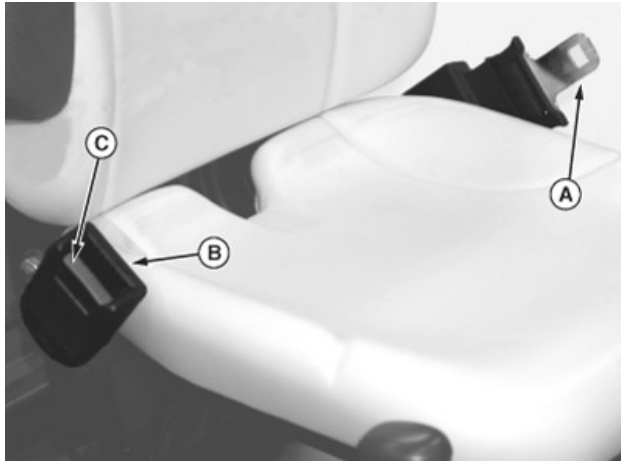
シートベルトの使用

⚠ 注意： 折りたたみ式 ROPS (転倒時保護構造) を直立位置にして機械を運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。機械が傾いたときは、機械から飛び降りないでください。

隙間の小さいエリアで運転するために ROPS を折りたたむ必要がある場合は、シートベルトを使用しないでください。条件が許す限り早くロックスを上げてシートベルトを着用してください。

1. シートに座ります。

機械の操作



TCAL43315—UN—14MAR13

2. シートベルトのバックル (A) を引き出し、腰の周りに一気にかけます。
3. シートベルトのバックルをロックするまでラッチ (B) に挿入します。
4. シートベルトを解除するには、掛け金ラッチからバックルが出るまで赤色のボタン (C) を押します。

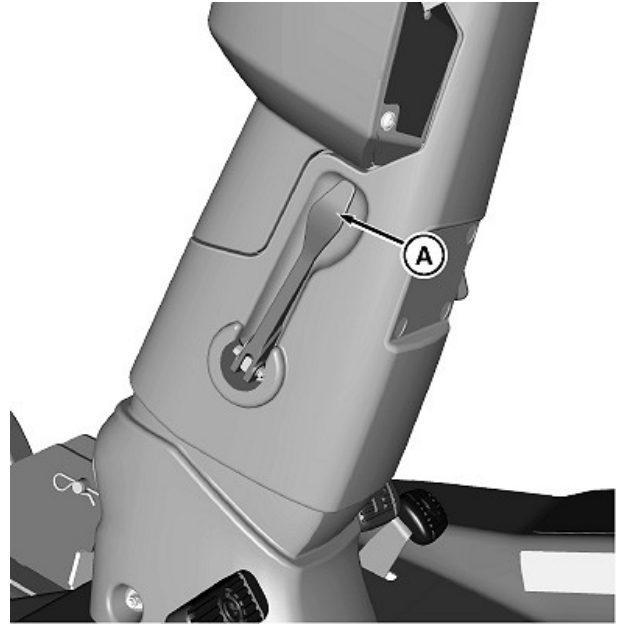
OUC1023,000046B-40-29JUN22

ステアリングコラムの調整

注意： けがを防止してください。機械の走行中にステアリングホイールを調整しないでください。オペレータが機械を制御できなくなります。

- ステアリングホイールを調整する前に機械を停止してください。
- 機械を運転する前にステアリングホイールをロックしてください。

1. 機械を停車します。



TCT009086—UN—04NOV13

2. ステアリングコラムチルトレバー (A) を外側に引いてステアリングコラムを解放します。
3. ステアリングコラムを希望の位置まで前後に動かします。
4. レバーを押し戻してステアリングコラムをその位置にロックします。

OUMX068,0000681-40-20MAR14

PTO スイッチの使用方法

PTO が接続されている場合、スタートはクランキングしません。以下のいずれかの条件が存在する場合、PTO は接続解除されます。

- エンジンクーラント温度が高い。
- エンジンオイル圧が低い。
- 作動油温度が高い。
- ブレーキペダルが踏み込まれている。
- PTO スイッチをオフにするには、以下の手順に従います。スイッチの PTO ノブを「OFF」位置まで押し下げます。
- PTO スイッチをオンにするには、以下の手順に従います。スイッチの PTO ノブを「ON」位置まで引き上げます。

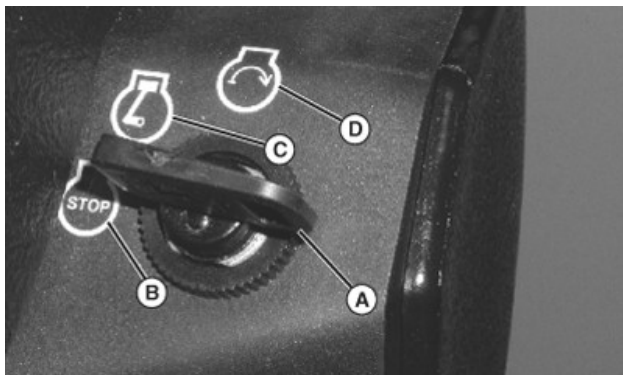
OUC2005,0000061-40-04NOV13

キースイッチの使用

注記： 始動モーターは、以下の条件が存在する場合のみかみ合います。

- マスターブレーキペダルが踏み込まれている。
- トラクションペダルがニュートラルにある。

機械の操作



TCAL43316—UN—14MAR13

- イグニッションをオフにするには、キー (A) を STOP 位置 (B) に回します。
- イグニッションをオンにするには、キーを RUN 位置 (C) に回します。ピープ音が鳴り、計器盤の以下の表示灯が点灯します。
 - エンジンオイル圧ランプ
 - バッテリー放電ランプ
 - エンジンクーラント温度ランプ
 - エンジングロープラグランプ (ディーゼルのみ)
- エンジンを始動するには、キーを START 位置 (D) に回します。エンジンが回転を始めたら、キーを RUN 位置 (C) に戻してください。

注記：キースイッチが START 位置にあると、オペレータディスプレイ上の以下の表示灯が点灯します。

- エンジン油圧灯
- エンジンクーラント温度ライト
- 作動油温度ライト

OUO1023,000046E-40-16NOV15

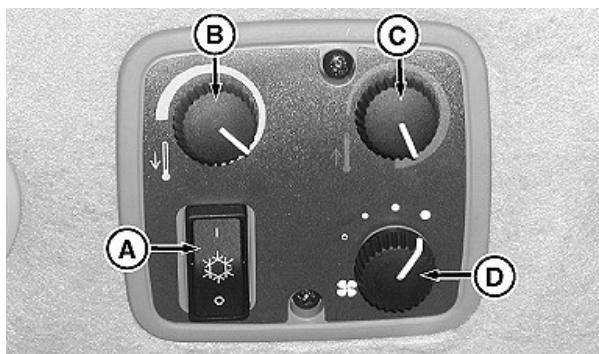
スロットルレバーの使用

- スロットルレバーをスローアイドル位置まで後方に引きます。この位置は、エンジンの始動や狭い場所でのモアの操作に使用します。
- 輸送や刈取り作業用のファストアイドル位置にするには、スロットルレバーを前方にいっぱいまで押しします。

OUO1023,000046F-40-13MAR13

キャブのコントロールの使用

温度コントロールの使用



TCT008311—UN—13AUG13

- A：エアコンおよび除氷スイッチ
- B：エアコン温度コントロールノブ
- C：ヒーター温度コントロールノブ
- D：ブロワ速度コントロールノブ

エアコンおよび除氷システム

- エアコン/除氷スイッチの上半分を押してシステムを ON にします。スイッチの下半分を押してシステムを OFF にします。

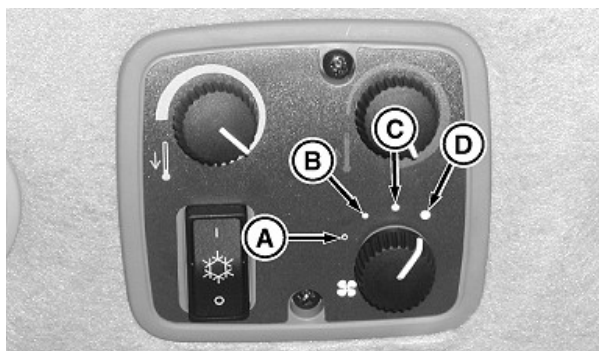
エアコン温度の調整

- 吹き出し口を通して暖かい空気を循環させるには、エアコン温度コントロールノブを時計回りに回します。吹き出し口を通してより温度が低い空気を循環させるには、ノブを反時計回りに回します。ノブの周りの青い帯の幅が大きくなるほど、低めの温度設定になり、幅が小さくなるほど高めの温度設定になります。

ヒーター温度の調整

- 吹き出し口を通して暖かい空気を循環させるには、ヒーター温度コントロールノブを時計回りに回します。吹き出し口を通してより温度が低い空気を循環させるには、ノブを反時計回りに回します。ノブの周りの赤い帯の幅が大きくなるほど、高めの温度設定になり、幅が小さくなるほど低めの設定になります。

ブロワ速度の調整



TCT008312—UN—13AUG13

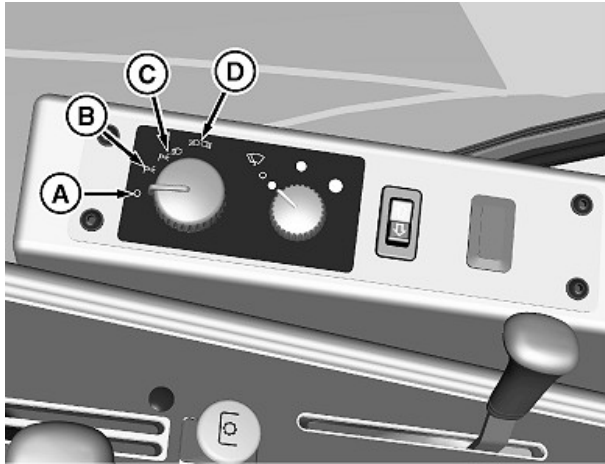
ブロワ速度制御ノブを必要な設定に回します。

機械の操作

- オフ (A)
- 低 (B)
- 中 (C)
- 高 (D)

ライトスイッチの使用

⚠ 注意： けがを防止してください。路上ではライトスイッチを FIELD 位置に合わせたまま運転しないでください。リアワークライトは接近している車両のオペレータの目を眩ませたり混乱させたりするおそれがあります。

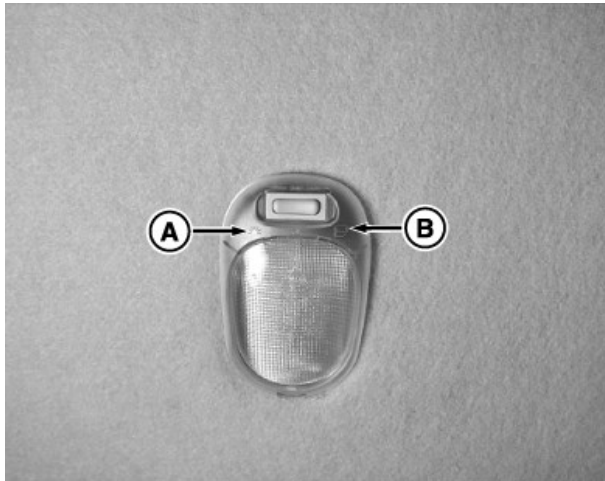


TCT008314—UN—13AUG13

- A : すべて消灯
- B : ハザードフラッシャーライトおよびテールライト点灯
- C : 道路位置：ヘッドライト、テールライト、ハザードフラッシャーライト点灯
- D : 圃場位置：ヘッドライトおよびオプションのワークライト点灯

ドームライトの使用

重要： 損傷を防止してください。キャビンから出る前に、ドームライトが OFF 位置であることを確認してください。これを怠ると、バッテリーが放電します。



TCT008313—UN—31MAR14

ドームライトには、以下の 2 つの位置があります。

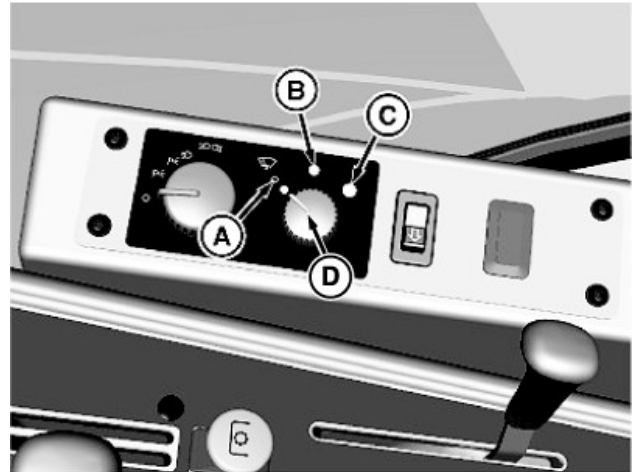
- ON (A)：ドームライトは点灯します。
- OFF (B)：ドームライトは点灯しません。

ターンシグナルスイッチの使用

- ターンシグナルスイッチの左側を押し下げて、左折することを示します。
- ターンシグナルスイッチの右側を押し下げて、右折することを示します。

ウインドシールドワイパーの使用

注記： フロントワイパーのスイッチをオフにすると、フロントワイパーはパーキング位置に戻ります。



TC102111—UN—24MAY22

フロントワイパースイッチには、以下の 3 つの位置があります。

- OFF (A)
- 低速 (B)
- 高速 (C)
- フロントガラスウォッシャー (D) (押し下げて操作)

OUO2005.0000110-40-24MAY22

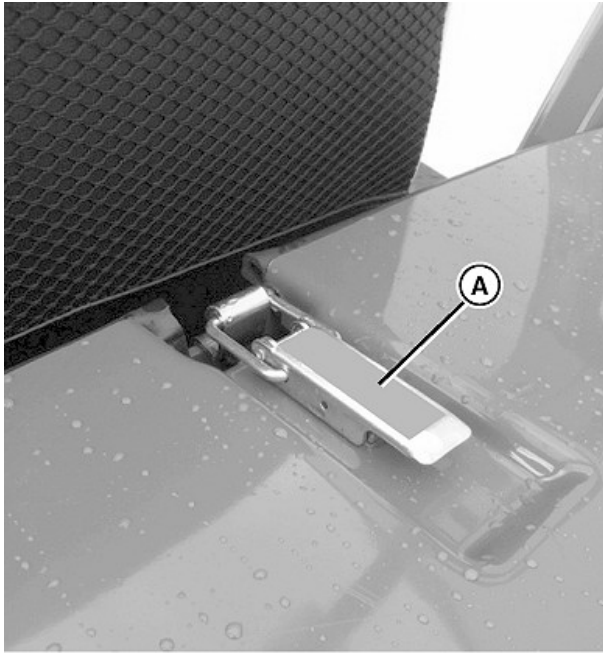
エンジンカバーを開く

重要： 損傷を防止してください。エンジンカバーを開いた状態で機械を運転しないでください。エンジンの適切な冷却および排気のために、エンジンカバーは閉じる必要があります。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

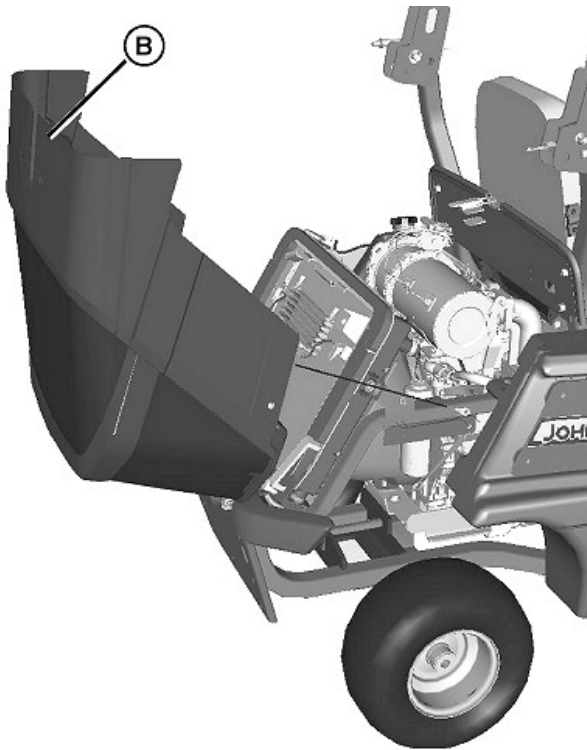
注記： 一部のモデルには、ロックラッチが装備されています。最初にこれをロック解除する必要があります。

機械の操作



TCT007880—UN—11JUL13

2. ラッチ機構 (A) を持ち上げてボンネットのラッチを解除します。



TCT007881—UN—11JUL13

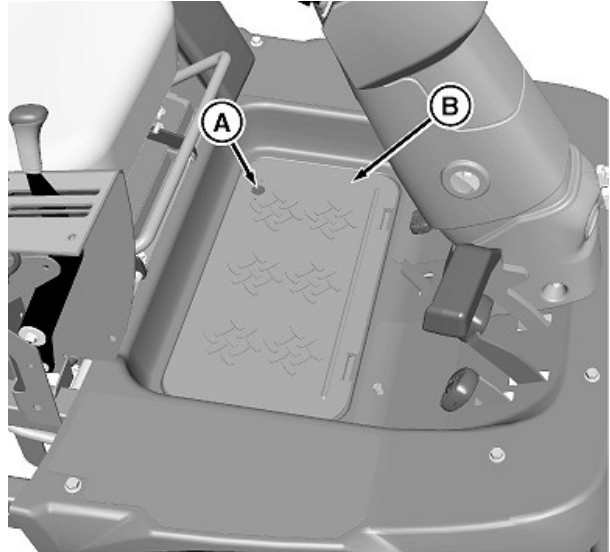
3. ボンネット (B) を持ち上げて、開位置にします。
4. エンジンカバーを閉めるには、元の位置に下げてエンジンルームを覆います。
5. ラッチの掛け金をフックにかみ合わせて、回転させて固定します。
6. エンジンカバーラッチをロックするには、キーをス

ロットに差し込んで時計回りに回します (オプションのロックが装備されている場合)。

OUMX068,000068A-40-07AUG18

サービスハッチを開く

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT008233—UN—06AUG13

2. 大型のドライバーを使用して時計回りに 3/4 回転させてサービスハッチのロック (A) を解除します。
3. サービスハッチ (B) を持ち上げて取り外します。

OUC0205,0000203-40-20SEP13

4 輪駆動 (4WD) の使用 (1550、1570、1575)

⚠ 注意： 制御不能や芝生の損傷を防止するために、機械を 4 輪駆動で運転しているときは急旋回または高速での旋回はしないでください。必要以上に 4 輪駆動を使用しないでください。

- オンデマンド 4 輪駆動を使用するには、4WD コントロールレバーを後方に引っ張ります。前車輪の滑りが検出されると、後輪が連結され、自動的に連結解除されます。後輪は後退方向 (リバース) には駆動されません。
- フルタイム 4 輪駆動にするには、4WD レバーを前方に押します。前進および後退走行で 4 輪駆動がロックされます。
- 4WD レバーを前方に押しながら (ゆっくりと) 前進走行すると、オンデマンド 4WD が接続しやすくなります。
- 4WD レバーを後方に引きながら (ゆっくりと) 後退走行すると、4WD ロックが解除されやすくなります。

OUC0205,0000065-40-09NOV15

機械の操作

4 輪駆動 (4WD) の使用 (1580、1585)

⚠ 注意： 制御不能や芝生の損傷を防止するために、機械を 4 輪駆動で運転しているときは急旋回または高速での旋回はしないでください。必要以上に 4 輪駆動を使用しないでください。

- オンデマンド (自動) 4 輪駆動を使用するには、4WD コントロールレバーをセンター位置に動かします。前車輪の滑りが検出されると、後輪が連結され、自動的にまたは機械を後退させたときに連結解除されます。
- 4WD を解除するには、4WD レバーを後方へ引きます。
- フルタイム 4WD にするには、4WD コントロールレバーを前方に押します。前進および後退走行で 4 輪駆動がロックされます。
- 4WD レバーを前方に押しながら (ゆっくりと) 前進走行すると、オンデマンド 4WD が接続しやすくなります。
- 4WD レバーを後方に引きながら (ゆっくりと) 後退走行すると、4WD ロックが解除されやすくなります。

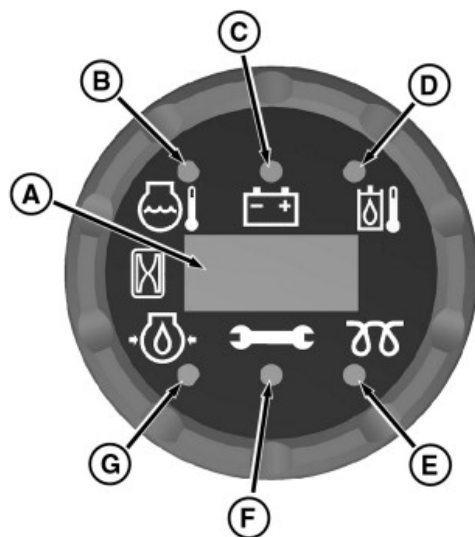
OUO2005,0000066-40-09NOV15

2 速トランスアクスルの使用 (1580、1585)

- トランスアクスルをハイギアレンジにシフトするには、2 速トランスアクスルシフトレバーを最も高い位置まで押し上げます。これは機械の輸送に、または軽作業用途ですばやく移動するために使用されます。
- トランスアクスルをニュートラルにシフトするには、2 速トランスアクスルシフトレバーを中央位置に動かします。この位置は、機械を押して動かしたり、牽引したりするために使用されます。
- トランスアクスルをローギアレンジにシフトするには、2 速トランスアクスルシフトレバーを最も低い位置まで押し下げます。これは、登坂および深い草むらや物の中を通るために使用されます。
- ギアレンジを変えながら機械を無負荷でゆっくりと動かすと、ギアがかみ合いやすくなります。

OUO2005,0000067-40-04NOV13

オペレータディスプレイの使用



TCT007012—UN—18MAR13

- A：** 積算時間計には、エンジンの運転時間数が表示されます。電子積算時間計は、キースイッチが ON 位置のときに読み取ることができます。積算時間計と点検間隔表を使用して、機械やモアデッキで整備手順を実施する必要がある時期を決定してください。
- B：** エンジンクーラント温度表示灯は、エンジンの温度が過剰に上がると点灯します。エンジンを止めて原因を調べてください。
- C：** バッテリー放電表示灯は、オルタネータから適切な電流が得られていない場合に点灯します。エンジンを止めて原因を調べてください。また表示灯は点滅のパターンでも診断コードを表示し、作動および電気系統の不具合を識別するために使用できます。コードについては、このマニュアルの「操作」セクションの「座席からの診断」を参照してください。
- D：** 「作動油温度表示灯」は、作動油温度が高くなると点灯します。直ちに全油圧機能を停止してください。エンジンを負荷なしでアイドル状態にし、作動油の温度を下げます。オイルはこれによりオイル冷却器を通して流れるため、オイルが冷やされます。オイルレベルを確認し、オイルクーラーのコイルが汚れていないことを確認します。連続作業を行うと機械の温度が上がることもあり、機械が損傷するおそれがあります。
- E：** 「エンジンエア予備加熱表示灯」(ディーゼルモデル) は、キースイッチを作動位置に回すと点灯します。約 3～15 秒経過すると、ライトは点灯しなくなります。
- F：** この機械には、整備表示灯は適用されません。
- G：** エンジンオイル圧表示灯は、エンジンオイル圧が低下すると点灯します。エンジン作動中にこのランプが点灯したら、直ちにエンジンを停止してください。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUMX068,0000690-40-26MAR14

機械の操作

ハイドロスタティックペダルの使用

前進ペダルの使用

1. 前進ペダルをわずかに踏み込み、前進を開始します。さらにペダルを踏み込み、速く走行します。
2. ペダルを放してニュートラルに戻し、モアを停止します。

後退ペダルの使用

⚠ 注意： 回転しているブレードは危険です。子供や近くにいる人がひかれたり、回転しているブレードによりけがをする可能性があります。

後退する前に、機械の周囲を慎重に確認してください。

1. 後退ペダルをわずかに踏み込んで、後退走行を開始します。さらにペダルを踏み込み、速く走行します。
2. ペダルを放してニュートラルに戻し、機械を停止します。

OUO1023,0000478-40-13MAR13

ブレーキの使用

マスターブレーキペダルの使用

注記：マスターブレーキが作動すると、PTO の接続は解除されます。

傾斜地で機械を静止状態に保持するまたは緊急停止するには、マスターブレーキペダルを踏み込みます。マスターブレーキペダルを踏み込むと、PTO の接続は解除されます。PTO を再開するには、ブレーキを放してから PTO スイッチを入れ直す必要があります。

パーキングブレーキの使用

1. パーキングブレーキロックレバー (B) を引き上げ、マスターブレーキペダル (A) を完全に踏み込んでからパーキングブレーキをロックします。ペダルはロックされた下がった位置に留まっている必要があります。
2. マスターブレーキペダルを踏み込み、パーキングブレーキロックレバーを押し下げて、パーキングブレーキのロックを解除します。マスターブレーキペダルを解除します。

旋回ブレーキの使用

旋回ブレーキは、機械の幅内で方向をすばやく変えるために使用されます。芝生を損傷させることが許されない区域では、旋回ブレーキによるタイヤのロックを避けてください。トラクションアシストが作動している場合、旋回ブレーキによって機械は旋回しません。

1. 右旋回ブレーキペダルを踏み込んで、左前輪に駆動力をかけながら右前輪の速度を遅くするか停止させます。機械は右に旋回します。旋回ブレーキペダルを解除して直進走行を再開します。

2. 左旋回ブレーキペダルを踏み込んで左に旋回します。

OUO1023,0000479-40-13MAR13

トラクションアシストペダルの使用

トラクションアシストロックは、斜面や滑りやすい面でトラクションを向上するために使用します。フロント車軸がロックして前輪と一緒に回転します。

重要： トラクションアシスト機能を不適切に使用すると、トランスアクスルが損傷する可能性があります。次の点に注意してください。

- トラクションアシストを ON または OFF にする前に、減速し、駆動輪が同じ回転数で回転するようにしてください。
- 乾燥したアスファルトまたはコンクリート面を走行時は、トラクションアシストを OFF にしてください。
- 対地駆動力を改善するために必要な場合のみ、トラクションアシストを使用してください。

トラクションアシストをロックするには、以下の手順に従います。

左足でトラクションアシストロックペダルを踏み込み続けます。

トラクションアシストのロックを解除するには、以下の手順に従います。

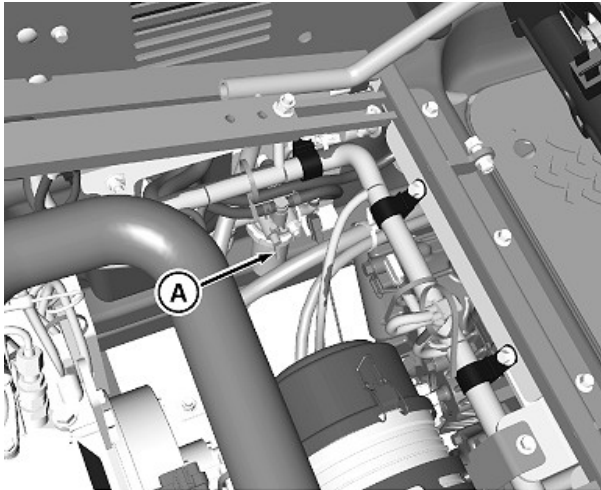
1. ペダルから足を離します。
2. ホイールの回転が同じでない限り、トラクションアシストはロックされたままです。トランスミッションにかかっている負荷が均一化され、減少すると、トラクションアシストのロックは自動的に解除されます。

OUO1023,000047A-40-13MAR13

燃料シャットオフバルブの使用

注記：機械を保管するとき、またはトレーラーに載せて輸送するときは、燃料シャットオフバルブを閉めてください。

機械の操作



TCT008008—UN—29JUL13

図：1550 モデル

エンジンカバーを開きます。エンジンの左側にある燃料シャットオフバルブ (A) を確認します。

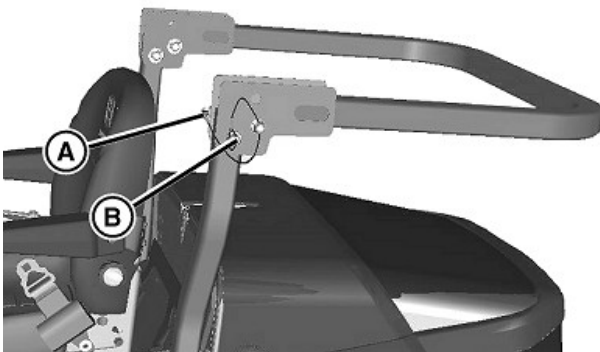
- 燃料シャットオフバルブを開くには、以下の手順に従います。
 - ハンドルを回してポインタを下に向けます。
- 燃料シャットオフバルブを閉じるには、以下の手順に従います。
 - ハンドルを回してポインタを後方に向けます。

OUMX068,0000692-40-26MAR14

ROPS を上げる / 下げる

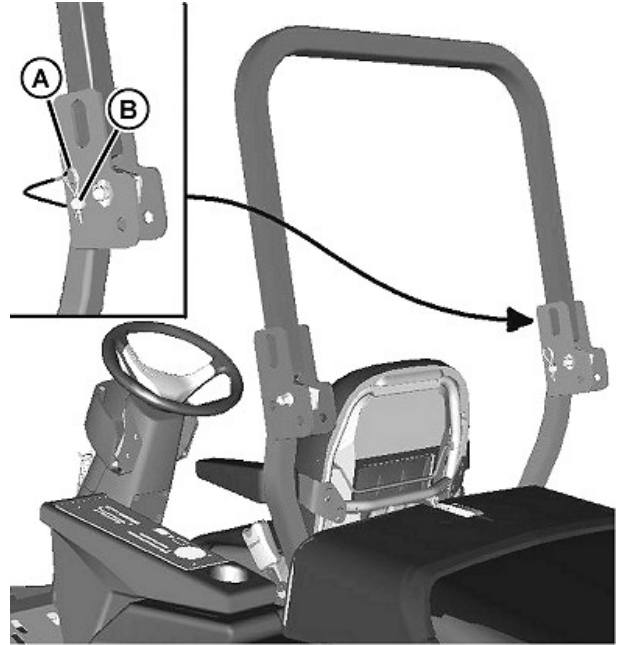
ROPS を上げる

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)



TCT007882—UN—11JUL13

2. ROPS の左右にあるドリルピン (B) からスプリングピン (A) を取り外します。
3. ROPS の左右にあるドリルピンを取り外します。



TCT007883—UN—01NOV13

4. ROPS を直立位置まで押します。

5. ROPS の左右の穴にドリルピン (B) を取り付けて、スプリングピン (A) でその位置に固定します。

ROPS を下げる

⚠ 注意： 折りたたみ式 ROPS (転倒時保護構造) を直立位置にして機械を運転するときは、必ずシートベルトを着用してください。機械が傾いたときは、機械から飛び降りないでください。

隙間の小さいエリアで運転するために ROPS を折りたたむ必要がある場合は、シートベルトを使用しないでください。条件が許す限り早く ROPS を上げてシートベルトを着用してください。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. ROPS の左右にあるドリルピン (B) からスプリングピン (A) を取り外します。
3. ROPS の左右にあるドリルピンを取り外します。
4. ROPS を後方に引っ張って下げます。
5. ROPS の穴にドリルピンとスプリングピンを取り付けて、その位置に固定します。

OOU2005,000006C-40-04NOV13

装置の上昇と下降

⚠ 注意： 機械が不安定になるので、斜面でまたは高速で走行中は装置を上げないでください。装置を上げた状態で急ブレーキをかけないでください。

装置を上げた後も PTO は作動し続けます。装置を上げる前に PTO をオフにしてください。

機械の操作

リフトレバーを前方に押すと、エンジン停止中にオペレータがシートに座ってなくても装置は下がります。シートに座っていないときは、絶対にコントロールを操作しないでください。下げる前に装置の下エリアに何も無いことを確認してください。

PTO をオフにします。装置を上げても PTO は停止しません。上昇位置でも装置は作動し続けます。

装置を上げるには、以下の手順に従います。

- リフトレバーを後方に引きます。レバーを放すまで、または移動範囲の上端に達するまで (いずれかの条件が最初に発生するまで)、装置は上がります。

装置を下げるには、以下の手順に従います。

- リフトレバーを前方へ押します。レバーを放すまで、または装置が地面に達するまで (いずれかの条件が最初に発生するまで)、装置は下がります。

装置をフロートさせるには、以下の手順に従います。

- フロート位置にラッチが掛かるまでリフトレバーを前に押します。装置は、地面の凹凸に従って必要に応じて上昇および下降します。

OUO1023,000047E-40-04NOV13

補助油圧装置コントロールレバーの使用

- 油圧コントロールレバーを前後に数回動かして、油圧システムの圧力を解放します。
- ダストキャップをカプラーから取り外します。
- 装置のオペレータマニュアルの指示に従って装置の油圧ホースを接続し、装置を操作します。

油圧コントロールレバー機能は装置によって決まります：

- レバーを後方に引いて、オスカプラーラインに圧力をかけ、装置の機能を実行します。
- レバーを中央の位置に引くか押すかして、両方のカプラーラインの圧力を中和します。
- レバーを前方に押して、メスカプラーラインに圧力をかけ、装置の機能を実行します。

MX00654,00001F5-40-18DEC14

エンジンの始動

注意： エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- エンジンを運転する前に、機械を屋外に移動させてください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。

- エンジンの排気管に延長管を接続して、排気ガスをエリア外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業区域に取り込み、排気ガスを除去してください。

注記： PTO をオフにしてマスターブレーキペダルを踏み込まない限り、エンジンは始動しません。

- 燃料シャットオフバルブを開きます。
- オペレータシートに座ります。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
- シートベルトを着用します (ROPS が折りたたまれた位置にない場合)。
- パーキングブレーキをロックしていない場合は、マスターブレーキペダルを踏み込みます。
- PTO ノブをオフ位置に押し下げます。
- スロットルレバーをスローアイドル位置に引き戻します。
- キーを「ON」位置に回します。
- 1550 のみ：エンジン予熱表示灯が消灯するまで待ちます。

重要： スタータを過熱させないでください。1 回に 10 秒以上スタータを作動させないでください。エンジンが始動しない場合は、2 分間待ってから再度試みてください。

- キーを START 位置に 10 秒未満の間、もう一度回します。エンジンが始動したら、キーを放して RUN 位置に戻します。

- スタータがかみ合うが、エンジンが始動しない場合は、2 分間待ってから 10 秒未満再始動を試みます。

重要： エンジンを長時間アイドルで運転しないでください。過剰なアイドリングは、エンジンのオーバーヒートやカーボン付着、および性能低下の原因となることがあります。

- エンジンを半分の回転数の位置で 2 分間運転して暖機してから機械を運転してください。

OUO2005,000006D-40-04NOV13

エンジンの停止

- PTO スイッチを OFF 位置に押し下げます。
- スロットルレバーをスローアイドル位置に戻します。エンジンをスローアイドルで数秒運転します。
- パーキングブレーキをかけます。
- 装置を地面まで下げます。
- キースイッチを「STOP」位置まで回します。

機械の操作

6. キーを抜きます。

OUO2005.000006E-40-29JUL13

作業機の輸送

1. PTO スイッチをオフにします。
2. 装置を地面まで下げます。
3. 装置を下げた状態で輸送する必要がある場合は、装置がフロート位置に固定されていることを確認してください。輸送速度を低い速度に維持してください。
4. 装置を上げた状態で輸送する必要がある場合は、急ブレーキや勾配を避けて、輸送速度を低い速度に維持してください。

OUO2005.000006F-40-04NOV13

エンジンが停止した機械を動かす

⚠ 注意： バイパスバルブを開くと、機械は制約なしに動く状態になります。

- 機械が傾斜地で止まった場合は、制御を失って坂を下ることを防止するため、バイパスバルブを開かないでください。

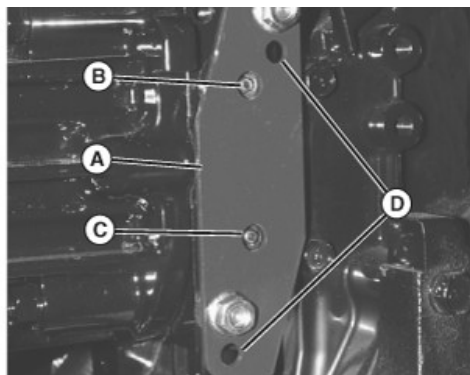
重要： 機械を正しく移動または牽引しないとトランスミッションが損傷するおそれがあります。

- 機械の移動は手作業でのみ行ってください。
- 機械を動かすために別の車両を使用しないでください。
- 機械を牽引しないでください。

キースイッチをOFF (オフ) 位置に回します。

1550, 1570, 1575

1. 4WD レバーを「FORWARD (前進)」位置に入れます。



TCAL43326—UN—14MAR13

2. サービスハッチを開き、トランスアクスルハウジングの右側にある赤のプレート (A) を確認します。
3. パーキングブレーキをかけます。

- 機械を前進方向に押して短い距離を動かすには、小形の工具で上部のリリーフバルブ (B) を解放します。
- 機械を後退方向に押して短い距離を動かすには、小形の工具で下部のリリーフバルブ (C) を解放します。
- 機械を押して前進または後退方向に長い距離を動かすには、M8 フランジヘッドナット 2 個を取り外して、プレートを下側の 1 組みのドリル穴 (D) に取り付けます。ナットを取り付けます。

4. パーキングブレーキのロックを解除します。
5. 機械をゆっくりと手押しするかウインチを使用して動かし、必要に応じてブレーキを使用します。
6. 別の車両を使用して押ししたり、高速でモアを牽引したりしないでください。
7. 赤のプレートを下側の 1 組みの穴に動かした場合、元の位置に戻してください。

1580, 1585

1. 4WD レバーを「2WD」位置に入れます。
2. 2 速トランスアクスルのシフトレバーを中央のニュートラル位置に動かします。
3. パーキングブレーキのロックを解除します。
4. 機械をゆっくりと手押しするかウインチを使用して動かし、必要に応じてブレーキを使用します。

OUO2005.0000070-40-29JUL13

トレーラーによる機械の輸送

⚠ 注意： トレーラーやトラックへの機械の積み込み、積み下ろしの際は十分注意してください。

- トレーラーを水平な地面に駐車します。
- 側壁のあるトレーラーの使用をお勧めします。
- 急斜面や崖にホイールを近づけないでください。
- ゆっくりとまっすぐに後退してください。
- 燃料シャットオフバルブを閉じます (機械に装備されている場合)。

重要： トレーラーやトラックの荷台に載せて高速で機械を輸送すると、ボンネットやエンジンカバーが開き、機械が固定されていない場合は落下する可能性があります。

- トレーラーの後側からボンネットやエンジンカバーが開くように機械を配置して、風にあおられてボンネットやエンジンカバーが開かないようにしてください。
- 既存の機械のロックやラッチを使用してボンネットやエンジンカバーを固定してください。
- ロックやラッチがない場合は、結束ストラップ

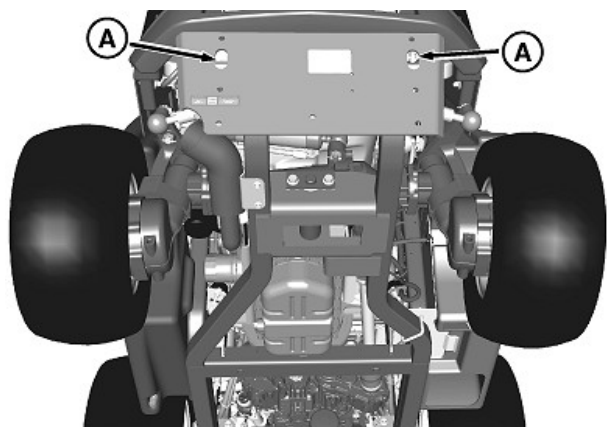
機械の操作

を使用して、ボンネットやエンジンカバーを固定してください。

必要なライトや法律で定められた標識がトレーラーにすべて装備されていることを確認してください。

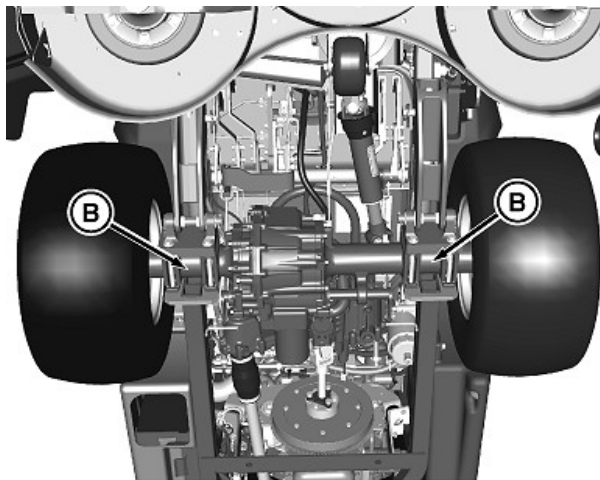
1. PTO を停止します。
2. 装置を上げた状態でヘビーデューティトレーラーの上まで運転します。
3. 装置をトレーラーのプラットフォームに下ろします。
4. エンジンを停止し、キーを抜き、パーキングブレーキをロックします。
5. 燃料シャットオフバルブを閉めます (ディーゼルモデルのみ)。
6. ヘビーデューティストラップ、チェーン、またはケーブルを使用して機械をトレーラーに固定します。

注記： 前部および後部のストラップは、機械の下および外側に向ける必要があります。



TCT008010—UN—11DEC13

7. 以下の手順に従って後部のストラップを締め付けます。
 - ウェイトキットを取り付けていない場合：後部のストラップをリアパネルの縦のスロット (A) に締め付けます。
 - ウェイトキットを取り付けている場合 (非表示)：後部のストラップをウェイトキットのブラケットに締め付けます。



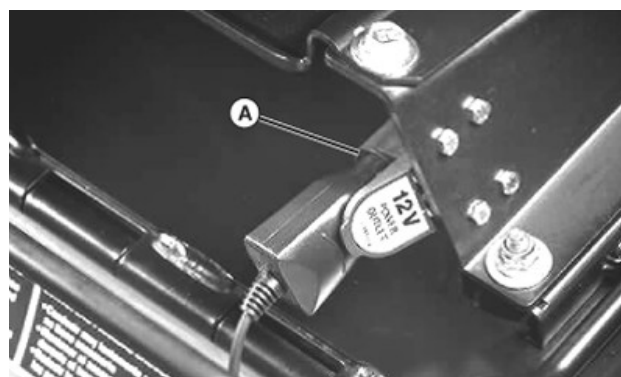
TCT008011—UN—11DEC13

8. 前部のストラップをフロントトランスアックスル (B) の周りに締め付けます。
9. エンジンカバーが閉まっていてラッチが掛かっていることを確認します。トレーラーに載せているときの頭上高の問題を防止するために ROPS を折りたたみます。

OUO2005.0000071-40-11DEC13

電源コンセントの使用

注意： 機械を運転中は個人用のエレクトロニクス機器やヘッドフォンを使用しないでください。電気コードがオペレーターステーションや機械の側面に垂れ下がらないようにしてください。



TCAL43327—UN—14MAR13

電源コンセントは、アクセサリを作動させる直流 12 V (VDC) を供給します。これは 10 A のヒューズ付きでイグニッションスイッチの位置に関係なく電源を供給します。このコンセントは耐候性のスプリング式カバー付きです。機械を保管する前に必ず装置をコンセントから外してカバーを閉めてください。

OUO1023.0000484-40-13MAR13

交換部品

整備関連文書

この機械の部品カタログや技術マニュアルのコピーをお求めの場合は、次の連絡先にご連絡ください。

- **米国/カナダ** : 1-800-522-7448.
- **その他の地域** : John Deere 取扱店。

OUO1023,0000485-40-13MAR13

部品

John Deere 取扱店から入手可能な John Deere の高品質部品および潤滑剤をお勧めします。

品番は変更されることがあります。注文時は下記の品番を使用してください。品番が変更された場合、取扱店では最新の品番を使用します。

部品を注文される場合、John Deere 取扱店はお客様の機械やアタッチメントのシリアル番号や製品識別番号を必要とします。これらの番号は、このマニュアルの「製品識別」セクションに記録した番号です。

整備部品のオンライン注文

インターネット経由の部品の注文と情報については、**<http://JDParts.deere.com>** にアクセスしてください。

OUO1023,0000486-40-13MAR13

整備間隔

機械の整備

重要： 損傷を防止してください。極端な条件での運転により、点検間隔の短縮が必要になる場合があります。

- 極端な熱、ほこり、またはその他の過酷な条件で運転しているときは、エンジン部品の汚損や詰まりが発生することがあります。
- 機械を低速または低エンジン回転数で継続的に、または短期間頻繁に運転した場合、エンジンオイルが劣化する可能性があります。
- 高圧洗浄を行うと、機械の部品が損傷するおそれがあります。

次のタイムテーブルを参照して機械の定期メンテナンスを行ってください。

車両を安全に駐車します。「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。

OUO2005,0000291-40-08FEB21

慣らし運転

運転開始 10 時間後

- ホイール金具を点検して締め付けます。

運転開始 50 時間後

注記： 機械の工場初期設定タイマーアラートはエンジンオイルと作動油に対して 50 時間に設定されています。50 時間の間隔が経過したら、エンジンオイルと作動油のタイマーを通常の 250 時間の間隔にリセットする必要があります。(「整備タイマーの使用」を参照してください)。

- エンジンオイルとフィルタを交換します。
- トランスアクスルオイルとフィルタを交換します。
- 整備タイマー間隔をリセットします。

OUO2005,0000363-40-13MAR20

50 時間ごとまたは毎年

- キャブのエアフィルタを清掃します (キャブ付きの装置)。
- デッキの部品を潤滑します。
- カuttingユニットまたはモアのリフト部品を潤滑します。
- ドライブシャフトを潤滑します。
- バッテリ端子を清掃し、バッテリー液レベルを点検します (該当する場合)。
- リア車軸の部品を潤滑します。
- ステアリングシリンダを潤滑します。
- モアデッキのベルトを点検します。

- 4WD モデル：リア車軸のオイルレベルを点検します。
- ホイール金具を点検して締め付けます。

OUO2005,0000364-40-02NOV15

100 時間ごと

- リア車軸ピボットを潤滑します。
- ハイドロスタティックリンケージを潤滑します。
- 旋回ブレーキペダルを潤滑します。

OUO2005,0000365-40-07MAR14

250 時間ごと

- エンジンオイルとフィルタを交換します。
- トランスアクスルオイルとフィルタを交換します。

OUO2005,0000366-40-07MAR14

500 時間ごと

- ROPS の金具のトルクを点検します。
- 燃料フィルタを交換します。
- 4WD モデル：リア車軸オイルを交換します。
- リア車軸のトーイン調整を点検します。
- リア車軸のピボットピンに摩耗や損傷がないか点検します。

OUO2005,0000367-40-17APR15

1000 時間ごと

- バルブクリアランスを点検します。

OUO2005,0000368-40-07MAR14

1500 時間ごと

- クーラントの凍結温度と透明度を点検します。
- フューエルインジェクタを点検します。

OUO2005,0000369-40-07MAR14

2,000 時間または 2 年ごと

- エンジンクーラントとサーモスタットを交換します。

OUO2005,000036A-40-06MAR14

バイオディーゼル燃料に変更後の整備間隔

重要： B6 から B20 の混合燃料のうち、EN14214 (欧州規格) または ASTM D-7467 (米国規格) に適合したバイオディーゼル燃料のみを使用してください。

バイオディーゼル燃料は、燃料販売業者が製造した日から 3 か月以内に使用する必要があります。

注記： バイオディーゼル混合燃料を使用する際は、*John Deere Biodiesel Fuel Conditioner* の使用を推奨します。

B6～B20 の混合燃料を使用するよう転換した作業機については、以下の間隔で整備を行います。

毎日

- ウォーターセパレータを点検し、必要に応じて排水します。
- エンジンオイルを点検します。オイルレベルが上がる場合は、ただちにエンジンオイルを交換してください。

エンジンオイルとフィルタの交換間隔

- オペレータマニュアルに記載されている通常のディーゼル燃料使用時の整備間隔の 50% で交換します。

燃料フィルタの交換間隔

- オペレータマニュアルに記載されている通常のディーゼル燃料使用時の整備間隔の 50% で交換します。

1000 時間ごと

- フューエルインジェクタを清浄、点検、および調整します。

OUO1023,0000493-40-13MAR13

潤滑関連の整備

グリース

重要： 部品の故障や早期摩耗を回避するために、推奨される John Deere グリースを使用してください。

推奨 John Deere グリースは、平均気温 $-29 \sim 135^{\circ}\text{C}$ ($-20 \sim 275^{\circ}\text{F}$) の範囲で有効です。

この温度範囲外で運転する場合は、特殊用途グリースについて整備取扱店にお問い合わせください。

次のグリースをお勧めします。

高速用途

以下の高速用途には、John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease を使用してください。

- エンジンドライブシャフト (1 箇所)
- PTO シャフト (3 箇所)。

その他の用途

他のすべての用途には、John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease を使用してください。

推奨グリースを使用していない場合は、NLGI Grade 2 の一般的な汎用グリースを使用していることを確認してください。モアスピンドルやリア車軸などの高速用途には、John Deere Moly High Temperature EP Grease を使用しないでください。

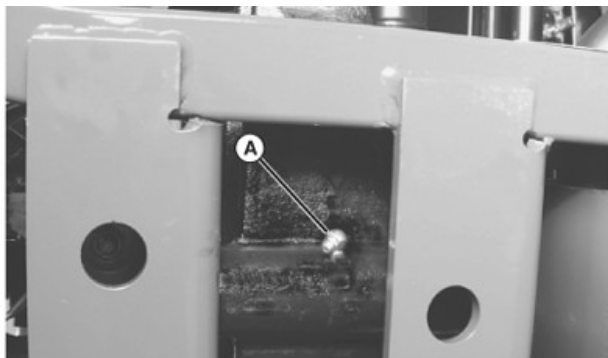
極端な湿潤条件で運転する場合は、特殊用途向けのグリースの使用が必要になることがあります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

汚損を防止するために潤滑の前後にすべてのグリースフィッティングを拭いてください。

OUO1023,0000494-40-13MAR13

リア車軸ピボットピンの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCAL43328—UN—14MAR13

2. 機械後部下のリア車軸底部のフレームメンバー間に

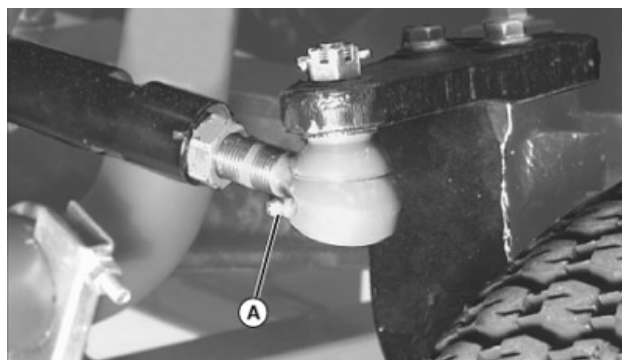
あるリア車軸ピボットピンのグリースフィッティング (A) を確認します。

3. 車軸キャスティングの前後からグリースがにじみ出てくるのを目視で確認できるまで、グリースフィッティングを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

OUO1023,0000495-40-13MAR13

リアタイロッドの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



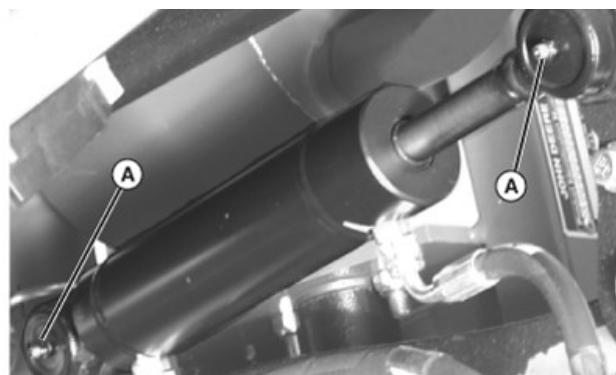
TCAL43329—UN—14MAR13

2. 左右のリアタイロッド (A) を John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

OUO1023,0000496-40-13MAR13

油圧ステアリングシリンダの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCAL43330—UN—14MAR13

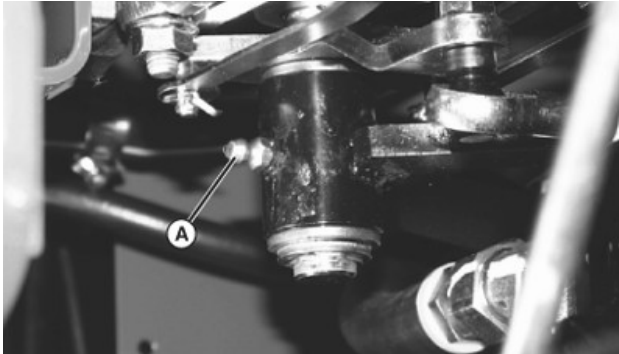
2. 機械後部の油圧ステアリングシリンダ端 (A) を John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

OUO1023,0000497-40-13MAR13

潤滑関連の整備

ハイドロスタティックリンケージの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



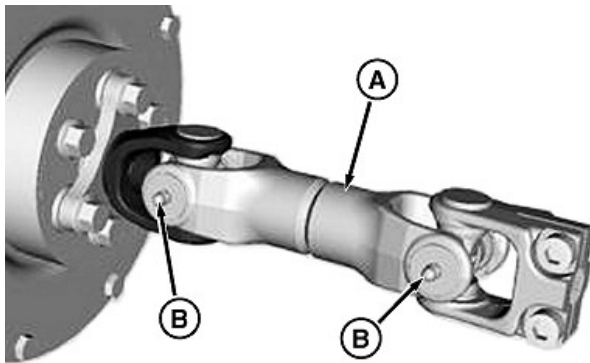
TCAL43331—UN—14MAR13

2. オペレータプラットフォームのサービスハッチの下 (右フロントタイヤの後部) にあるハイドロスタティックリンケージのグリースフィッティング (A) を確認します。
3. リンケージを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

OUO1023,0000498-40-13MAR13

エンジンドライブシャフトの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



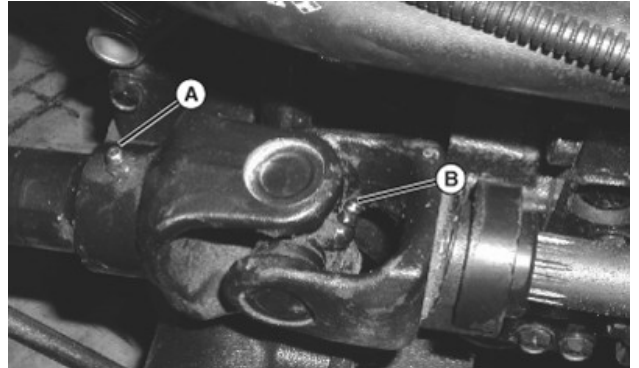
TCT010615—UN—06MAR14

2. エンジンドライブシャフト (A) のフロントユニバーサルジョイントを John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease で潤滑します。
3. 各ユニバーサルジョイントの内側にある 4 つのベアリングキャップすべてからグリースがにじみ出るのを目視で確認できるまで、グリースを 2 つのグリースフィッティング (B) に注入します。

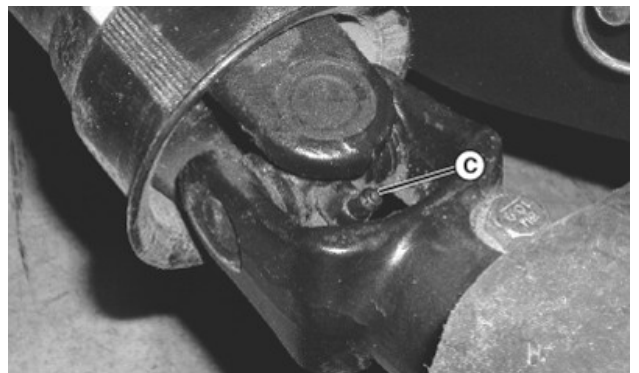
OUO2005,000036B-40-06MAR14

PTO シャフトの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCAL43333—UN—14MAR13



TCAL43334—UN—14MAR13

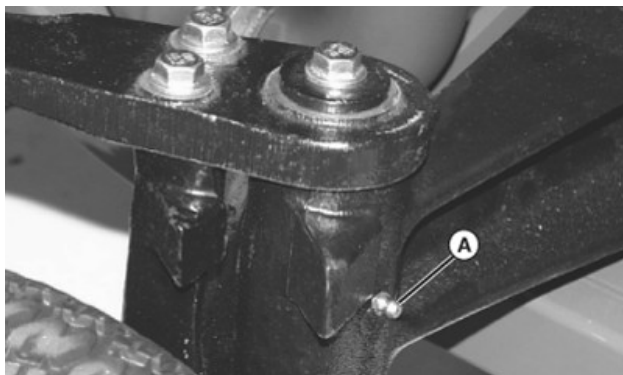
2. グリースフィッティング (A ~ C) を John Deere Multi-Purpose SD Polyurea Grease または John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease で潤滑します。
3. 各ユニバーサルジョイントの内側にある 4 つのベアリングキャップすべてからグリースがにじみ出るのを目視で確認できるまで、グリースをグリースフィッティング (B、C) に注入します。

OUO1023,000049A-40-14MAR13

ステアリングスピンドルの潤滑 (2WD のみ)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。

潤滑関連の整備



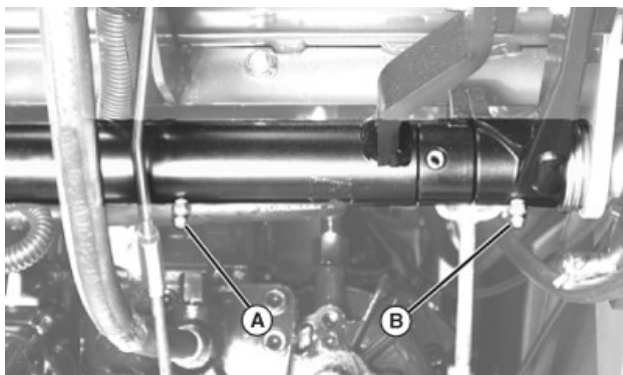
TCAL43335—UN—14MAR13

2. リア車軸ステアリングスピンドルの前側にあるステアリングスピンドルのグリースフィッティング (A) の位置を確認します (2 輪駆動モデルのみ)。
3. リンケージを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。
4. 機械の反対側にあるステアリングスピンドルのグリースフィッティングでも手順を繰り返します。

OUC1023,000049B-40-13MAR13

ブレーキペダルリンケージの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

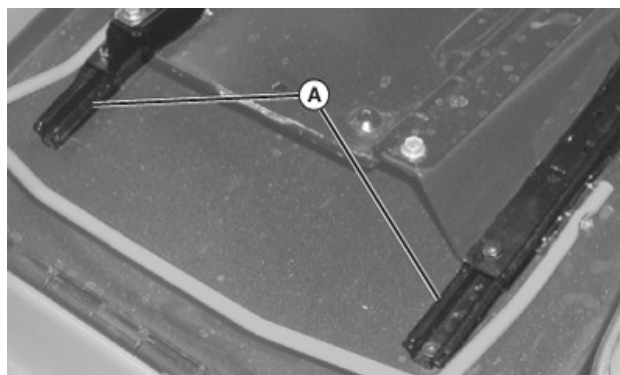


TCAL43336—UN—14MAR13

2. オペレータプラットフォームの左前側の下にあるブレーキペダルリンケージのグリースフィッティング (A、B) の位置を確認します。
3. リンケージを John Deere Multi-Purpose HD Lithium Complex Grease または John Deere Moly High Temperature EP Grease で潤滑します。

OUC1023,000049C-40-13MAR13

オペレータシートスライドの潤滑



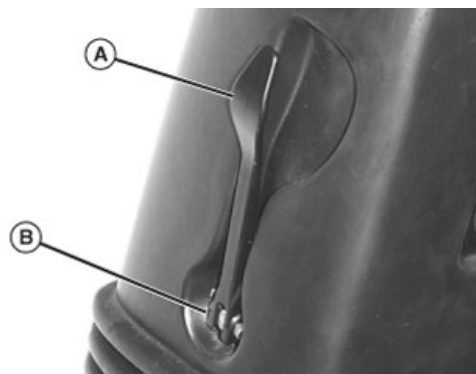
TCAL43337—UN—14MAR13

1. オペレータシートスライド (A) を John Deere Super Lube などの乾燥性のテフロン潤滑剤を使用して潤滑します。
2. シートを前後に動かしながらシートスライドに潤滑剤をスプレーします。

OUC1023,000049D-40-01APR15

ステアリングコラムのチルトロックの潤滑

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCAL43338—UN—14MAR13

2. レバー (A) を外側に引いてステアリングコラムを解放します。
3. John Deere Super Lube™ などの乾燥性の潤滑剤を使用してカム機構 (B) を潤滑します。

OUC1023,000049E-40-13MAR13

エンジンの整備

排ガス防止

⚠ 注意：エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- エンジンを運転する前に、機械を屋外に移動させてください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排気ガスをエリア外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業エリアに取り込み、排気ガスを除去してください。

OUO1023,000049F-40-13MAR13

を運転する地域のすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。

MX00654,0000026-40-30APR14

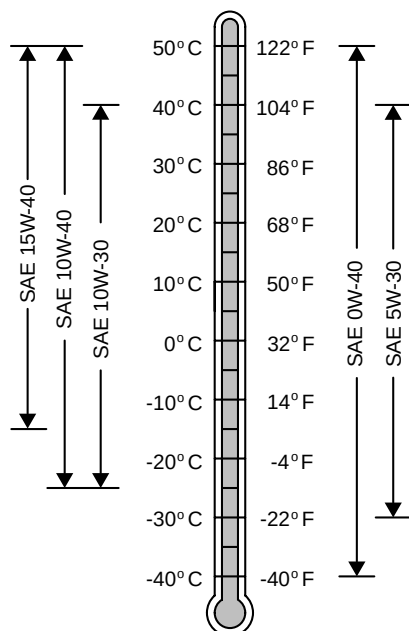
シートプラットフォームを上げる / 下げる

シートプラットフォームを上げる

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)

⚠ 注意：指や手が挟まれたりつぶれたりするおそれがあります。挟まれるおそれのある部位に留意し、手を近づけないでください。

エンジンオイル



TS1691—UN—18JUL07

気温範囲に適したオイル粘度

オイル交換の間に予想される気温範囲に基づいたオイル粘度を使用してください。

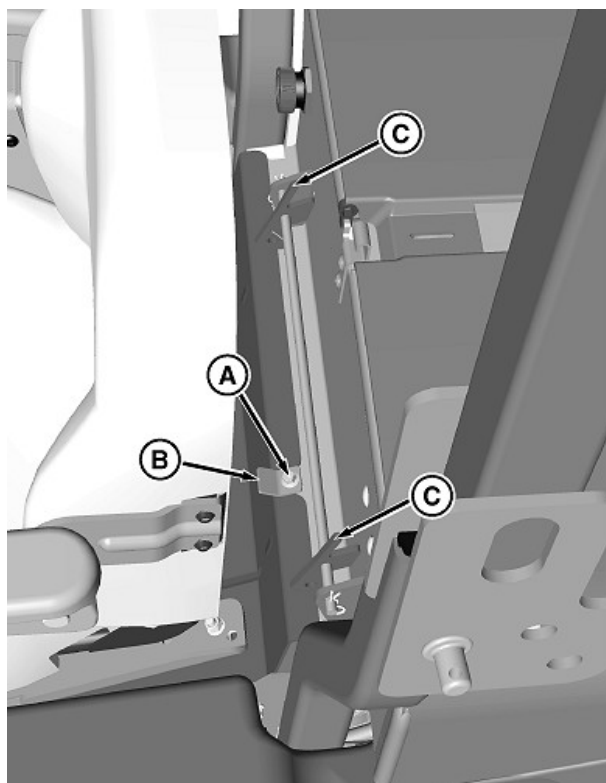
以下の John Deere オイルをお勧めします。

- PLUS-50™ II
- TORQ-GARD SUPREME™

上記の John Deere オイルを入手できない場合は、以下の仕様を満たしていることを条件にその他のオイルを使用できます。

- API サービス分類：CJ-4
- ACEA 規格 E6 または E9
- JASO 規格 DH-2

ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジン

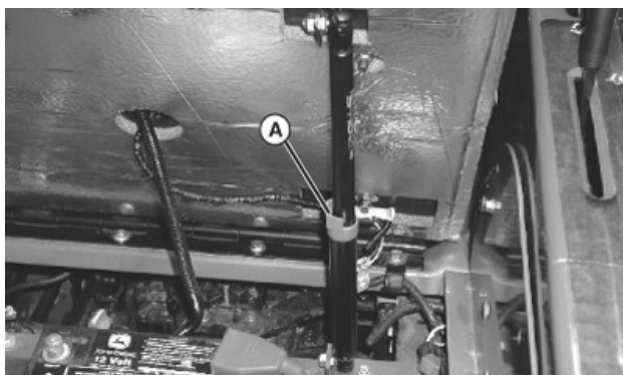


TCT009090—UN—05NOV13

2. ねじ (A) とロックプレート (B) を取り外します。
3. オペレータシートの背もたれを前方に引っ張りながらリリースレバー (C) を前方に引きます。
 - ガスストラットが伸長して開放位置にラッチが掛かるまでシートプラットフォームが上昇します。

エンジンの整備

シートプラットフォームを下げる



TCAL43343—UN—14MAR13

1. ガスストラットのロックレバー (A) を押し込みます。
2. シートプラットフォームが下がりラッチがかかるまで、シートの背もたれを後方に引きます。
3. ロックプレートとねじを取り付けます。

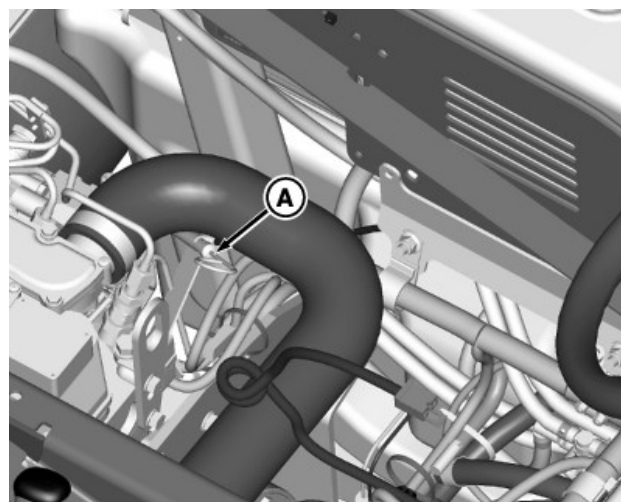
OUO2005,00002A1-40-05NOV13

エンジンオイルレベルの点検

重要： 損傷を防止してください。ごみや他の汚染物質がオイルディップスティックチューブから入らないようにしてください。ディップスティックを取り外す前にディップスティックの周りを清掃してください。

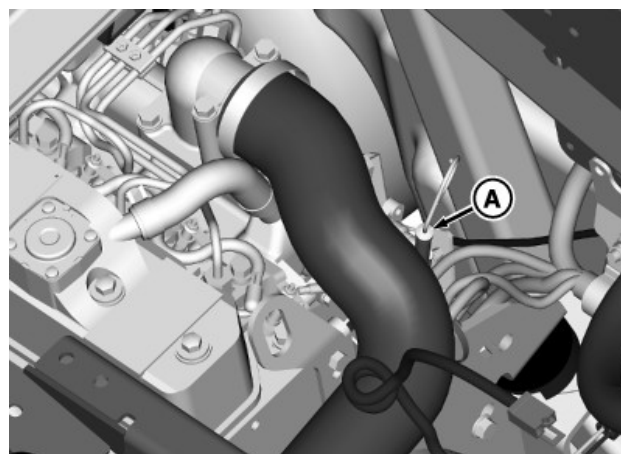
定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが低い場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
 - エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。
 - フルマークと追加マークの間にレベルを維持してください。
 - オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。
 - 1 日に 4 時間以上エンジンを運転する場合は、オイルレベルを 1 日に 2 回点検してください。
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
 2. オペレータシートプラットフォームを前に傾けます。



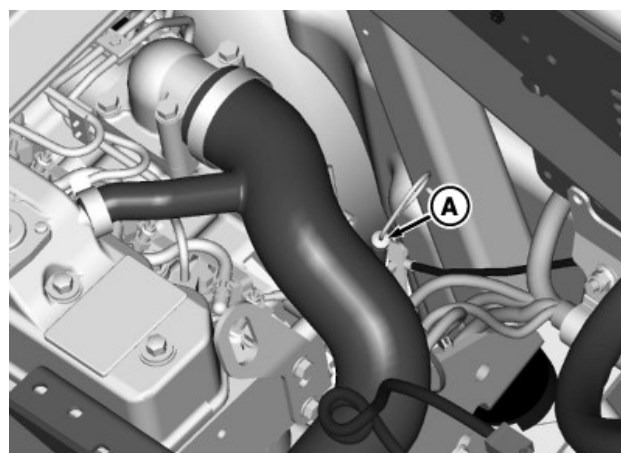
TCT010630—UN—21MAR14

図：モデル 1550



TCT010753—UN—27MAR14

図：モデル 1570、1575

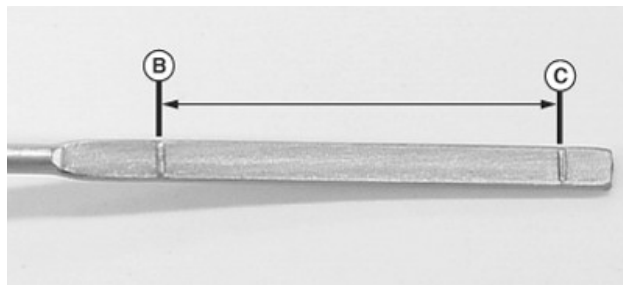


TCT010754—UN—27MAR14

図：モデル 1580、1585

3. シート下のエンジンの左側にあるディップスティック (A) を取り外します。ディップスティックをきれいな布で拭きます。

エンジンの整備



TCAL43345—UN—14MAR13

- ディップスティックを取り付けて、もう一度取り外します。オイルレベルを点検します。オイルレベルは、ディップスティックのレベル (B) と (C) の範囲内にある必要があります。

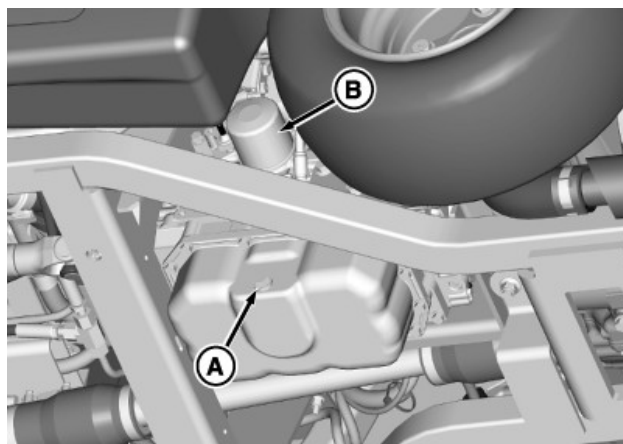
- オイルが少ない場合は、ディップスティックのレベル (B) 以下までオイルを追加します。
- オイルレベルがディップスティックのレベル (B) を超えている場合は、適切なレベルになるまでオイルを抜きます。

- ディップスティックを取り付けます。
- オペレータシートプラットフォームを下げます。

OUMX068,000693-40-27MAR14

エンジンオイルとフィルタの交換

- エンジンを運転してオイルを暖めます。
- 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
- エンジンカバーとシートプラットフォームを開きます。
- オイルを抜き取る位置の下にドレンパンを置きます。



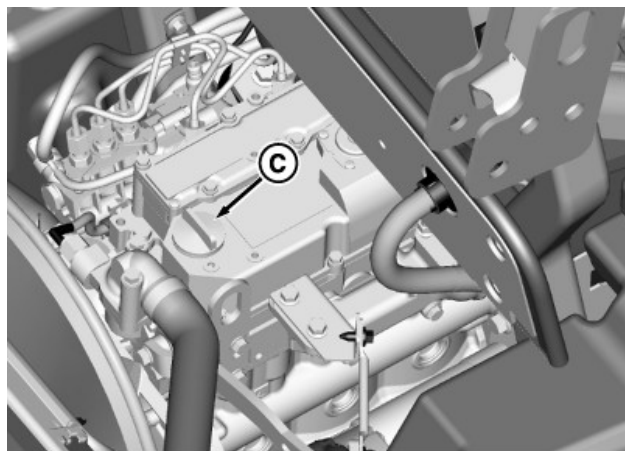
TCT010631—UN—21MAR14

図：モデル 1550 (他のモデルも同様)

- エンジンの下側にあるドレンプラグ (A) を取り外します。
- エンジンの左下側にあるオイルフィルタ (B) を取り

外します。フィルタを反時計回りに回して取り外します。

- エンジンのフィルタ取り付け面を清潔なウエスで清掃します。
- 新品のフィルタのガスケットに清潔なエンジンオイルを薄く塗ります。
- 新品のフィルタを取り付けます。
 - フィルタが取り付け面に接触するまで、フィルタを時計回りに回します。ガスケットが接触したら、さらに 1/2 ~ 3/4 回転締め付けます。
- オイルドレンプラグを取り付けます。締め付けすぎないでください。



TCT010632—UN—21MAR14

図：モデル 1550 (他のモデルも同様)

- エンジン上部のオイルフィルキャップ (C) を取り外します。
- 以下の手順に従ってオイルをエンジンに充填します。

エンジンオイル：仕様

1550：容量.....	3.1 L (3.3 qt)
1570, 1575：容量.....	4.1 L (4.3 qt)
1580, 1585：容量.....	4.8 L (5.1 qt)

- オイルフィルキャップを取り付けます。
- エンジンを始動します。
 - エンジンをスローアイドルで約 2 分間運転します。
 - オイル漏れがないかエンジンの下側の部分を点検します。

- エンジンを停止します。
- 約 2 分後、エンジンオイルレベルを点検します。

重要： 損傷を防止してください。ごみや他の汚染物質がオイルディップスティックチューブから入らないようにしてください。ディップスティックを取り外す前にディップスティックの周りを清掃してください。

エンジンの整備

定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが低い場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
- エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。
- フルマークと追加マークの間にレベルを維持してください。
- オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。
- 1 日に 4 時間以上エンジンを運転する場合は、オイルレベルを 1 日に 2 回点検してください。

17. ディップスティックを取り外します。清潔な布で拭きます。

18. ディップスティックを取り付けます。

19. オイルレベルを点検します。

- オイルレベルが低い場合、オイルをディップスティックのフルマークまで注入します。
- オイルがディップスティックのフルマークよりも上にある場合は、適切なレベルまで抜き取ります。

20. ディップスティックを取り付けます。

21. エンジンカバーを閉めてシートプラットフォームを下げます。

OUMX068,0000694-40-27MAR14

吸気スクリーンの清掃

⚠ 注意： 圧縮空気を使用すると、遠くまでごみが飛ぶ可能性があります。

- 作業エリアに人を近づけないでください。
- 清掃のために圧縮空気を使用するときは、ゴーグルを着用してください。
- 圧縮空気の圧力を 210 kPa (30 psi) まで下げてください。

重要： 吸気スクリーンが詰まっていると、過熱でエンジンが損傷することがあります。吸気スクリーンおよび冷却フィンを含むエンジンの他の外面を常に清潔に保ち、吸気が適切に行われるようにします。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンカバーを開きます。



TCT007884—UN—11JUL13

3. ブラシ、圧縮空気、または水でスクリーン (A) を清掃します。

4. エンジンカバーを閉めます。

OUC02005,0000074-40-29JUL13

オイルクーラーとラジエータの清掃

⚠ 注意： けがを防止してください。圧縮空気を使用すると、遠くまでごみが飛ぶ可能性があります。

- 作業エリアに人を近づけないでください。
- 清掃のために圧縮空気を使用するときは、ゴーグルを着用してください。
- 圧縮空気の圧力を 210 kPa (30 psi) まで下げてください。

重要： 損傷を防止してください。エンジンのオーガニズムを防止し、適切な量の空気が取り入れられるように、オイルクーラーのコイルやラジエータの冷却フィンは清潔である必要があります。

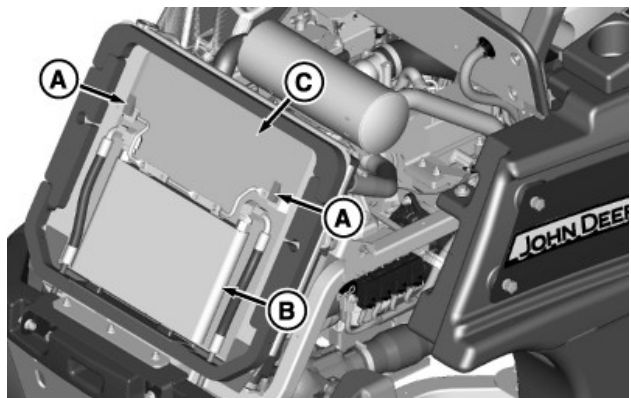
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。

重要： 損傷を防止してください。オイルクーラーおよびラジエータを清掃するときは、清掃中に圧縮空気や動力式の洗浄ノズルをフィンから 15 cm (6 in) 以上離してください。ラジエータには前側 (ファン側) だけからスプレーしてください。

エンジンの整備

4. 以下の手順に従って、ラジエータからオイルクーラーを旋回させて離します。

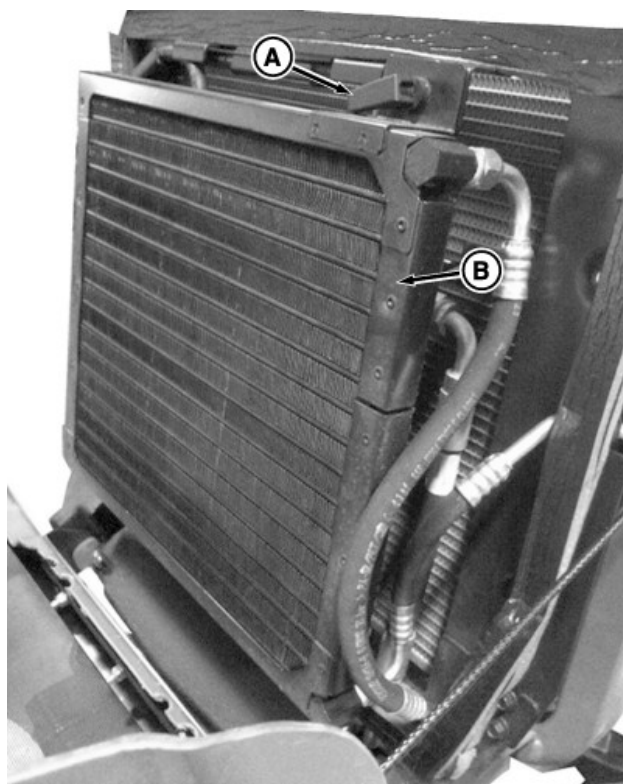
AC 非装備の機械



TCT010971—UN—27MAR14

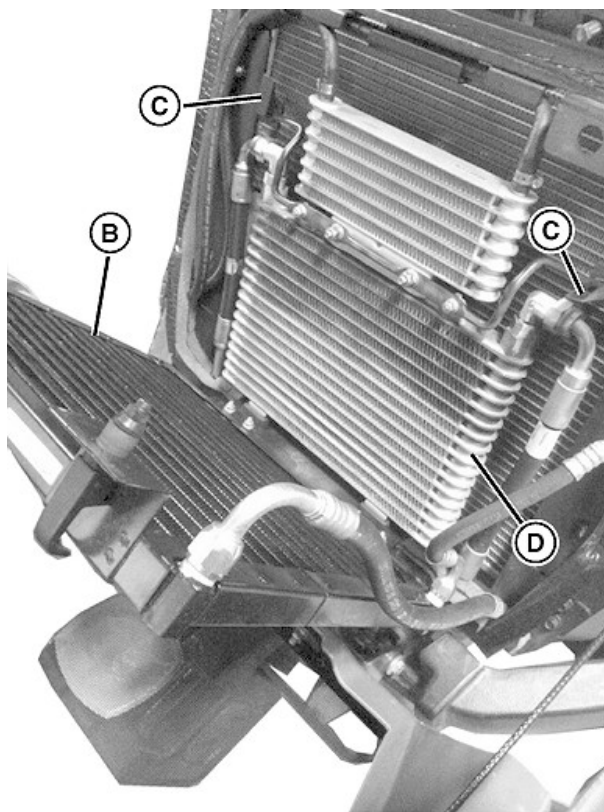
- 2つのハンドル (A) を前方に回転させてオイルクーラー (B) をラジエータフレームから外します。
- エンジンオイルクーラー (B) を少し開けてラジエータ冷却フィン (C) にアクセスします。

AC 装備の機械



TCT007885—UN—21MAR14

- ハンドル (A) を上にかつ機械の前方に回してエアコンコンデンサ (B) のラッチを外します。



TCT007886—UN—13AUG13

- 図のようにエアコンコンデンサ (B) を前方に旋回させます。
 - 2つのハンドル (C) を前方に回転させてオイルクーラー (D) を前方に旋回させます。
5. 圧縮空気または水を前側から後側にスプレーして、泥やごみをラジエータとオイルクーラーから除去します。
 6. オイルクーラーコイルとラジエータフィンが損傷していないか点検します。
- 注記： オイルクーラーを旋回させて元の位置に戻す前に、すべてのホースを取り回してブラケットに取り付けてください。
7. オイルクーラーをラジエータに向けて旋回させ、2つのハンドルで固定します。
 8. AC 装備の機械：エアコンコンデンサをフレームに戻して、リリースラッチハンドルで固定します。
 9. エンジンカバーを閉めます。

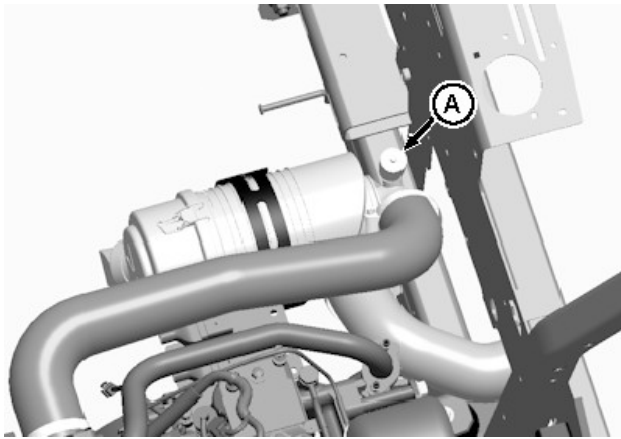
OUMX068,0000695-40-27MAR14

エアフィルタ目詰まりインジケータの点検

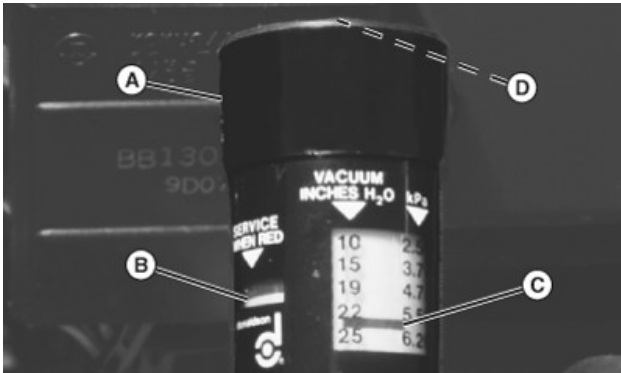
1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. シートプラットフォームを上げるか、バッテリーカバーを取り外します。

エンジンの整備

注記：インジケータは、プラスチック製のインジケータハウジングが破損すると正しく機能しなくなります。



TCT011364—UN—03NOV15



TCAL43352—UN—14MAR13

3. フィルタ目詰まりインジケータ (A) を点検します。
 - インジケータウィンドウ (B) が黄色の場合は、エアクリーナの整備は不要です。
 - インジケータの窓が赤の場合は、エアクリーナエレメントを交換する必要があります。
 - インジケータの真空度目盛 (C) で、エアクリーナエレメントの詰まり具合を確認することができます。
4. ハウジング上部のゴムのボタン (D) を押し、インジケータをリセットします。
5. シートプラットフォームを下げるか、バッテリーカバーを取り付けます。

OUO2005,0000292-40-03NOV15

エアクリーナエレメントの整備

重要： 極端に暑い、ほこりが多い、またはその他の過酷な条件で機械を運転しているときは、フィルタ目詰まりインジケータを毎日点検してください。

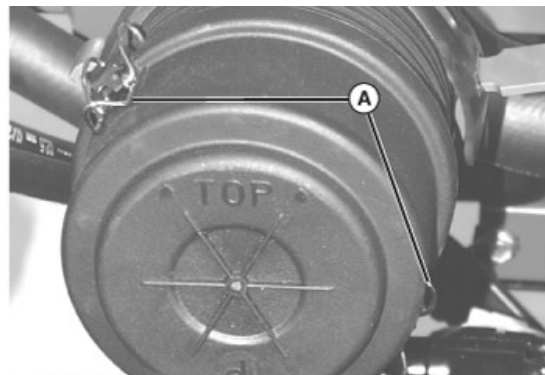
- エアクリーナエレメントを取り付けていない場

合は、絶対にエンジンを運転しないでください。

- ペーパーエレメントは洗浄しないでください。
- ペーパーエレメントを物に当てて清掃しないでください。
- エレメントの清掃に圧縮空気を使用しないでください。

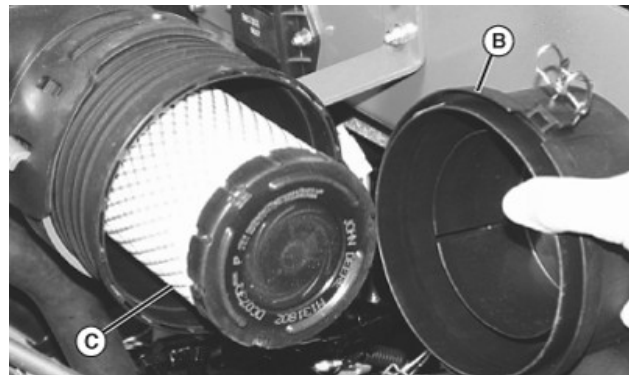
1 次エアクリーナエレメント

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. シートプラットフォームを上げます。



TCAL43353—UN—14MAR13

4. スプリングラッチ (A) を外して、エアクリーナハウジングからラッチを外します。



TCAL43354—UN—14MAR13

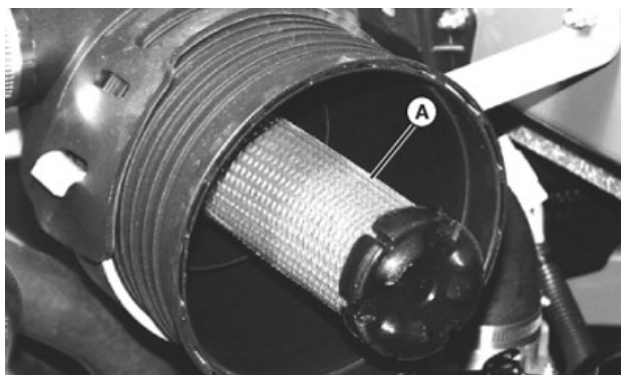
5. エアクリーナカバー (B) を取り外します。
6. 1 次エレメント (C) を取り外して廃棄します。
7. 新品の 1 次エレメントを取り付けます。
8. 「TOP」マークを上に向けてエアクリーナカバーを取り付けます。
9. フィルタ目詰まりインジケータをリセットします。
10. エンジンを始動し、ハイアイドルで 1 分間運転します。
11. エンジンを停止します。以下の手順に従って、フィルタ目詰まりインジケータを点検します。

エンジンの整備

- インジケーターの窓が黄色のままの場合、エアクリーナは作動の準備が整っています。
- インジケーターの窓が赤になっている場合、2次エアフィルタエレメントを交換します。

2 次エアフィルタエレメント

1. エアクリーナカバーを取り外します。
2. 1 次エアクリーナエレメントを取り外します。



TCAL43355—UN—14MAR13

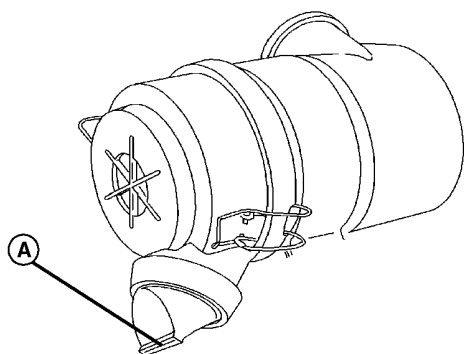
3. 2 次エレメント (A) を取り外して廃棄します。
4. 新品の 2 次エレメントを取り付けます。
5. 1 次エアクリーナエレメントを取り付けます。
6. 「TOP」マークを上に向けてエアクリーナカバーを取り付けます。
7. シートプラットフォームを下げます。

OUC02005,0000293-40-04NOV13

ダストアンローディングバルブの清掃

重要： エアクリーナエレメントとゴム製のダストアンローディングバルブを取り付けていない状態で、エンジンを運転しないでください。

1. 車両を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンルームにアクセスします。



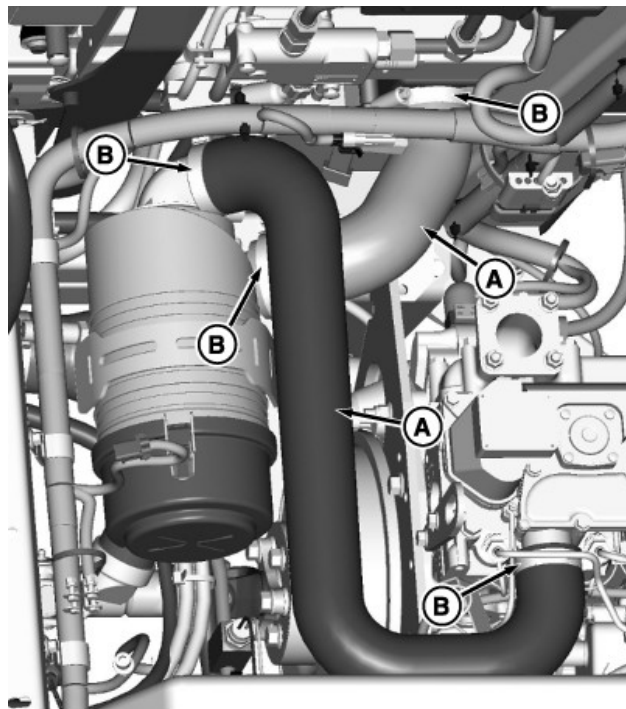
TCAL43356—UN—14MAR13

4. ダストアンローディングバルブ (A) を絞って清掃します。損傷がある場合は、取り外して交換します。

OUC1023,00004A9-40-13MAR13

エアインテークホースとクランプの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。



TCT010972—UN—27MAR14

図：モデル 1550 (他のモデルも同様)

4. エアインテークホース (A) に亀裂や破損がないか点検します。必要に応じて交換します。
5. ホースクランプ (B) を締め付けます。

OUMX068,0000696-40-27MAR14

ラジエータホースとクランプの点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。
4. ラジエータホースとオーバーフローホースに亀裂や損傷がないか点検します。必要に応じて交換します。
5. 必要に応じて、ラジエータホースクランプとオーバーフローホースクランプを締め付けます。

エンジンの整備

6. エンジンカバーを閉めます。

OUO1023,00004AB-40-13MAR13

推奨エンジンクーラント

重要： 不適切なクーラント混合液を使用すると、オーバーヒートしたり、ラジエータやエンジンが損傷することがあります。

- 水のみでエンジンを運転しないでください。
- クーラントと水の混合液は50%を超えないでください。
- アルミニウム製のエンジンブロックやラジエータには、認定済みのエチレングリコール系クーラントが必要です。

腐食やシリンダライナーのピッチングに対する通年の保護、および -37°C (-34°F) までの冬季の凍結予防のために、エンジンの冷却システムは充填されています。低温での保護が必要な場合の推奨事項については、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

以下のクーラントをお勧めします。

- John Deere COOL-GARD™ II Premix
- John Deere COOL-GARD™ Premix
- John Deere COOL-GARD™ PG Premix

John Deere COOL-GARD™ II Premix と John Deere COOL-GARD™ Premix は、濃度 50% のプロプレングリコールで使用可能です。

John Deere COOL-GARD™ PG Premix は濃度 55% のプロプレングリコールで使用可能です。

その他の推奨クーラント

- John Deere COOL-GARD™ II Concentrate (水との 40 ~ 60% の混合)
- John Deere COOL-GARD™ Concentrate (水との 40 ~ 60% の混合)

推奨クーラントを使用できない場合は、次の基準に適合するエチレングリコール系またはプロプレングリコール系のクーラントを使用してください。

- ASTM D3306 希釈済み (50%) クーラント。
- ASTM D3306 クーラント濃縮液溶液 (水との 40 ~ 60% 濃度の混合液)。

使用前に容器ラベルを確認し、機械に適した仕様であることを確認してください。コンディショナ入りクーラントを使用するか、使用の前にコンディショナを追加してください。

水質

- 冷却システムの性能にとって水質は重要です。エチ

レングリコール系エンジンクーラント濃縮液では、蒸留水、純水、または脱塩水を推奨します。

OUO1023,00004AC-40-14MAR13

冷却システムの安全な整備



TCAL42226—UN—08MAR13

! 注意：ラジエータは高温になり、やけどを負う可能性があります。ラジエータキャップを取り外すと、蓄積されている圧力によってクーラントが噴出する可能性があります。次の注意事項に従ってください。

- エンジンを停止し、放置して冷まします。
- エンジンやラジエータに素手で触ることができない限り、キャップを取り外さないでください。
- 最初の停止位置までキャップを徐々に緩め、すべての圧力を解放します。次に、キャップを取り外します。

OUO1023,00004AD-40-14MAR13

クーラントレベルの点検

重要： 正しくないクーラント混合液を使用すると、ラジエータが損傷することがあります。

- 水のみでエンジンを運転しないでください。
- クーラントと水の混合液は50%を超えないでください。
- アルミニウム製のエンジンブロックやラジエータには、承認されたエチレングリコール系不凍液が必要です。

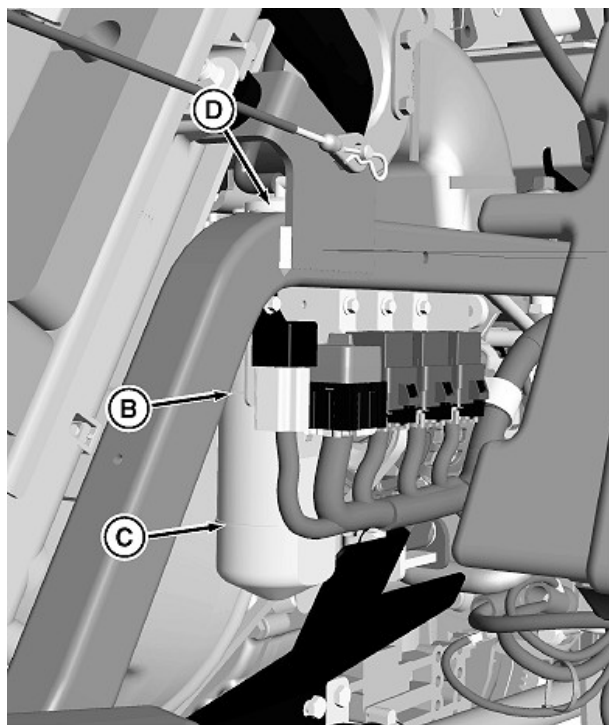
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。エンジンカバーを開きます。

エンジンの整備



TCAL43359—UN—14MAR13

- ラジエータキャップ (A) をゆっくりと開いて取り外し、クーラントレベルがフィラーネックに達していることを確認します。
- クーラントレベルが低い場合は、ラジエータの右側のエア抜き穴を開き、クーラントを追加してエア抜き穴を閉めます。
- ラジエータキャップを取り付けます。
- クーラントリカバリタンクを点検します。オーバーフローホースがリカバリタンクの底に触れていないことを確認します。



TCT009084—UN—04NOV13

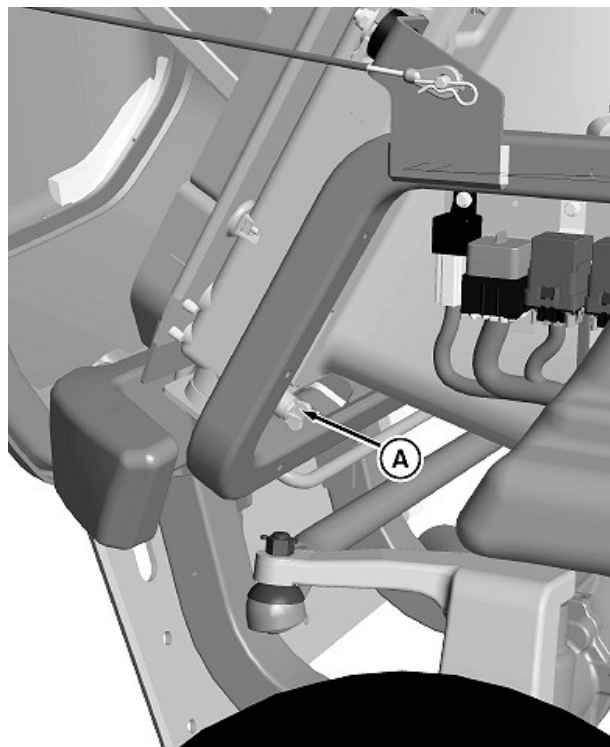
- クーラントリカバリタンクは、エンジン使用温度でおよそ FULL (B) と LOW (C) の間にある必要があります。
- レベルが低い場合は、キャップ (D) を取り外してクーラントを追加します。
- ホースとクランプの状態を点検します。接続の緩みや漏れがないか点検します。

OUO2005,0000295-40-04NOV13

冷却システムの整備

冷却システムの抜き取り

- 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
- エンジンを冷まします。
- エンジンカバーを開きます。
- ラジエータキャップを最初に止まる位置まで徐々に開き、すべての圧力を解放します。



TCT009085—UN—04NOV13

- リアバンパーの下でラジエータの底部にあるラジエータドレン (A) を開きます。クーラントを容器に抜き取ります。
- ラジエータからすべてのクーラントを抜き取ったら、ラジエータドレンを閉めます。
- 冷却システムをフラッシングします。

冷却システムのフラッシング

- 冷却システムから抜き取り、John Deere Cooling System Cleaner、John Deere Cooling System Quick Flush、または同等品を充填します。冷却システムに上水を補充します。容器に表示されている指示に従います。
- ラジエータキャップを取り付けて締め付けます。
- エンジンを始動し、運転温度に達するまでエンジンを運転します。
- エンジンを停止します。
- ラジエータのドレンバルブを開きます。錆やごみが付着する前にすぐに冷却システムから抜き取ります。

エンジンの整備

- ラジエータのドレンバルブを閉めます。
- 冷却システムに清浄な水を満し、システムがきれいになるまでフラッシングを繰り返します。
- システムから抜き取り、クーラントを充填します。

冷却システムへの充填

重要： 不適切なクーラント混合液を使用すると、ラジエータが損傷することがあります。

- 水のみでエンジンを運転しないでください。
- クーラントと水の混合液は50%を超えないでください。
- アルミニウム製のエンジンブロックやラジエータには、承認されたエチレングリコール系不凍液が必要です。

- エンジンと冷却システムが冷えた状態で、ラジエータキャップを最初の停止位置まで開いて、すべての圧力を解放します。キャップをわずかに押し下げ、反時計回りに回して取り外します。
- 冷却システムに充填します。
 - 冷却システムの容量は以下のとおりです。

冷却システム：仕様

1550：容量..... 7.1 L (7.5 qt)
1570、1575、1580、1585：容量..... 7.6 L (8.0 qt)

- 特定の地理的区域では、さらに低い温度に対する保護が必要になる場合があります。最新の情報と推奨事項については、お使いの不凍液の容器のラベルを参照するか、John Deere 取扱店にご相談ください。
 - 漏れを止めるため、John Deere Cooling System Sealer または同等品をラジエータに加えることができます。冷却システムに他の添加剤は使用しないでください。
- エンジンを始動してラジエータのクーラントレベルを確認します。必要に応じてクーラントを追加し、フィラーネックまでクーラントレベルを上げます。
 - ラジエータキャップを取り付けて締め付けます。エンジンを使用温度まで運転します。
 - エンジンを停止し、放置して冷まします。
 - 必要に応じて、クーラントをクーラントリカバリタンクに追加します。
 - ホースとクランプの状態を点検します。漏れや接続の緩みがないか点検します。

注記： クーラントリカバリタンクはラジエータからのオーバーフローを回収するために使用され、運転中は約半分のレベルに維持されます。冷却システムが冷めると、クーラントは必要に応じてラジエータに戻ります。

燃料フィルタの整備 (1550)

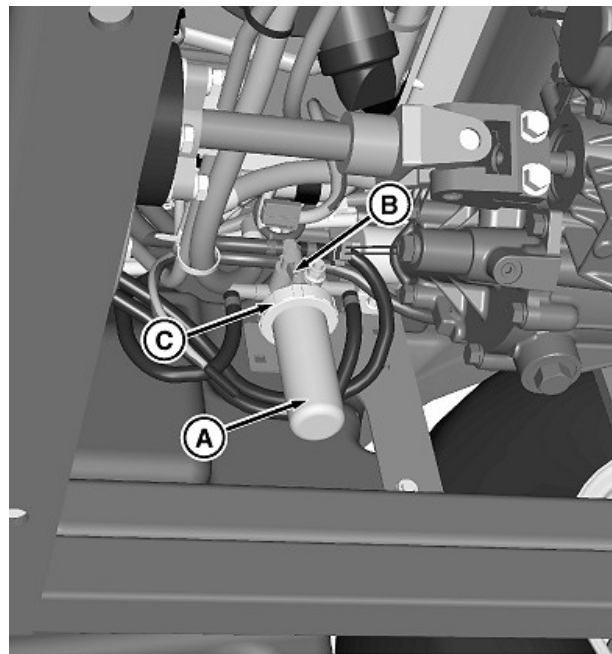
⚠ 注意： けがを防止してください。燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。

- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花に燃料を近づけないでください。
- 整備前にエンジンを停止してください。
- 整備を行う前にエンジンを冷ましてください。
- 十分に換気された場所で作業してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。

注記： 燃料レベルが低いときにフィルタを交換してください。

点検

- 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
- エンジンを冷まします。
- エンジンカバーを開きます。



TCT008013—UN—29JUL13

- エンジンの左側にある燃料フィルタセグメントボウル (A) の位置を確認します。
- セグメントボウルに水分がないか確認します。赤のフロートリングが底から持ち上がっていると、水分があることを示しています。

清掃と交換

- 燃料シャットオフバルブ (B) を水平位置まで回して閉めます。
- カラー (C) を緩めてボウルとフィルタを取り外します。フィルタを廃棄します。
- ボウルを清掃して新品のフィルタを取り付けます。

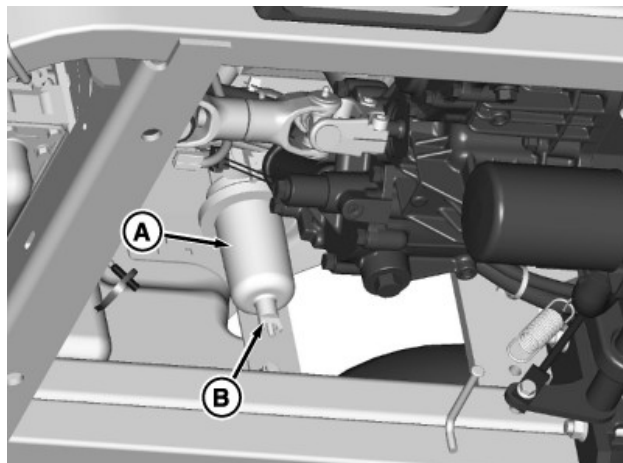
エンジンの整備

4. ボウルとカラーを取り付けます。カラーをしっかり
と手締めします。
5. レバーを垂直位置まで回して (図示)、燃料シャット
オフバルブを開きます。
6. 燃料ポンプのプライマレバーを使用して燃料システ
ムをプライミングします。
7. エンジンを始動し、漏れがないか確認します。

OUMX068,0000697-40-27MAR14

ウォーターセパレータの抜き取り (1570、 1575、1580、1585)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの
「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。



TCT010973—UN—27MAR14

3. エンジンの左側にある燃料フィルタセグメントボウ
ル (A) の位置を確認します。
4. セグメントボウルに水分がないか確認します。赤の
フロートリングが底から持ち上がっていると、水分
があることを示しています。
5. 水分がある場合は、セグメントボウルの底部にある
ドレン (B) を緩めて水分を抜きます。
6. ドレン (B) を閉めます。

OUMX068,0000699-40-27MAR14

燃料フィルタの交換 (1570、1575、1580、 1585)

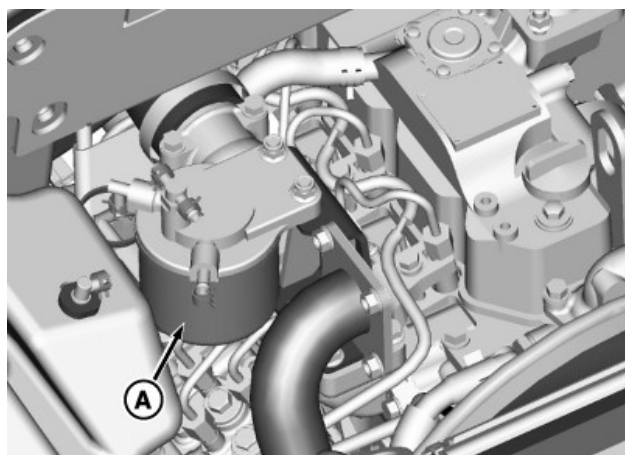
⚠ 注意： けがを防止してください。燃料蒸気は爆発
性および可燃性があります。

- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花に燃料を近づけないでください。
- 整備前にエンジンを停止してください。
- 整備を行う前にエンジンを冷ましてください。
- 十分に換気された場所で作業してください。

- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。

注記： 燃料レベルが低いときにフィルタを交換してく
ださい。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの
「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。
4. ウォーターセパレータにある燃料シャットオフを
OFF 位置まで回します。



TCT010974—UN—27MAR14

5. 燃料フィルタ (A) を反時計回りに回して取り外しま
す。
6. 新品のフィルタのガスケットに清浄な燃料を薄く塗
ります。
7. 新品の燃料フィルタを取り付けます。
8. 燃料シャットオフをオンの位置まで回します。
9. エンジンを始動し、漏れがないか点検します。

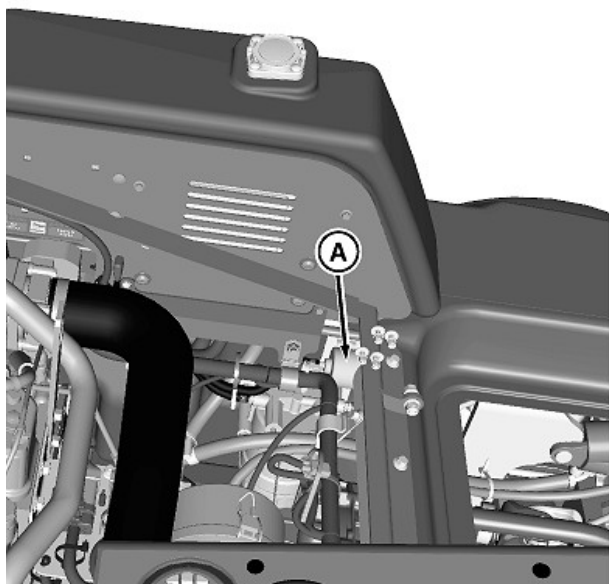
OUMX068,0000698-40-27MAR14

燃料システムのプライミング

注記： 燃料切れになった後、または燃料フィルタを交
換した後は、燃料システムのプライミングが必要
になることがあります。

1. 機械を斜面ではなく水平な面に停止していることを
確認します。
2. PTO スイッチをオフにします。
3. 装置を地面まで下げます。
4. パーキングブレーキをロックします。
5. キーを抜きます。

エンジンの整備



TCT009484—UN—11DEC13

電動ブーストポンプはシートの下、機械の左側にあります。

6. キースイッチを RUN 位置に 2 分間回してから、エンジンを始動します。燃料ポンプ (A) により燃料が加圧され、システムから空気が取り除かれます。
7. エンジンを始動します。エンジンが始動しない場合は、前の手順を繰り返します。

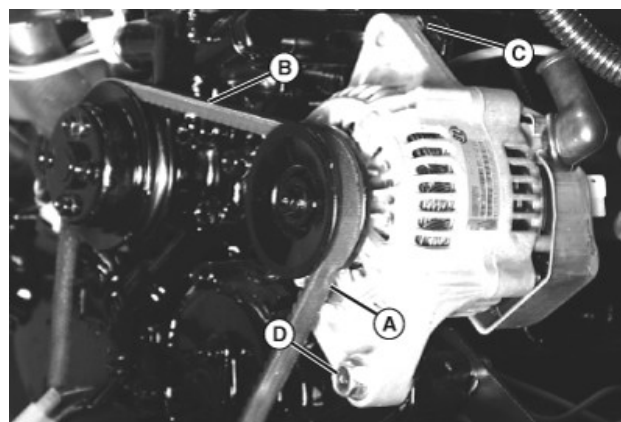
OUO2005,00002D3-40-20MAR14

オルタネータベルトの点検と調整

⚠ 注意： 指、ゆったりした衣類、長い髪が回転部品に巻き込まれることがあります。オペレーターステーションから離れて機械の調整や整備を行う前に、エンジンおよび可動部が停止するのを待ってください。

ベルト張力の点検

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。



TCAL43368—UN—14MAR13

4. オルタネータベルト (A) を点検します。
 - エンジンに取り付けられている状態で、ベルトに過度の摩耗、損傷、または伸びがないか点検します。
 - オルタネータとウォーターポンププーリーのおおよそ中間の位置 (B) でベルトに指で圧力をかけます。ベルトは、指定されている量だけたわむ必要があります。きつすぎるまたは緩すぎる場合は調整します。

仕様

オルタネータベルト：たわみ..... 10 ~ 15 mm (3/8 ~ 1/2 in)

ベルト張力の調整

1. 調整ボルト (C) を緩めます。
2. オルタネータ取り付けボルト (D) を緩めます。
3. オルタネータハウジングに外向きの圧力を加えます。
4. 調整ボルト (C) と取り付けボルト (D) を締め付けます。
5. ベルト張力を点検します。
6. エンジンカバーを閉めます。

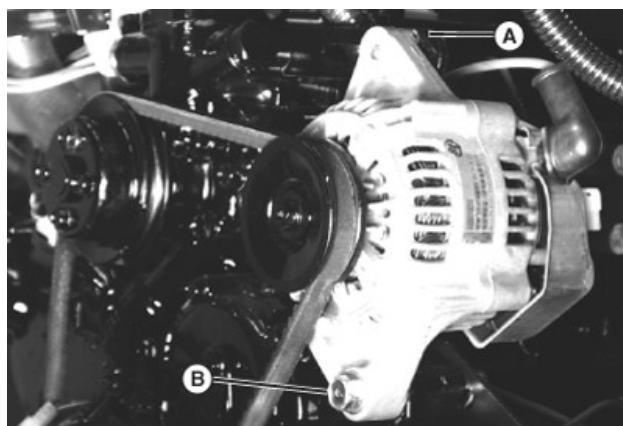
OUO1023,00004B5-40-14MAR13

オルタネータベルトの交換

⚠ 注意： 高温の面に触れると、やけどを負う可能性があります。エンジンを運転している場合、エンジン、部品、フルードは高温になります。エンジンや部品の近くで整備や作業を行う前に、エンジンを冷ましてください。

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. エンジンを冷まします。
3. エンジンカバーを開きます。

エンジンの整備



TCAL43369—UN—14MAR13

4. 調整ボルト (A) を緩めます。
5. オルタネータ取り付けボルト (B) を緩めます。
6. オルタネータをエンジン側に押してオルタネータベルトの張力を緩めます。
7. 摩耗しているオルタネータベルトを機械から取り外します。

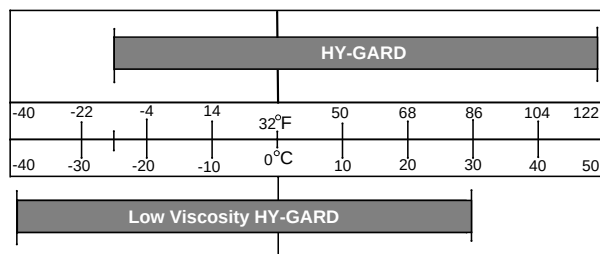
注記： ベルトがプーリーから外れる程度に十分緩めるには、オルタネータ調整ボルトを取り外す必要がある場合があります。

8. ファンブレードをかわして新品のベルトを取り回し、エンジンとオルタネータプーリーに取り付けます。
9. オルタネータベルトの張力を調整します。
10. エンジンカバーを閉めます。

OUO2005,000007A-40-29JUL13

トランスミッションの整備

トランスアクスルオイル



TCAL43372—UN—14MAR13

注記：トランスアクスルには、工場で John Deere HY-GARD® (J20C) トランスミッションオイルが充填されています。オイルを混合しないでください。

HY-GARD® (J20C) トランスミッションオイルのみを使用してください。

タイプ「F」オートマチックトランスミッションフルードは使用しないでください。

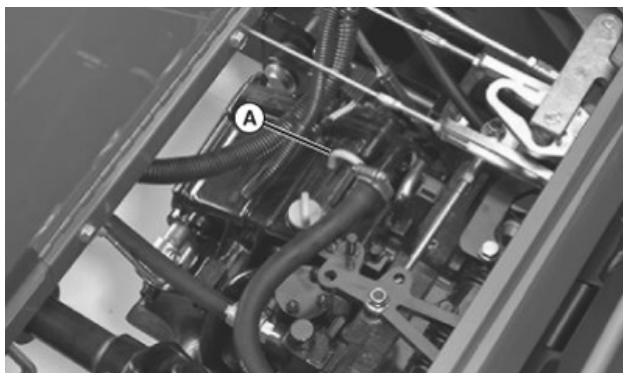
John Deere HY-GARD® (J20C) トランスミッションオイルは、機械的摩耗、腐食、発泡から最大限に保護するように特に調合されています。

重要： 使用温度が -18°C (0°F) よりも低い場合は、Low Viscosity HY-GARD® (J20D) を使用する必要があります。そうでない場合、トランスミッションが損傷します。

OUO1023,00004B8-40-13MAR13

トランスアクスルオイルレベルの点検

1. トランスアクスルのオイルレベルを点検する前に、エンジンを 30 秒間運転します。
2. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
3. オペレータプラットフォームのサービスハッチを開きます。



TCAL43373—UN—14MAR13

4. トランスアクスルの上部にあるディップスティック (A) の位置を確認します。

5. ディップスティックを取り外して清潔なウエスで拭き取ります。
6. ディップスティックをトランスアクスルハウジングに完全に差し込み、もう一度抜き取ります。
7. オイルレベルはディップスティックの目印 (XXX) の範囲内である必要があります。オイルレベルをディップスティックで確認できない場合は、オイルをトランスアクスルに追加します。レベルが高すぎる場合は、オイルを抜き取ります。
8. ディップスティックを取り付けてサービスハッチを閉めます。オイルを追加した場合は、機械を運転した後にオイルレベルを点検します。

OUO1023,00004B9-40-13MAR13

トランスアクスルオイルとフィルタの交換

⚠ 注意： 圧力のかかった液体が噴き出ると、皮膚に侵入して壊疽などの重傷を引き起こす可能性があります。

- 油圧ラインまたは他の加圧ラインを外す前に、圧力を抜いてください。
- ボール紙を使って漏れの有無を点検します。手や身体を高圧の液体にさらさないでください。
- また、圧力をかける前にすべての接続をしっかりと締めてください。

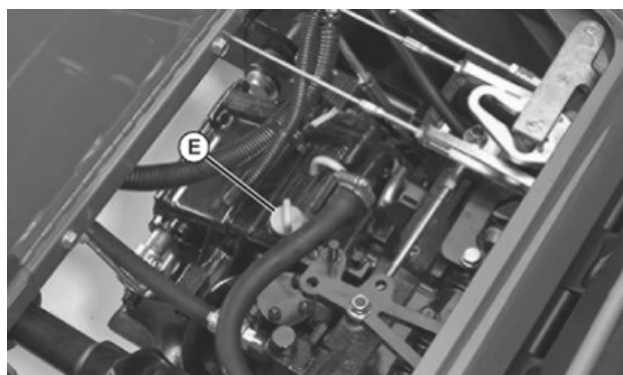
1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. すべての装置を地面まで下げます。
3. トランスアクスルの下にドレンパンを置きます。



TCAL43374—UN—14MAR13

トランスミッションの整備

- ごみを除去して、図に示す位置からドレンプラグ (A、B、D) を取り外します。放置してトランスアクスルからオイルを抜き取ります。
- トランスアクスルオイルフィルタ (C) を取り外し、放置してトランスアクスルからオイルを抜き取ります。オイルフィルタ取り付けフランジを清潔なウエスで清掃します。
- トランスアクスルオイルを新品のオイルフィルタのガスケットに数滴垂らして潤滑し、フィルタを取り付けフランジに取り付けます。フィルタがフランジに接触したら、フィルタをさらに 1/2 ~ 3/4 回転させて締め付けます。
- ドレンプラグを取り付けます。



TCAL43375—UN—14MAR13

- サービスハッチを上げて、トランスアクスルオイルフィルターキャップ (E) を取り外します。
- レベルがディップスティックの XXX マークの上端に達するまで、推奨オイルをトランスアクスルに充填します。トランスアクスルの乾燥容量を下に示しますが、オイル交換のみを実施するときはこれよりも少ない可能性があります。注入しすぎないでください。

仕様

トランスアクスル (2WD) : 容量..... 8.5 L (9 qt)
トランスアクスル (4WD -
1550、1570) : 容量..... 8.7 L (9.2 qt)
トランスアクスル (4WD -
1575、1580、1585) : 容量..... 10.0 L (10.5 qt)

- 機械を運転し、前進ペダルと後退ペダルを切り替えてトランスアクスルから空気を除去します。機械を停止してオイルレベルをもう一度点検します。

OUO2005,000007B-40-29JUL13

前進 / 後退ペダルの調整

ハイドロスタティックトランスミッションがフルレンジの速度内で作動するように前進ペダルと後退ペダルを調整します。

前進ペダルと後退ペダルの踏み代の点検

- 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
- 前進ペダルをいっぱいまで踏み込みます。
- ペダルの底部とフロアプレートの間隔を測定します。フロアプレートからペダルの底部までは指定されている間隔である必要があります。そうでない場合は、ペダルの踏み代を調整します。

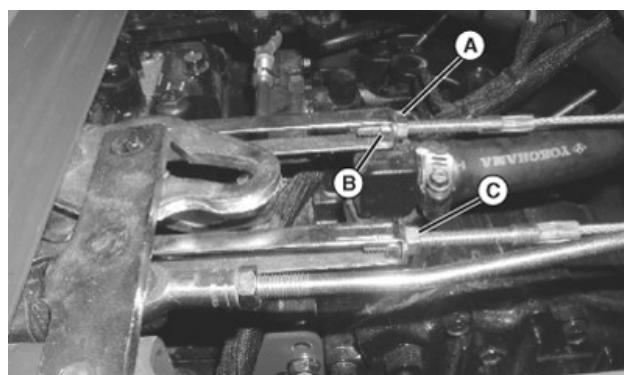
仕様

前進 / 後退ペダルからフロアプレートまで : 間隔..... 12.5 mm (0.5 in)

- 手順 2 と 3 を後退ペダルで繰り返します。

前進ペダルと後退ペダルの踏み代の調整

- サービスハッチを開きます。



TCAL43376—UN—14MAR13

- 前進ペダルリンケージからナット (A、B) を緩めます。
- 前進ペダルをいっぱいまで踏み込んだ状態でフロアプレートと前進ペダルの底部の間隔が仕様内になるまで、ケーブル端に沿ってナットを回します。

仕様

前進 / 後退ペダルからフロアプレートまで : 間隔..... 12.5 mm (0.5 in)

- ナット (A、B) を締め付けます。
- 後退ペダルのリンケージ (C) で手順を繰り返します。

OUO1023,00004BB-40-13MAR13

トランスアクスルのニュートラルの調整

⚠ 注意 : この調整を実行できるのは、資格を有し、かつ適切な訓練を受けた技術者のみです。この調整が不適切だと、機械の安全性が損なわれる危険があります。

ペダルがニュートラル位置のときに機械が前方または後方ヘクリープする (ゆっくりと動く) ことがないようにトランスミッションのニュートラルを調整します。

トランスミッションの整備

1. 機械を堅固な、平坦な場所に停めます。各コントロールを以下の位置にします。
 - PTO OFF。
 - 4WD OFF (装備されている場合)。
 - デフロック解除。
 - 装置が取り外されている、またはサービスラッチがロックされている。
 - パーキングブレーキがロックされている。
 - エンジン停止。
 - オペレータプラットフォームのサービスハッチがロック解除されている。

2. リアタイヤに輪止めを取り付けて機械の前部を上げ、フロントタイヤを地面から離します。左右のフロント車軸の下にジャッキスタンドを置き、機械をジャッキスタンドの上を下ろします。

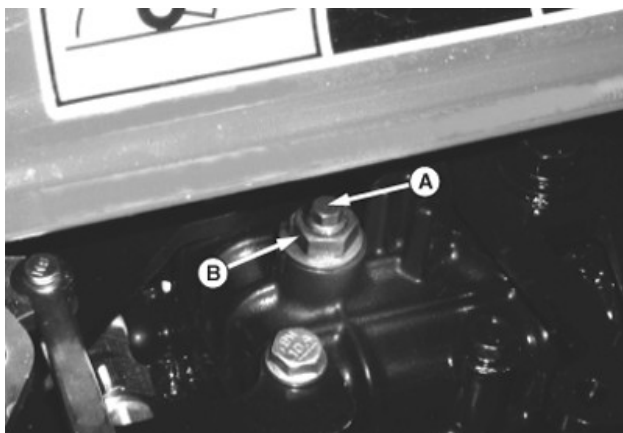
3. 4WD オプションを装備している場合は、機械の後部をジャッキアップしてタイヤを地面から離します。左右のリア車軸の下にジャッキスタンドを置き、機械をジャッキスタンドの上を下ろします。

⚠ 注意： 調整中は、装置の昇降、4WD、デフロック、または PTO の接続を行わないでください。運転中は機械に人を近づけないでください。

4WD オプションを装備している場合は、必ず 4 輪を地面から離してください。4WD は常時連結されるので、いずれかのタイヤにトラクションがかかると、機械がジャッキスタンドから押し出されます。

調整中はタイヤから離れてください。

4. エンジンを始動します。パーキングブレーキのロックを解除します。
5. 前進方向または後退方向へのタイヤの回転を確認します。
6. 前進 / 後退ハイドロスタティックペダルを切り替えて、中央のニュートラル位置に戻るまで放置します。ニュートラルでのタイヤの回転をもう一度点検します。回転する場合は、ニュートラル調整が必要です。



TCAL43377—UN—14MAR13

7. オペレータプラットフォームのサービスハッチを開きます。トランスアクスルの上部にあるニュートラルアジャスタスクリュー (A) の位置を確認します。
8. ロックナット (B) を緩めます。
9. タイヤの回転が止まるまでスクリューを回します。
10. ロックナットを締め付けます。ハイドロスタティックドライブペダルを切り替えてニュートラルに戻るまで放置します。必要に応じて、スクリューをもう一度調整します。

OUO1023,00004BC-40-13MAR13

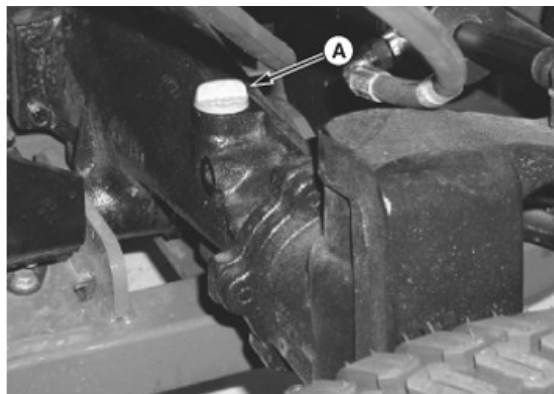
4WD オイル

- John Deere GL-5 Gear Lubricant を推奨します。
- 以下の仕様に適合する場合は、他のオイルも使用できます。

- API クラス GL-5。

OUO1023,00004BD-40-13MAR13

4WD オイルレベルの点検



TCAL43378—UN—14MAR13

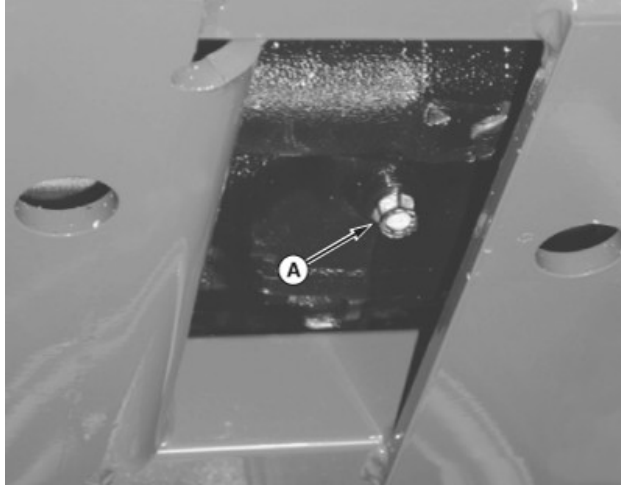
1. エンジンカバーを開いて、リア車軸の右後にあるリア車軸フィラーキャップとディップスティック (A) の位置を確認します。
2. フィラーキャップを緩めて、ディップスティックを拭いてきれいにします。
3. フィラーキャップを車軸ハウジングに戻しますが、ねじ込まないでください。
4. ディップスティックを取り外し、オイルレベルを点検します。オイルのレベルは、ディップスティックの XXX マークの範囲内にあり、トップマークの上になくする必要があります。
5. 必要に応じてオイルを追加します。注入しすぎないでください。

OUO1023,00004BE-40-13MAR13

トランスミッションの整備

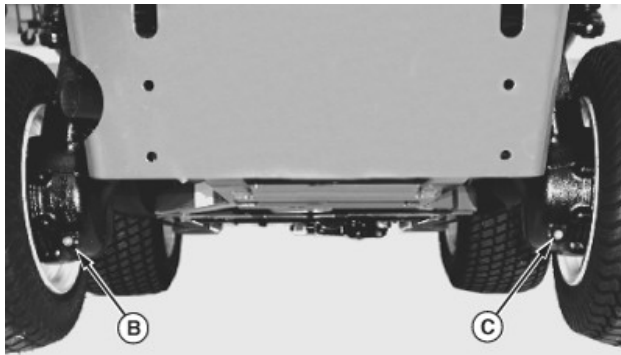
4WD オイルの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. 機械の後部を上げてタイヤを地面から離して、リア車軸をジャッキスタンドで支持します。
3. 後輪を車軸から取り外します。



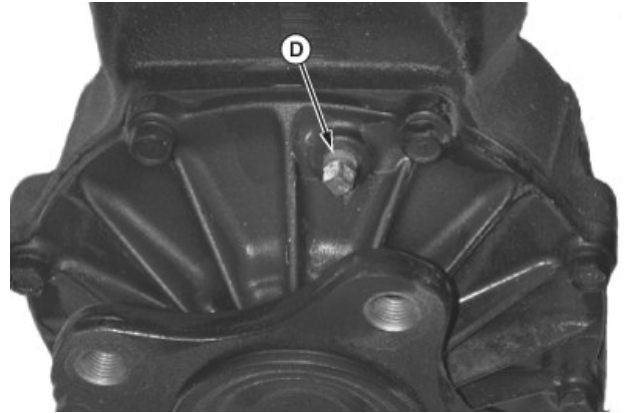
TCAL43379—UN—14MAR13

4. リア車軸ハウジングの中心の下にドレンパンを置き、センタードレンプラグ (A) を取り外します。
5. センタードレンプラグを取り付けます。



TCAL43380—UN—14MAR13

6. 左側のファイナルドライブハウジングのドレンプラグ (B) を取り外してオイルを抜き取ります。
7. ドレンプラグを取り付けます。
8. 右側のハウジング (C) でも手順 6~7 を繰り返します。



TCAL43381—UN—14MAR13

9. 左右のファイナルドライブギアケースの上部にあるエア抜きスクリュー (D) を取り外します。
10. オイルがエア抜きスクリューから流れ出るまで推奨オイルをリア車軸ハウジングに注入します。エア抜きスクリューを取り付けて、指定の量のオイルが充填されるまで注入を続けます。入れすぎないでください。ディップスティックでオイルレベルを点検します。機械を 4WD で運転してからオイルレベルを点検します。

仕様

リア車軸ハウジングオイル：容

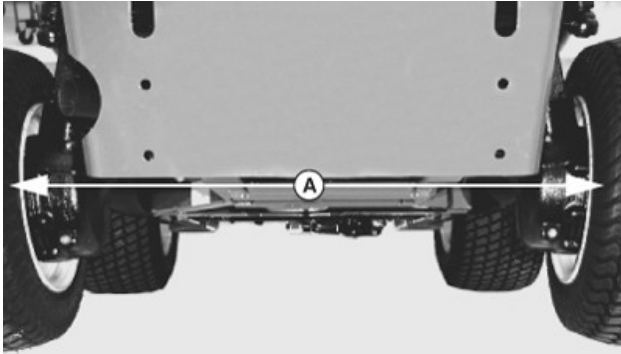
量..... 2.1 L (2-1/4 qt)

OUO1023,00004BF-40-13MAR13

ステアリングとブレーキの整備

トーインの調整

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



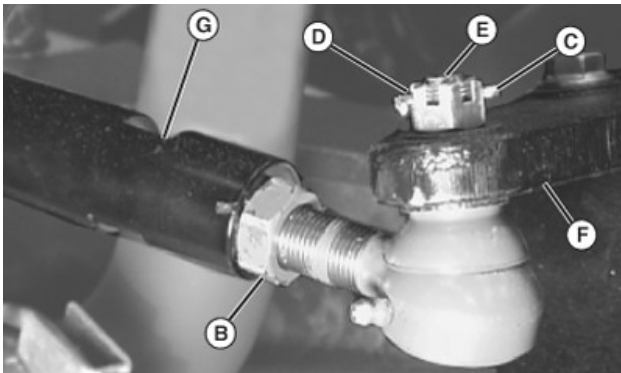
TCAL43382—UN—14MAR13

2. リヤタイヤ間の距離 (A) をタイヤの後部で測定します。
3. リヤタイヤ間の距離をタイヤの前部で測定します。
4. タイヤ間の距離 (トーイン) は、後側よりも前側が大きく、その値は以下の仕様未満である必要があります。

仕様

タイヤ間の距離 (トーイン) : 距離.....

3 ~ 9 mm (0.12 ~ 0.35 in)



TCAL43383—UN—14MAR13

5. トーインを調整する必要がある場合は、以下の手順に従います。
 - a. 左右のタイロッドエンドのロックナット (B) を緩めます。(左側のロックナットは左ねじです)。
 - b. タイロッドの溝付きナット (D) からコッタキー (C) を取り外してナットを取り外します。
 - c. タイロッド取り付けスタッド (E) をステアリングアーム (F) から取り外します。
 - d. タイロッドを回しながらタイロッド取り付けスタッドを直立に維持して、タイロッドのボディ (G) を回してトーインを調整します。
 - e. タイロッドスタッドをステアリングアームに取り付けて、溝付きナットをスタッドに緩く取り付けます。

- f. トーインをもう一度測定します。正しい場合は、溝付きナットを締め付けてコッタキーを取り付けます。機械の左右のロックナットを締め付けます。

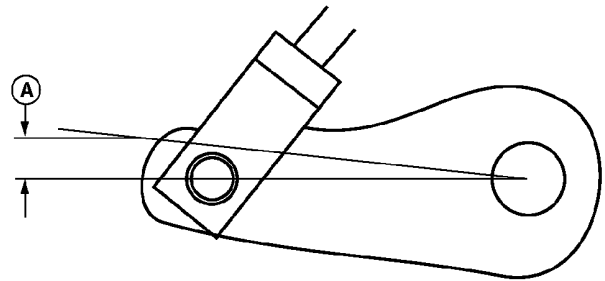
OUO1023,00004C0-40-13MAR13

ブレーキの調整

注意： この調整を実行できるのは、資格を有し、かつ適切な訓練を受けた技術者のみです。この調整が不適切だと、機械の安全性が損なわれる危険があります。

ブレーキペダルの遊びの点検

1. 機械を平坦な場所に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。
2. パーキングブレーキのロックを解除します。
3. ブレーキリンケージからブレーキリターンスプリングを取り外します。
4. 旋回ブレーキおよびマスターブレーキのペダルを最も高い位置にブロックします。



TCAL43384—UN—14MAR13

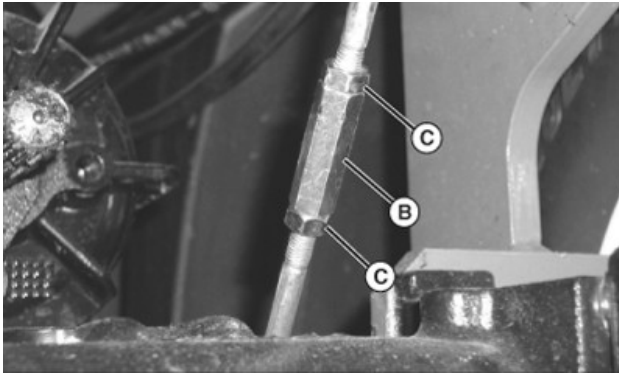
5. 左右のブレーキカムアームの遊び (A) を点検します。カムアームの端部から測定した遊びは仕様以内である必要があります。遊びが 5 mm よりも大きい場合は、ブレーキを調整してください。

仕様

ブレーキペダル : 遊び..... 3 ~ 5 mm

ステアリングとブレーキの整備

ブレーキの調整



TCAL43385—UN—14MAR13

1. オペレータプラットフォームの下にあるブレーキロッドの調整ターンバックル (B) の位置を確認します。
2. ロックナット (C) を緩めて、ブレーキカム遊びが仕様内になるまでターンバックルを調整します。

仕様

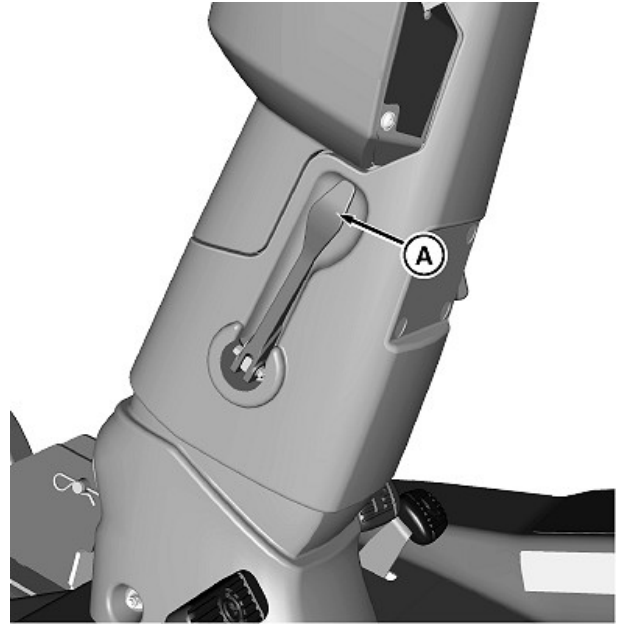
ブレーキペダル：遊び..... 3~5 mm

3. 機械の反対側のブレーキロッドでも手順を繰り返して、左右のペダルを均一に調整します。
4. すべてのターンバックルロックナットを締め付けます。
5. ブレーキをターンバックルの範囲内に調整できない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO1023,00004C1-40-13MAR13

ステアリングコラムのチルトロックの調整

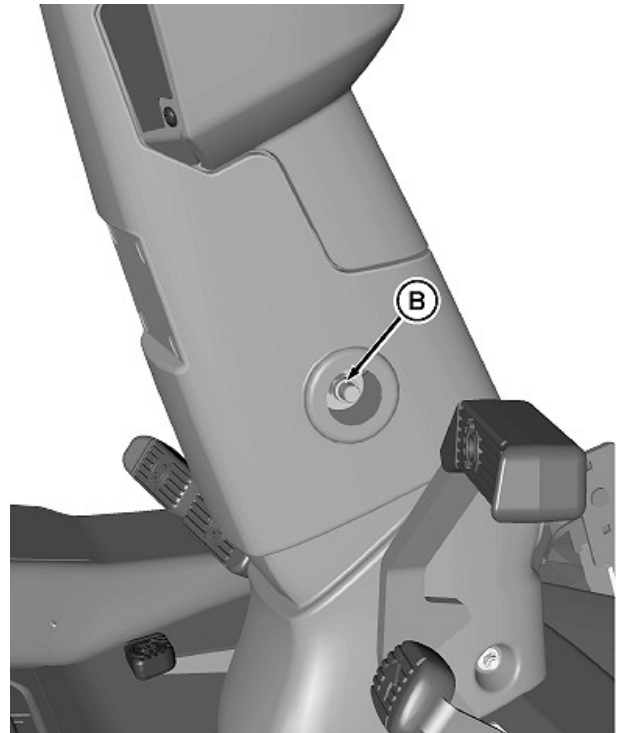
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください)。



TCT009086—UN—04NOV13

2. レバー (A) を外側に引いてステアリングコラムを解放します。
3. ステアリングコラムを前方または後方に動かして、ステアリングコラムの移動範囲の中心に配置します。

注記：少量の乾燥性の潤滑剤をチルトロックレバーに塗布すると、レバーを動かすために必要な力を軽減できます。



TCT009087—UN—04NOV13

4. オペレータの希望に合わせてステアリングコラムの

ステアリングとブレーキの整備

ナイロックナット (B) を締め付けます。ただし、仕様を超えないでください。

仕様

ステアリングコラムのナイロック

ナット : トルク 48 N·m (35 ft-lb)

OUO2005,0000296-40-04NOV13

電気の整備

バッテリーの安全な整備



TCAL42287—UN—08MAR13

注意： バッテリー電解液は硫酸を含んでいます。これは有毒であり、重度のやけどの原因になります。

- ゴーグルと手袋を着用してください。
- 皮膚を保護してください。
- 電解液を飲み込んだ場合は、直ちに治療を受けてください。
- 電解液が目に入った場合は、すぐに 15～30 分間水で洗い、治療を受けてください。
- 電解液が皮膚に触れた場合は、すぐに水で洗い、必要に応じて治療を受けてください。

バッテリーは可燃性ガスおよび爆発性ガスを発生します。バッテリーは爆発する可能性があるため、次の点に注意してください。

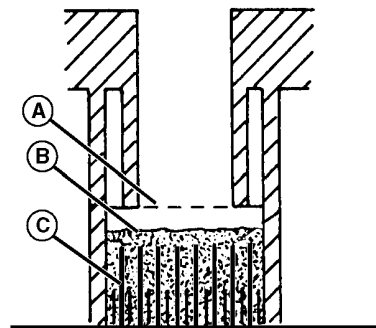
- バッテリーの近くで喫煙しないでください。
- ゴーグルと手袋を着用してください。
- バッテリー電極間に金属を直接接触させないでください。
- 接続を外すときは、最初にマイナスケーブルを取り外してください。
- 接続するときは、マイナスケーブルを最後に取り付けてください。

OOU01023,00004C4-40-15MAR13

バッテリー電解液レベルの点検

注記： バッテリー電解液の補充には、蒸留水のみを使用してください。

1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）
2. バッテリーセルキャップを取り外します。キャップの通気孔が詰まっていないことを確認します。



TCAL41096—UN—18JAN13

3. 電解液レベルを点検します。電解液 (B) は、フィラーネック (A) 底部とプレート (C) 上部のほぼ中間位置まで入っている必要があります。

重要： バッテリーに入れすぎないでください。バッテリーの充電時に電解液があふれて、損傷が発生します。

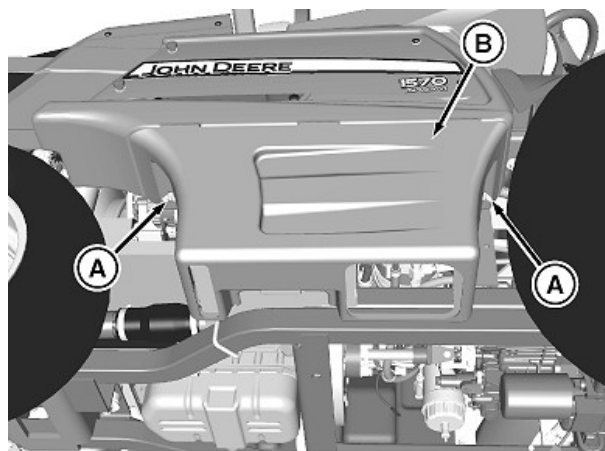
4. 必要な場合は、蒸留水のみを補充してください。
5. バッテリーセルキャップを取り付けます。

OOU01023,00004C5-40-14MAR13

バッテリーの取り外しと取り付け

取り外し

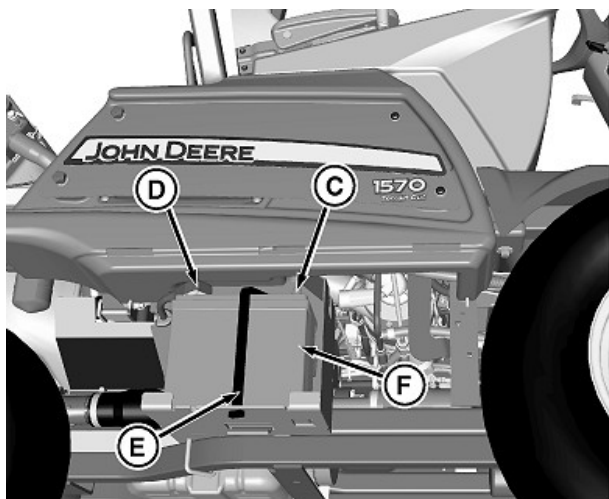
1. 機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）



TCT008205—UN—02AUG13

2. 蝶ナット 2 個 (A) とバッテリーカバーパネル (B) を取り外します。

電気の整備



TCT008508—UN—20SEP13

3. バッテリーのマイナス (-) ケーブル (C) の接続を外します。
4. 赤のプラスチック製カバー (D) をプラス (+) バッテリークランプから取り外して、プラス (+) バッテリークランプをバッテリー端子から外します。
5. ゴム製ストラップ (E) をバッテリー固定ブラケットの底部から取り外します。
6. バッテリー (F) を機械から取り外します。バッテリーを持ち上げるためにバッテリー端子を使用しないでください。

取り付け

1. プラス端子 (+) を機械の後部に向けてバッテリーを取り付けます。
2. ゴム製ストラップをバッテリー固定ブラケットの底部に取り付けます。
3. プラスケーブルクランプ (赤のケーブル) をプラス (+) バッテリー端子に取り付けます。赤のプラスチック製カバーをプラスケーブルクランプに引き戻します。
4. マイナスケーブルクランプ (黒のケーブル) をマイナス (-) バッテリー端子に取り付けます。
5. スプレー潤滑剤をバッテリー端子に吹き付けて、腐食を防止します。
6. 蝶ナット 2 個を使用してバッテリーカバーパネルを取り付けます。

OUO2005.0000201-40-20SEP13

バッテリーと端子の清掃

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. バッテリーの接続を外して取り外します。
3. 水 1 gal に重曹大さじ 4 を混ぜた溶液でバッテリーを洗浄します。重曹溶剤がセル内に入らないように注意してください。

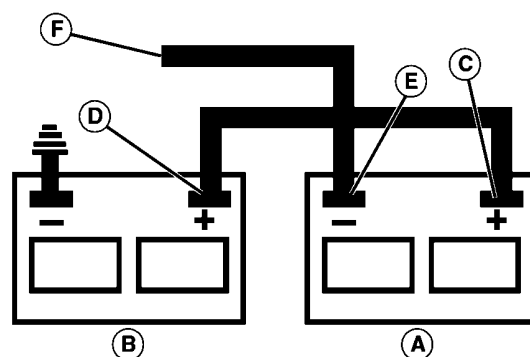
4. バッテリーを淡水で洗い、乾燥させます。
5. ワイヤブラシで端子とバッテリーケーブル端部を光沢が出るまで清掃します。
6. バッテリーを取り付けます。
7. 座金とナットを使用し、プラスケーブルから先にケーブルをバッテリー端子に取り付けます。
8. スプレー潤滑剤を端子に吹き付けて腐食を防止します。

OUO1023.00004C7-40-13MAR13

ブースターバッテリーの使用

⚠ 注意： バッテリーは可燃性ガスおよび爆発性ガスを発生します。バッテリーは爆発する可能性があるため、次の点に注意してください。

- バッテリーの近くで喫煙したり、直火を使用しないでください。
- ゴーグルと手袋を着用してください。
- 凍りついたバッテリーをジャンプスタートしたり、充電したりしないでください。バッテリーを 16°C (60°F) に暖めてください。
- 放電したバッテリーのマイナス (-) 端子にマイナス (-) ブースターケーブルを接続しないでください。放電したバッテリーから離れた良好なアース位置に接続してください。



TCAL42290—UN—08MAR13

A : ブースターバッテリー
B : 放電したバッテリー

1. プラス (+) ブースターケーブルをブースターバッテリー (A) のプラス (+) 電極 (C) に接続します。
2. プラス (+) ブースターケーブルの反対側の端部を、放電したバッテリー (B) のプラス (+) 電極 (D) に接続します。
3. マイナス (-) ブースターケーブルをブースターバッテリーのマイナス (-) 電極 (E) に接続します。

電気の整備

重要： ブースターバッテリーからの電荷により機械の部品が損傷する場合があります。マイナスブースターケーブルを機械のフレームに取り付けしないでください。エンジンブロックのみに取り付けてください。

ベルトやファンブレードなど、エンジンルームの可動部品から離してマイナスのブースターケーブルを取り付けます。

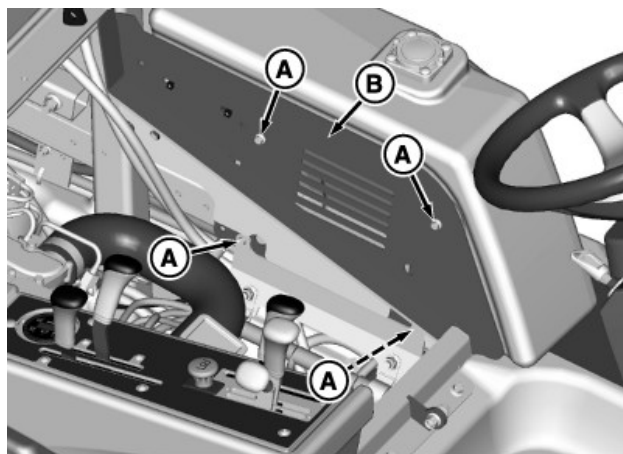
4. マイナス (-) ブースターケーブルの反対側の端部 (F) を、放電した機械のバッテリーから離れたエンジンブロックの金属部分に接続します。
5. 放電した機械のエンジンを始動し、機械を数分間運転します。
6. ブースターケーブルを接続したときと逆の順に、次のように外します。最初にマイナスケーブル、次にプラスケーブル。

OUO1023,00004C8-40-14MAR13

ヒューズの点検と交換

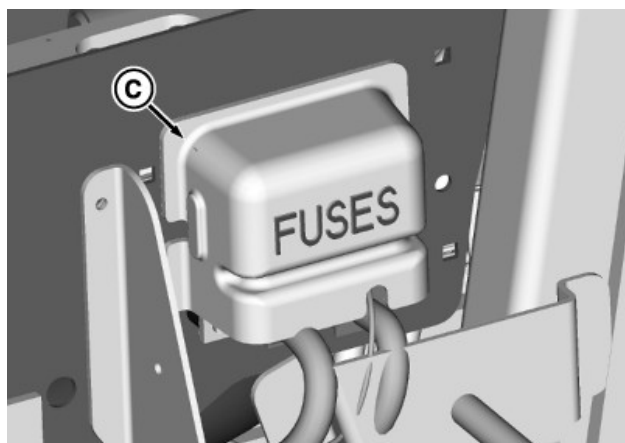
メインヒューズの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. シートプラットフォームを上げるか、取り外します。



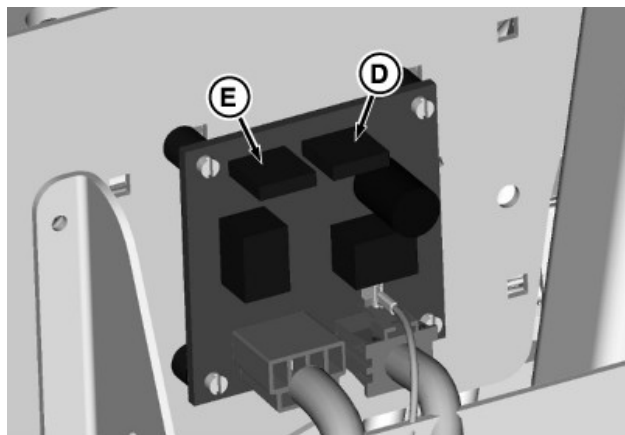
TCT010635—UN—31MAR14

3. 機械の右側にパネル (B) を固定しているねじ 4 本 (A) を取り外します。
4. パネルを慎重に取り外して、電気コントロールボックスの位置を確認します。



TCT010636—UN—24MAR14

5. カバー (C) を電気コントロールボックスから取り外します。



TCT010637—UN—24MAR14

6. ヒューズ (D) は 15 A ヒューズで、ステアリングコラムのワークランプを制御しています。
7. ヒューズ (E) は 15 A ヒューズで、他のすべての電気機能を制御しています。
8. 電圧計またはテストランプでヒューズをテストし、切れている場合は交換してください。絶対にヒューズを大きなアンペア値のものに交換しないでください。同じタイプのヒューズと交換してください。
9. カバーを電気コントロールボックスに取り付けます。
10. 前の手順で取り外したねじを使用してカバーを機械の左側に取り付けます。
11. シートプラットフォームを取り付けるか、下げます。
12. エンジンカバーを閉めます。

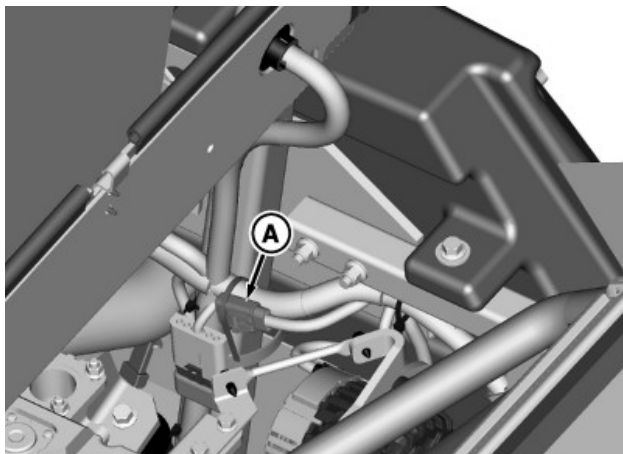
12 V 電源コンセントヒューズの交換

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. エンジンカバーを開きます。

電気の整備

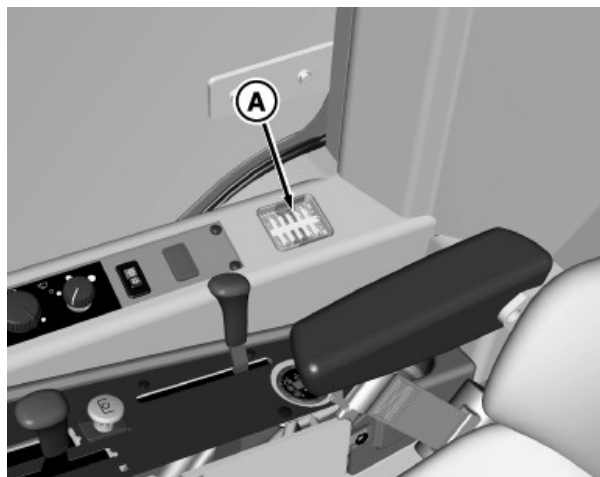
キャビンのヒューズの点検と交換 (1575、1585)

1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)



TCT010617—UN—24MAR14

3. 右側のハーネスに連結されている 12 V 電源コンセントヒューズ (A) の位置を確認します。

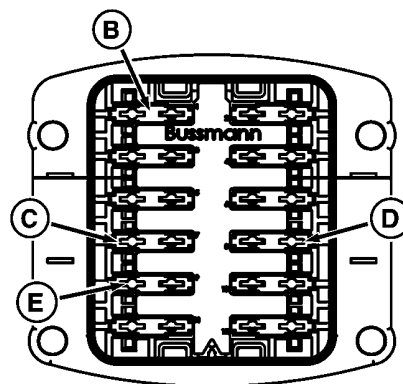


TCT009089—UN—24MAR14



TCT010638—UN—24MAR14

4. ロックタブ (B) を外して、ヒューズホルダのヒューズ取り付け部を下に引いてキャップから外します。
5. 電圧計またはテストランプを使用してヒューズをテストします。キースイッチが RUN 位置のときは、ヒューズの両側が暖かいはずです。
6. ヒューズが切れている場合は交換します (10 A)。絶対にヒューズを大きなアンペア値のものに交換しないでください。同じタイプのヒューズと交換してください。
7. ヒューズホルダをカップに取り付けます。
8. エンジンカバーを閉めます。



TCT010639—UN—24MAR14

- A : ヒューズパネル
B : 位置 1 (20 A)
C : 位置 7 (30 A)
D : 位置 8 (20 A)
E : 位置 9 (20 A)

2. シートのすぐ右側にあるヒューズパネル (A) の位置を確認します。
3. ヒューズ (B) は 20 A ヒューズで、ウインドシールドワイパーとラジオを制御しています。
4. ヒューズ (C) は 30 A ヒューズで、ワークライト、ターンシグナル / フラッシャ、ビーコンライト (装備されている場合) を制御しています。
5. ヒューズ (D) は 20 A ヒューズで、ドームライトと右ブロワを制御しています。
6. ヒューズ (E) は 20 A ヒューズで、左ブロワを制御しています。
7. 電圧計またはテストランプでヒューズをテストし、切れている場合は交換してください。
8. 絶対にヒューズを大きなアンペア値のものに交換し

OUMX068,0000691-40-14NOV18

電気の整備

ないでください。同じタイプのヒューズと交換してください。

OUMX068,000068D-40-09NOV18

その他の整備

適切な燃料 (ディーゼル) の使用

エンジン性能の低下を防ぎ、排ガスの増加を抑えるため、適切なディーゼル燃料を使用してください。下記の燃料要件に従わない場合、エンジンの保証が無効になる場合があります。

地域のディーゼル燃料の特性については、現地の燃料販売店にお問い合わせください。

一般に、ディーゼル燃料は販売される地域の低温要件に合わせて混合されます。

EN 590 または ASTM D975 に規定されたディーゼル燃料を推奨します。

必要な燃料特性

あらゆる場合に燃料は次の特性に適合する必要があります。

最低 45 のセタン価。特に-20°C (-4°F) 未満の温度または 1500 m (5000 ft) を超える高度では、50 を超えるセタン価を推奨します。

寒冷フィルタ目詰まり点 (CFPP、Cold Filter Plugging Point) が予期される最低温度より少なくとも 5°C (9°F) 低いか、曇り点が予期される最低周囲温度より低い必要があります。

燃料潤滑性は ASTM D6079 または ISO 12156-1 によって評価される最大摩耗痕径 0.45 mm に合格する必要があります。

重要：不適切な燃料添加剤の使用により、ディーゼルエンジンのフューエルインジェクション装置が損傷する恐れがあります。

潤滑性が低いまたは不明な燃料を使用する場合は、指定の濃度の John Deere PREMIUM DIESEL FUEL CONDITIONER (または同等品) を加えてください。

硫黄含有量

- ディーゼル燃料の品質と燃料硫黄含有量は、エンジンを運転する地域に存在するすべての排出ガス規制に準拠する必要があります。
- 硫黄含有量が最大 0.0015% (15 mg/kg) の超低硫黄ディーゼル (ULSD) 燃料のみを使用してください。

重要：ディーゼルエンジンオイルやその他の種類の潤滑剤をディーゼル燃料と混合しないでください。

バイオディーゼル燃料の使用

バイオディーゼル燃料は、ASTM D6751、ASTM D7467、および EN14214 の最新版の特性に適合するか、または同等の規格である場合のみ使用できます。

バイオディーゼル燃料の現行の最大許容濃度は石油系ディーゼル燃料で 5% ブレンド (B5) です。

機械を John Deere 純正 B20 キットで改造した場合は、B20 までの濃縮タイプを使用できます。B6~B20 燃料を使用した場合、一部の部品のメンテナンス間隔

を変更する必要があります。燃料の取り扱いと機械の保管に特別な手順が必要です。

ディーゼルエンジンでバイオディーゼル燃料を使用する場合の推奨事項の変更については、John Deere 取扱店にお問い合わせいただくか、John Deere Commercial and Consumer Equipment Web サイトの Services and Support リンクを参照してください。

ディーゼル燃料の取り扱いと保管

⚠ 注意：燃料の取り扱いに注意してください。エンジンの作動中は燃料タンクに給油しないでください。

燃料タンクへの給油や燃料システムの整備中は、喫煙しないでください。

重要：亜鉛メッキされた容器は使用しないでください。亜鉛メッキされた容器のディーゼル燃料と容器の亜鉛コーティングが反応して亜鉛フレークが発生します。燃料に水が含まれる場合も亜鉛ゲルが形成されます。ゲルやフレークは、急速に燃料フィルタを詰まらせてフューエルインジェクタや燃料ポンプを損傷させます。

- 寒冷気候での水分凝縮や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクをいっぱいにしてください。
- 燃料を長期間保管する場合や燃料の使用がわずかな場合は、燃料を安定させて水分凝縮を防ぐために、フューエルコンディショナを追加してください。推奨品については、燃料の販売業者にお問い合わせください。

OOU1023,00004CA-40-15MAR13

燃料タンクへの注入

⚠ 注意：燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。

- 燃料タンクに充填する前にエンジンを OFF にしてください。
- 燃料を補給する前にエンジンが冷めるまで待ちます。
- 燃料を取り扱い中は喫煙しないでください。
- 火炎や火花から燃料を離してください。
- 屋外または十分に換気されたエリアで燃料タンクに充填してください。
- こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。
- 認定済みの清潔な非金属製容器を使用して、静電気を防止してください。

重要：燃料内のごみや水分はエンジンの損傷の原因になります。

- 燃料タンクの開口部の汚れやごみを除去してください。

その他の整備

- 清浄で新鮮な安定している燃料を使用してください。
- 燃料タンクでの水分凝縮を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクを充填してください。
- じょうごを使用する場合は、プラスチック製で、金網やフィルタがないことを確認してください。

寒冷気候での結露や凍結を避けるため、毎日の作業終了時に燃料タンクを充填してください。

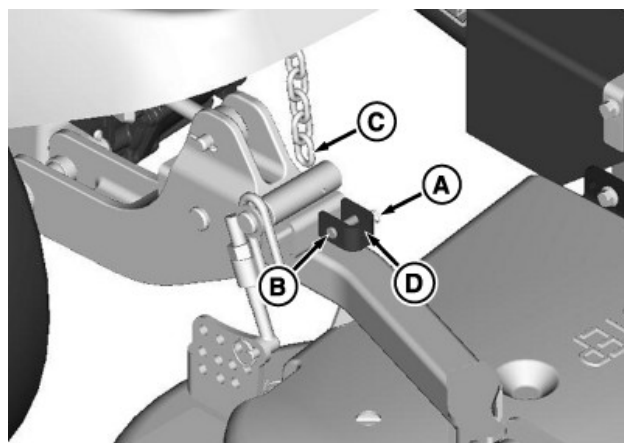
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)
2. エンジンを冷まします。
3. 燃料タンクキャップの周囲からごみを除去します。
4. 燃料タンクキャップをゆっくりと取り外して、タンクに溜まっている圧力を逃がします。
5. 燃料タンクにはフィラーネックの底部まで補充してください。入れすぎないでください。
6. 燃料タンクキャップを取り付けます。
 - ガスモデル： カチッと音がするまでキャップを回します。

OUO1023,00004CB-40-05AUG16

整備用ラッチの使用

⚠ 注意： けがを防止してください。機械を動かす前に整備用チェーンのラッチを外し、けがを防止してください。フロントの装置を上げた状態や取り外した状態で傾斜地で運転したり高速で運転すると、機械が不安定になる場合があります。装置を上げた状態や取り外した状態では低速で移動し、急ブレーキを避けてください。装置を上げた後もPTOは回転し続けます。使用しない時はPTOを停止してください。

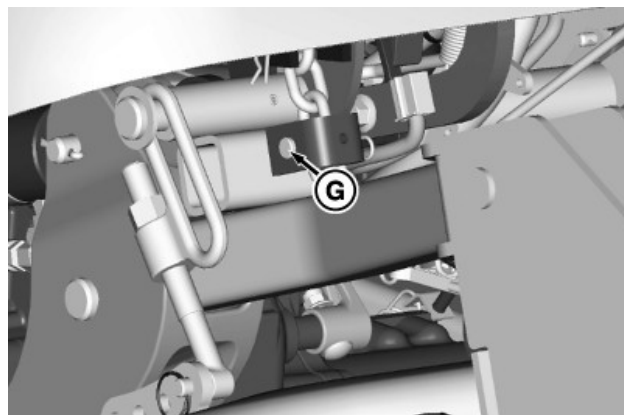
1. 機械は傾斜地ではなく水平な地面に止めてください。
2. PTO スイッチをオフにします。
3. モアデッキを最高レベルまで上げます。
4. パーキングブレーキをかけます。
5. エンジンを停止し、キーを抜きます。
6. 運転席を離れる前に、エンジンとすべての可動部が停止するのを待ちます。



TCT010375—UN—20FEB14

7. スプリングピン (A) とクレビスピン (B) をモアデッキのリフトアームから取り外します。
8. 整備用ラッチのチェーン (C) の下部リンクをモアデッキのリフトアームの溶接ブラケット (D) に挿入します。

注記： 整備用ラッチのチェーンには、すべての構成に対応できるように 7 つのリンクが用意されています。最も強く締め付けられるチェーンリンクを選択してください。



TCT010376—UN—20FEB14

9. 継ぎ手ピン (G) をブラケットとチェーンに通して取り付け、スプリングピンで固定します。

OUMX068,00003B5-40-20FEB14

キャビンエアコンの整備

注記： コンプレッサは工場でオイルが充填されているので、オイルを追加する必要はありません。

エアコンの点検

エアコンが冷えなかったり、冷房が間欠的な場合は、以下を点検してください。

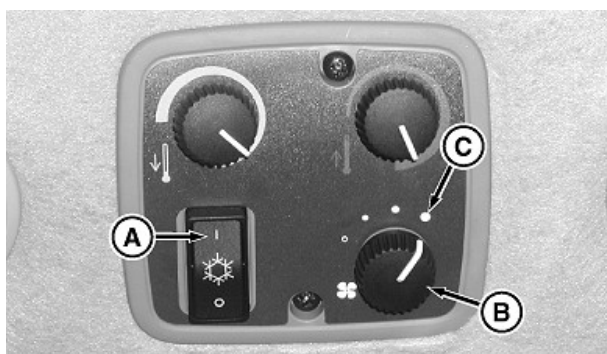
その他の整備

重要： 損傷を防止してください。R134a 冷媒を使用しなければなりません。このため特別な装置と手順が必要です。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

注記： 下部フロントでのコンプレッサシャフトシールからの多少のオイル浸出は正常です。

1. 機械が保管された後にエアコンクラッチがスリップする場合は、コンプレッサが固着している場合があります。

- エンジンを停止して、イグニッションスイッチを「停止 (OFF)」位置に回します。
- ボンネットを上げ、クラッチハブを前後に回して、コンプレッサを解放します。



TCT008316—UN—13AUG13

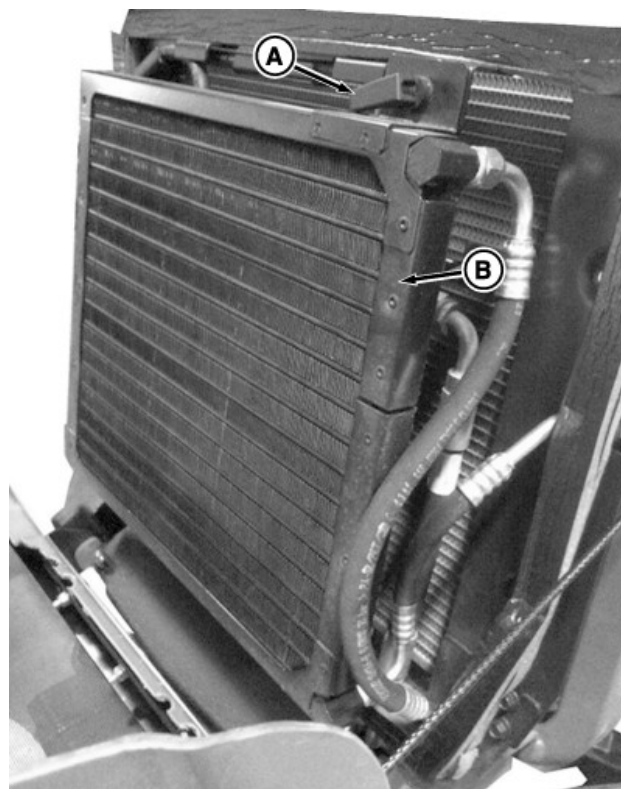
2. エンジンを 2000 rpm で運転します。A/C の上半分と霜取りスイッチ (A) を押し、ブローコントロールノブ (B) を高い位置 (C) に設定します。冷房が間欠的な場合は、ボンネットグリル、ラジエータ、コンデンサを清掃します。問題が解決しない場合は、John Deere 取扱店にお問い合わせください。

3. オペレータキャビンフィルタに詰まりがないか点検します。問題が続く場合は、John Deere 取扱店に問い合わせ、エバポレータのコア部を清掃させてください。

エアコンコンデンサの清掃

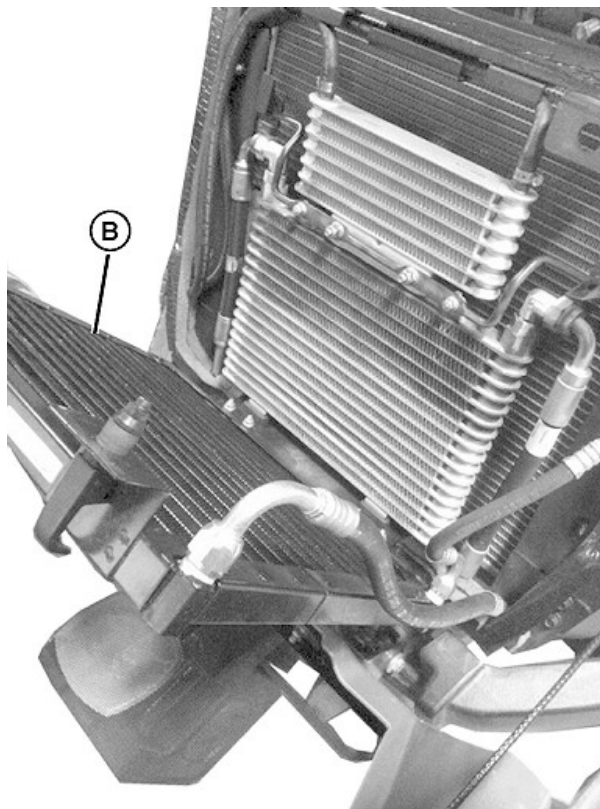
⚠ 注意： けがを防止してください。圧縮空気を使用すると、遠くまでごみが飛ぶ可能性があります。

- 作業エリアに人を近づけないでください。
- 清掃のために圧縮空気を使用するときは、ゴーグルを着用してください。
- 圧縮空気の圧力を 210 kPa (30 psi) まで下げてください。



TCT007885—UN—21MAR14

1. ハンドル (A) を上にかつ機械の前方に回してエアコンコンデンサ (B) のラッチを外します。



TCT008317—UN—13AUG13

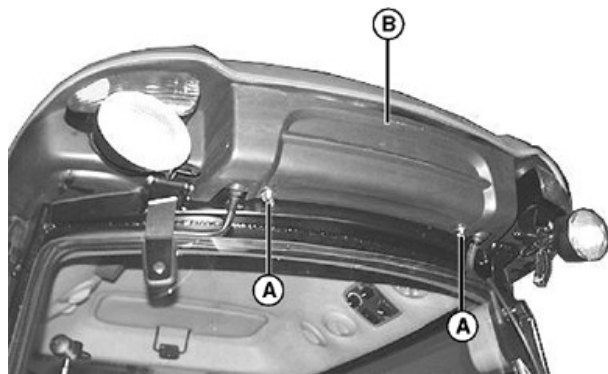
2. 図のようにエアコンコンデンサ (B) を前方に旋回させます。

その他の整備

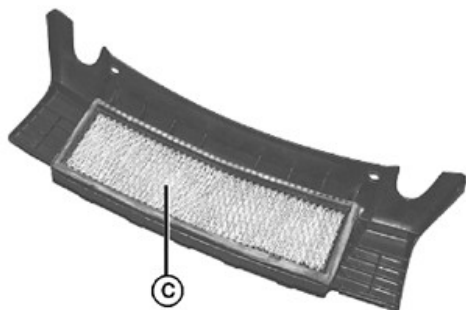
3. エアコンコンデンサ (B) に泥やごみがないか点検します。ブラシまたは圧縮空気を使用してコンデンサを清掃します。
4. より十分な清掃が必要な場合は、ラジエータの両側を圧縮空気または水で清掃します。曲がっているフィンがあればまっすぐにします。

OUC02005,0000112-40-18DEC14

キャビンエアフィルタの清掃



LVAL13682—UN—08NOV10

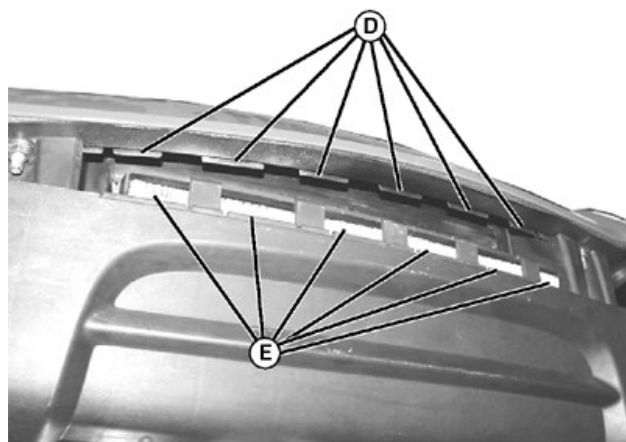


LVAL13683—UN—08NOV10

A : 蝶ボルト (2 本使用)
B : フィルタベース
C : フィルタ

1. 蝶ボルト 2 本 (A)、座金、フィルタベース (B) を取り外します。
2. フィルタ (C) をフィルタベースから取り外し、圧縮空気ですべてを清掃します。フィルタに損傷がないか点検します。必要に応じて交換します。
3. フィルタをフィルタベースに取り付けます。

重要： 損傷を防止してください。ルーフパネルのタブ 6 個 (D) がフィルタベースの溝 (E) にかみ合っていることを確認してください。



LVAL13684—UN—08NOV10

D : つまみ
E : 溝

4. ルーフパネルの 6 個のタブ (D) がフィルタベースの溝 (E) にかみ合っていることを確認しながら、フィルタベースを取り付けます。座金 2 枚と蝶ボルトを使ってベースアセンブリをルーフパネルに固定します。

OUMX258,0000A7B-40-21MAR13

金属面の清掃と補修

清掃：

車両の塗装された金属面の手入れについては、自動車の慣行に従ってください。高品質の自動車用ワックスを定期的に使用して、車両の塗装面を工場出荷時と同じ外観に維持してください。

軽微な傷 (表面の傷) の修理：

1. 修理する面を十分清掃します。

重要： 塗装面に研磨コンパウンドを使用しないでください。

2. 自動車用のつや出しコンパウンドを使用して表面の傷を除去します。
3. 表面全体にワックスをかけます。

深い傷 (素地やプライマーが見える傷) の修理：

1. 消毒用アルコールまたは石油系溶剤を使用して、修理するエリアを清掃します。
2. 認定取扱店から入手できる工場出荷時の色と同じ色のタッチアップペイントを使用して傷に塗ります。タッチアップペイントに記載されている指示に従って使用し、乾燥させます。
3. 自動車用つや出しコンパウンドを使用して表面を滑らかにします。電動バフは使用しないでください。
4. 表面にワックスをかけます。

OUC1023,00004CD-40-14MAR13

その他の整備

プラスチック面の清掃

重要： 機械のプラスチック面を不適切に手入れすると、その面が傷む可能性があります。

- プラスチック面が乾燥しているときはその面を拭かないでください。乾燥した面を拭くと、軽微な傷が発生します。
- 軟らかい清潔なウエス (バスタオル、布、自動車用ミット) を使用してください。
- 研磨コンパウンドなど、研磨性の物はプラスチック面に使用しないでください。

1. 上水でボンネットおよび機械全体を洗い、表面を傷つける可能性がある泥やほこりを除去します。
2. 表面を上水と自動車用洗剤で洗います。
3. 水痕が残らないように十分乾かします。
4. 液体ワックスで表面にワックスをかけます。「研磨剤を含まない」製品を使用してください。

重要： ワックスを除去するために電動バフを使用しないでください。

5. バフで塗布したワックスは、清潔で軟らかい布を使用して手で拭き取ります。

OUO1023,00004CE-40-14MAR13

転倒時保護システムの取り付けの点検

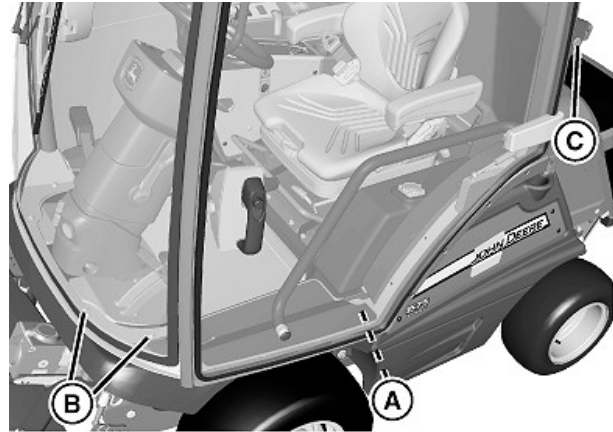
⚠ 注意： けがを防止してください。オペレータ保護と ROPS 認定を維持するための注意事項：

- ROPS を修理または改造しないでください。
- ROPS の改造にはメーカーの承認が必要です。

重要： 損傷を防止してください。すべての部品が正しく取り付けられていることを確認します。キャビン保護システムが緩んでいる場合、または何らかの理由で取り外した場合は、取り付けボルトを規定のトルクで締め付けます。

キャビン保護システムが横転事故のような構造的な損傷を受けた場合、または溶接、曲げ、穴あけ、または切断により何らかの改造を施された場合、キャビン保護システムの保護機能が損なわれます。損傷したキャビン保護システムは交換し、再使用しないでください。キャビン保護システムの改造にはメーカーの承認が必要です。

1. 機械への装置の取り付けのためにキャビン保護システムを緩めたり、取り外したりする必要がある場合には、取り付けボルトを規定のトルクで締め付ける必要があります。
2. キャビン保護システムの取り付け金具が適切なトルクであるか 500 時間ごとに点検するか、金具を交換してください。



TCT008318—UN—13AUG13

3. ゴムフロアマット (A) を持ち上げて、フロント取り付け金具にアクセスします。
4. フロント取り付け金具の位置 2 箇所 (B) を点検します。
5. 取り付けピボット金具 (C) を点検します。
6. 取り付け金具を 260 N•m (192 lb-ft) のトルクで締め付けます。
7. キャビンの反対側でも手順を繰り返します。

OUO2005,0000113-40-06MAR14

前輪の取り外しと取り付け

⚠ 注意： ホイールは安全に取り外してください。

- 安全なリフト装置を使用し、機械をジャッキスタンドで支持します。
- 持ち上げていない前輪または後輪に輪止めを取り付けて機械が動かないようにします。
- ホイールは重量があり、取り外すときの取り扱いが困難である可能性があります。

機械の前部を上げる

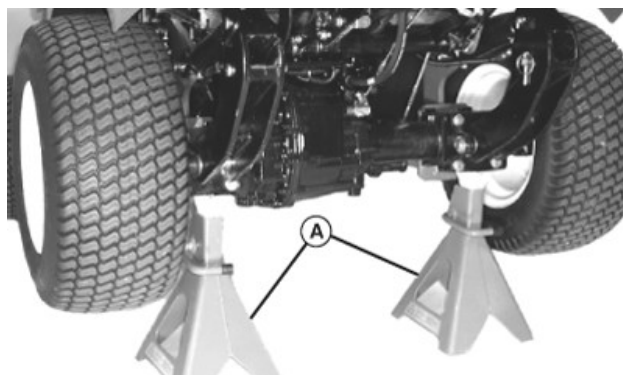
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照)。
2. アタッチメントを本機から取り外します。
3. リアタイヤをブロックします。

その他の整備



TCAL43399—UN—14MAR13

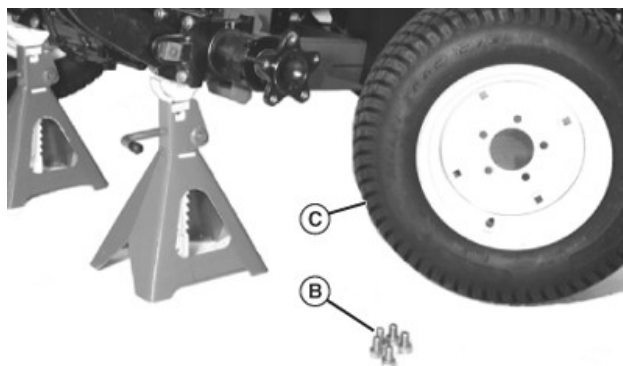
4. 前輪の後のフレームにフロアジャッキを使用して、フロントタイヤが地面から離れるまで機械を持ち上げます。トランスアクスル上でジャッキを使用しないでください。オイルフィルターが損傷します。



TCAL43400—UN—14MAR13

5. ジャッキスタンド (A) を左右のフロントアクスルの下に取り付けます。

前輪の取り外し



TCAL43401—UN—14MAR13

1. 前輪のボルト (B)、座金、補強プレートを取り外します。
2. 前輪 (C) をフロントアクスルから取り外します。

前輪の取り付け

- ⚠ 注意：** ホイールは安全に取り外してください。
- 安全なリフト装置を使用し、機械をジャッキスタンドで支持します。
 - 持ち上げていない前輪または後輪に輪止めを取り付けて機械が動かないようにします。

- ホイールは重量があり、取り外すときの取り扱いが困難である可能性があります。



TCAL43402—UN—14MAR13

1. バルブシステム (A) を外側に向けてホイールを車軸ハブに取り付けます。座金が各ホイールボルト (B) に取り付けられていることを確認して、ボルトを補強板、ホイール、ハブに取り付けます。
2. トルクレンチを使用して前輪ボルトを規定のトルクで締め付けます。

仕様

フロントホイールボルト：トルク..... 122 N・m (90 lb・ft)

3. 機械を地面に下ろし、フロアジャッキを撤去します。
4. リアタイヤを固定しているホイールブロックを取り外します。
5. ホイールボルトのトルク値を次の時期に点検します：
 - 方向を変えながら 30 m (100 ft) 走行した後。
 - 3～10 時間の使用後
 - その後の 100 運転時間中に頻繁に。

OUO1023,00004D0-40-13MAR20

後輪の取り外し / 取り付け

- ⚠ 注意：** ホイールは安全に取り外してください。
- 安全なリフト装置を使用し、機械をジャッキスタンドで支持します。
 - 持ち上げていない前輪または後輪に輪止めを取り付けて機械が動かないようにします。
 - ホイールは重量があり、取り外すときの取り扱いが困難である可能性があります。

機械の後部の持ち上げ

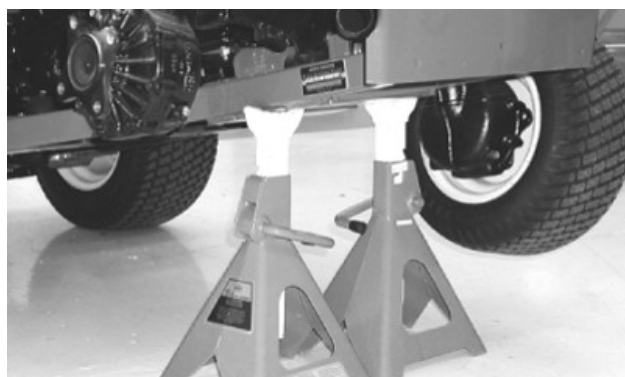
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」参照。)

その他の整備



TCAL43403—UN—14MAR13

2. リアフレームの中心にフロアジャッキを使用して、リアタイヤが地面から離れるまで機械を持ち上げます。また、リアフレームプレート (A) をジャッキポイントまたはリフトポイントとして使用することもできますが、マフラー (B) を損傷しないように注意する必要があります。



TCAL43404—UN—14MAR13

3. ジャッキスタンドを左右のリアフレームの下に取り付けます。
4. 機械をジャッキスタンドの上を下ろします。

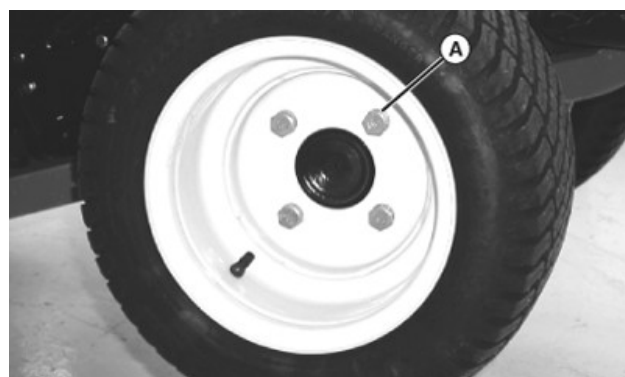
後輪の取り外し：2WD



TCAL43405—UN—14MAR13

1. 後輪のホイールボルトと座金 (A) を後輪の中心から取り外します。
2. ホイールとタイヤアセンブリをリアアクスルからまっすぐに引っ張って外します。

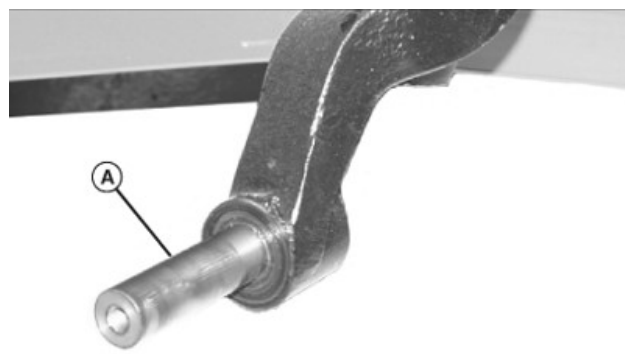
後輪の取り外し：4WD



TCAL43406—UN—14MAR13

ホイールボルトと座金 (A) を取り外します。ホイールをリアアクスルから取り外します。

後輪の取り付け：2WD



TCAL43407—UN—14MAR13

1. 後輪を取り付ける前に推奨グリースをリアアクスルシャフト (A) に塗布します。
2. バルブシステムを外側に向けて後輪を車軸ハブに取り付けます。



TCAL43408—UN—14MAR13

3. 座金とホイールボルト (B) を取り付けます。トルクレンチを使用して後輪取り付けボルトを規定のトルクで締め付けます。

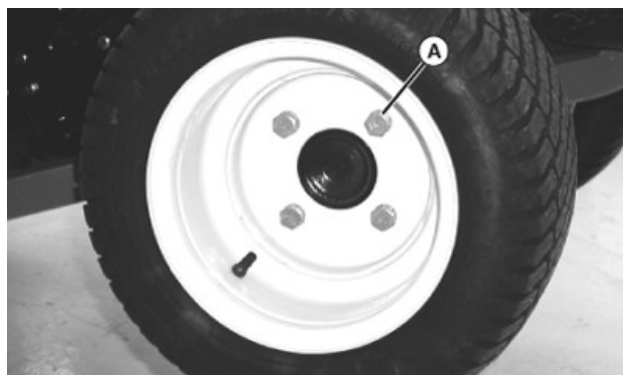
仕様

リアホイールボルト：トルク..... 82 N·m (60 lb·ft)

4. リアフレームの中心で機械を持ち上げてください。ジャッキスタンドを取り外して、機械を地面に下ろします。

その他の整備

後輪の取り付け：4WD



TCAL43409—UN—14MAR13

1. バルブシステムを外側に向けて後輪を車軸ハブに取り付けます。
2. 座金とホイールボルトを取り付けます。トルクレンチを使用して後輪取り付けボルト (A) を規定のトルクで締め付けます。

仕様

リアホイールボルト：トルク..... 122 N·m (90 lb·ft)

3. リアフレームの中心をジャッキアップして機械を持ち上げます。ジャッキスタンドを取り外して、機械を地面に下ろします。

OUC1023,00004D1-40-13MAR20

トラブルシューティング

トラブルシューティング表の使用

この表に掲載されていない問題が発生している場合は、整備について認定取扱店にお問い合わせください。

掲載されているすべての原因を確認し、引き続き問題

が発生している場合は、認定取扱店にお問い合わせください。

OUO1023,00004D2-40-14MAR13

エンジン

問題	点検
エンジンの性能低下	燃料システムに異物が混入しているか、燃料が古くなっている。燃料を、スタビライザを添加した新しい燃料と交換します。作業機の問題を疑う前に、他のサプライヤから燃料を入手します。燃料のブレンドは販売業者間で異なるため、販売業者を変えると性能の問題が一般に解決します。 寒冷気候または温暖気候用にブレンドされた燃料は、正しくない季節に使用した場合、特に数か月以上保存した場合、性能の問題を引き起こす可能性があります。新しい燃料を入手してください。
エンジンが始動しない (スタータがかみ合わない)	シートスプリング調整が固すぎるためにシートスイッチが作動していない。 PTO スイッチが ON になっている。 マスターブレーキペダルが踏み込まれていない。 電気的問題：「電気のトラブルシューティング」セクション参照。
エンジンが始動しない (スタータがかみ合い、エンジンが回る)	燃料シャットオフバルブが OFF 位置にある。 燃料がないまたは不適切。 燃料フィルタの詰まり。 電気的問題：「電気のトラブルシューティング」セクション参照。
エンジンが始動しにくい	チョークまたはエンジン予熱ヒーターの不適切な使用。 燃料フィルタの詰まり。 燃料が古いか、不適切。
エンジンの運転が不均一	チョークが全開していない。 燃料ラインまたは燃料フィルタの詰まり。 燃料が古いか、汚れている。 フューエルインジェクタの詰まり。 エアクリーナエレメントの詰まり。
負荷状態でエンジンが失火する	チョークが全開していない。 燃料が古いか、汚れている。 燃料フィルタの詰まり。
エンジンのオーバーヒート	エンジン吸気スクリーンの詰まり。 エンジンクーラントレベルが低い。 エンジンオイルレベルが低すぎるか高すぎる。 スローアイドル回転数でのエンジンの運転時間が長すぎる。
エンジンがアイドリングにならない	チョークが正しく使用されていない。 燃料レベルが低すぎる。 エアクリーナエレメントが汚れている。 オペレータがパーキングブレーキをロックしないでシートから離れている。
エンジンがノッキングを起こす	燃料の劣化。 エンジン過負荷。 エンジン回転数が低い。
傾斜面で運転しているときにエンジンが停止または失火する	燃料レベルが低すぎる。 オペレータがシートから離れている。
エンジンのバックファイア	オペレータがシートから離れている。
エンジン出力低下	エンジンのオーバーヒート。 エンジンオイルが多すぎる。 エアクリーナの汚れ。 走行速度が条件に対して速すぎる。 燃料が不適切。
排気煙が黒い	チョークが全開していない。 エアフィルタエレメントが汚れている。

OUO1023,00004D3-40-15MAR13

トラブルシューティング

電気

症状	点検
スタータがかみ合わない	ブレーキペダルが踏まれていない。 PTO スイッチが ON 位置にある。 バッテリーが充電されていない。 ヒューズが切れている。
バッテリーが充電されない	バッテリーのセルが放電している。 バッテリーのケーブルと端子が汚れている。 エンジン回転数が低いか、アイドリング過剰。
表示灯が機能しない	ライトのプラグが外れている。 バルブの緩みまたは切れ。

OUO1023,00004D4-40-15MAR13

機械

症状	点検
エンジンは作動しているが、機械が動かない	トランスアクスルのバイパスバルブプレートがかみ合い位置にある。

OUO1023,00004D5-40-15MAR13

保管

安全な保管

注意： 燃料蒸気は爆発性および可燃性があります。エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な病気や死亡事故の原因になります。

- 保管場所へまたは保管場所からの機械の移動に必要な時間のみエンジンを運転してください。
- 冷める前に機械を保管した場合、エンジンやマフラーの周辺からごみを取り除いていない場合、または可燃物の近くに保管した場合、機械や構造物の火災が発生する恐れがあります。
- タンクに燃料が残っている車両を、燃料蒸発ガスが直火や火花に達する可能性がある建物内に保管しないでください。
- 閉鎖区域に機械を保存する前にエンジンを冷ましてください。

OUO1023,00004D6-40-14MAR13

保管のための機械の準備

1. 摩耗または損傷している部品を修理します。必要に応じて、部品を交換します。緩んでいる金具を締め付けます。
2. 錆防止のため傷や欠けのある金属面を修理します。
3. 機械から草やごみを取り除きます。
4. デッキの下を清掃し、シュートやバガーの内側から草やごみを取り除きます。
5. 機械を洗浄し、金属面やプラスチック面にワックスをかけます。
6. 機械を 5 分間運転し、ベルトやプーリーを乾燥させます。
7. 回転ポイントや摩耗ポイントにエンジンオイルを軽く塗布して錆を防止します。
8. グリースポイントを潤滑して、タイヤ空気圧を点検します。

OUO1023,00004D7-40-14MAR13

保管のための燃料とエンジンの準備

燃料：

「安定化燃料」を使用していた場合は、安定化燃料をタンクにいっぱいまで注入します。

注記： 燃料タンクを満タンにすることにより、燃料タンク内の空気の量が減り、燃料の劣化が少なくなります。

安定化燃料を使用していない場合：

1. 十分に換気された区域に機械を安全に駐車します。（「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。）

注記： シーズン中は機械を最後に使用する時期を予測して、燃料タンクに燃料がほとんど残らないようにしてください。

2. エンジンをかけて、燃料がなくなるまで作動させます。
3. キースイッチ付きの機械の場合は、キーを OFF 位置にします。

重要： 劣化した燃料からはワニスが生成され、キャブレータやインジェクタの部品が詰まってエンジン性能に影響を与える可能性があります。

- タンクに充填する前に、燃料に燃料コンディショナまたは安定剤を追加してください。

4. 燃料と燃料安定化剤を別の容器に混ぜます。混合の手順については、安定剤の手順に従ってください。
5. 安定化燃料を燃料タンクに充填します。
6. エンジンを数分間運転し、ガソリンエンジンのキャブレータまたはディーゼルエンジンのフューエルインジェクタ全体に混合燃料を循環させます。

エンジン：

車両を 60 日間以上使用しない場合は、エンジン保管手順に従ってください。

1. エンジンが暖かいときにエンジンオイルとフィルタを交換します。
2. 必要に応じて、エアフィルタを交換します。
3. エンジン吸気スクリーンからごみを除去します。
4. ガソリンエンジンの場合：
 - スパークプラグを取り外します。シリンダに 30 mL (1 oz) の新品のエンジンオイルを入れます。
 - スパークプラグを取り付けます。ただし、スパークプラグワイヤを接続しないでください。
 - エンジン 5~6 回クランキングしてオイルを行き渡らせます。
5. エンジンとエンジンルームを清掃します。
6. バッテリーを取り外します。
7. バッテリーとバッテリー電極を清掃します。電解液レベルを点検します (バッテリーがメンテナンスフリータイプではない場合)。
8. 燃料シャットオフバルブを閉じます (機械に装備されている場合)。
9. 涼しく、乾燥した、バッテリーの凍結しない場所にバッテリーを保管します。

注記： 保管しているバッテリーは、90 日ごとに再充電してください。

10. バッテリーを充電します。

保管

重要： 長期にわたって日光にさらされると、ボンネット面が損傷します。機械を屋内に保管するか、屋外に保管する場合はカバーを使用してください。

11. 乾燥した、保護された場所に車両を保管します。車両を屋外に保管する場合は、車両に防水カバーをかけます。

OUO1023,00004D8-40-14MAR13

バイオディーゼル燃料の保管

重要： バイオディーゼル燃料は、燃料販売業者が製造した日から 3 か月以内に使用する必要があります。

バイオディーゼル燃料使用の機械を (エンジンを作動せずに) 長期間保管する前に：

- 燃料タンクからすべてのバイオディーゼル燃料を抜き出します。
- オペレータマニュアルに記載されているように、タンクに従来型の石油燃料を満たします。
- エンジンを始動し、5 時間以上作動させます。

OUO1023,00004D9-40-14MAR13

保管からの機械の復帰

1. タイヤ空気圧を点検します。
2. エンジンオイルレベルを点検します。
3. バッテリー電解液レベルを点検します (バッテリーがメンテナンスフリータイプではない場合)。必要に応じて、バッテリーを充電します。
4. バッテリーを取り付けます。
5. ガソリンエンジンの場合：スパークプラグの隙間を点検します。プラグを取り付け、規定のトルクで締め付けます。
6. すべてのグリースポイントを潤滑します。
7. 燃料シャットオフバルブを開きます (機械に装備されている場合)。
8. モアやアタッチメントを作動させないでエンジンを 5 分間運転し、エンジンにオイルを行き渡らせます。
9. すべてのシールド、ガード、またはデフレクタが所定の位置に取り付けられていることを確認します。

OUO1023,00004DA-40-14MAR13

組み立て

安全な駐車

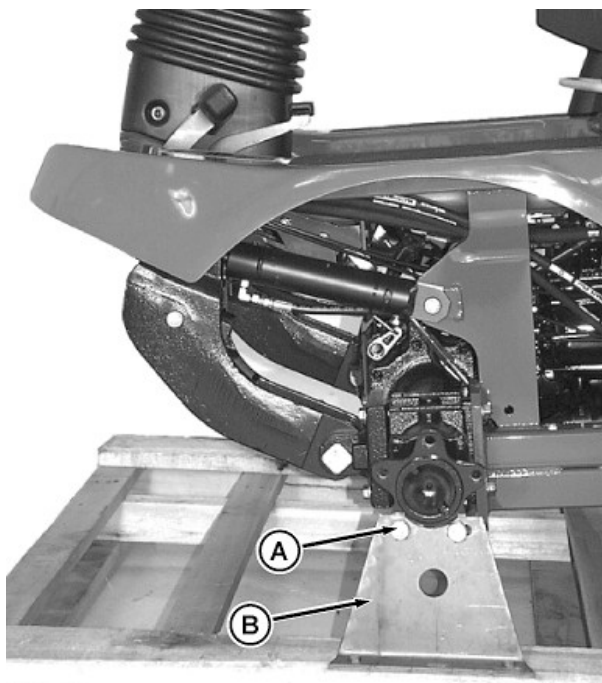
1. マシンは水平な場所に置きます。斜面には置かないでください。
2. モアのブレードや他の付属装置をすべて外します。
3. 付属装置を地表まで下げます。
4. パーキング ブレーキをロックします。
5. エンジンを停止します。
6. キーを抜き取ります。
7. 運転席を離れる前に、必ずエンジンとすべての稼動部分が停止するのを待ってください。
8. 燃料シャットオフバルブを閉じます (機械に装備されている場合)。
9. 機械の整備点検は、バッテリーのマイナス極ケーブルの接続を外してから、あるいはスパーク・プラグワイヤ (ガソリン エンジンの場合) を取り外してから行ってください。

OUO2005,0000215-40-05FEB13

機械の組み立て

1. 安全に作業できる十分なスペースのある場所で、パレットを平らで水平な面に置きます。分解後にパレットを作業区域から撤去して、落下、釘、破片によるけがを防止してください。
2. 機械からプラスチック製のカバーを除去します。

重要： 損傷を防止してください。オーバーヘッドホイストを使用して機械の前部を持ち上げる場合は、構造フレームの一部ではないステアリングホイール、オペレータプラットフォーム、またはその他の場所にフックを掛けしないでください。



TCT009073—UN—30OCT13

3. フロントトランスアクスルハウジングの下にフロアジャッキをかけて、ラグボルトと座金 (A) を出荷用ブラケット (B) から取り外せるようになるまでフロント車軸の重量をフロアジャッキで取り除きます。
4. ラグボルト 4 本と座金を左右のフロント車軸から取り外します。
5. 出荷用ブラケットを左右の出荷用コンテナから取り外します。
6. 前輪を取り付けられるように機械の前部を十分高い位置まで持ち上げます。
7. 部品の袋の位置を確認します。袋を機械から外して、ラグボルト 6 本と止め座金 6 枚を取り出します。
8. シートと電源コンセントを取り付けます。



TCT009074—UN—30OCT13

9. バルブステムを外側に向けてホイールを車軸ハブに取り付けます。座金が各ホイールボルトに取り

組み立て

付けられていることを確認して、ボルトを補強プレート (C)、ホイール、ハブに取り付けます。ボルトを 225 N・m (165 lb-ft) のトルクで締め付けます。

10. フロアジャッキを下げて機械を下ろします。



TCT009075—UN—30OCT13

11. バールとハンマーを使用して、ホイールブロック (D) を左右のリアタイヤの後側から取り外します。
12. リア車軸をパレットに固定している出荷用ストラップを切断します。
13. 機械をまっすぐに運転してパレットから離します。

OUC2005,0000298-40-05NOV13

バッテリーの充電と接続

⚠ 注意： けがを防止してください。バッテリーは可燃性ガスおよび爆発性ガスを発生します。バッテリーは爆発する可能性があるため、次の点に注意してください。

- バッテリーの近くで喫煙したり、直火を使用しないでください。
 - ゴーグルと手袋を着用してください。
 - バッテリーの電極間に金属を入れて充電状態を確認することは絶対にしないでください。電圧計または比重計を使用してください。
 - 凍りついたバッテリーをジャンプスタートしたり、充電したりしないでください。バッテリーを 16°C (60°F) に暖めてください。
1. 赤色のプラス (+) 保護キャップをバッテリーのプラス (+) 端子から取り外して廃棄します。
 2. バッテリーを充電します。
 - バッテリーは 12.6 V で完全に充電されます。

3. バッテリーのプラス (+) ケーブルをバッテリーに接続します。
4. バッテリーのマイナス (-) ケーブルを接続します。
5. 腐食を防ぐために、汎用グリースまたはシリコンスプレーを端子に塗布します。
6. バッテリーのプラスケーブルの上に赤色のカバーをスライドさせます。

OUC2005,0000299-40-05NOV13

タイヤ空気圧の点検

⚠ 注意： タイヤやリム部品の破裂は死傷事故の原因となることがあります。

正しい装置と業務経験が無い場合は、タイヤを取り付けようとししないでください。

常に正しいタイヤ空気圧を維持してください。推奨タイヤ空気圧を超えてタイヤに空気を入れないでください。決して、ホイールおよびタイヤアセンブリを溶接したり加熱したりしないでください。加熱すると空気圧が上がり、タイヤが爆発します。溶接すると、ホイールが構造的に弱くなったり、変形することがあります。

タイヤに空気を入れるときは、クリップオン式のチャックと、タイヤアセンブリの前や上ではなく片側に立つことができる程度に十分長い延長ホースを使用してください。必要に応じて安全ケージを使用してください。

ホイールを点検し、圧不足、切れ、泡、リムの損傷、ラグボルトとナットの不足がないか確認します。

1. タイヤが損傷していないか点検します。
2. 正確なゲージを使用してタイヤ空気圧を点検します。
3. タイヤの空気圧が同じか点検します。必要に応じて空気量を増減します。(正しいタイヤ空気圧については、「仕様」セクションを参照してください)。

OUC2005,000029A-40-27MAR14

エンジンオイルレベルの点検

重要： 損傷を防止してください。ごみや他の汚染物質がオイルディップスティックチューブから入らないようにしてください。ディップスティックを取り外す前にディップスティックの周りを清掃してください。

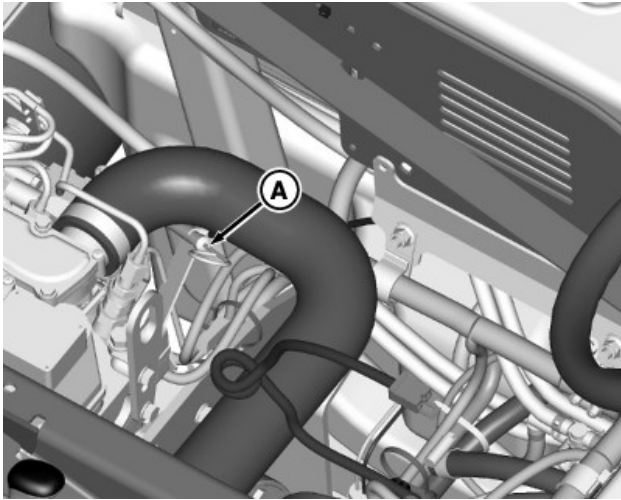
定期的なオイルレベルの点検を怠ると、オイルレベルが低い場合に重大なエンジンの問題が発生することがあります。

- 運転の前にオイルレベルを点検してください。
- エンジン冷間時、運転されていないときにオイルレベルを点検してください。

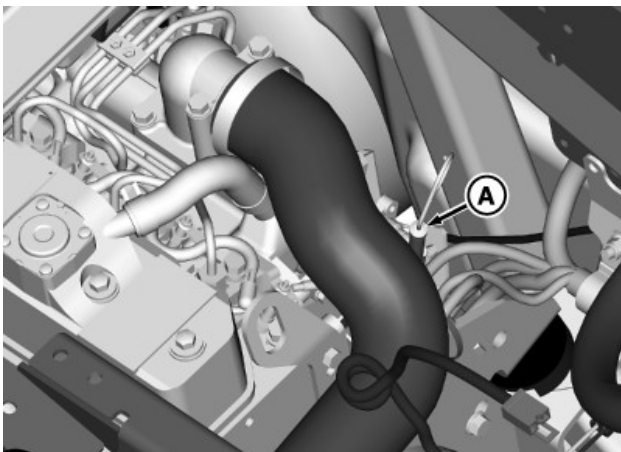
組み立て

- フルマークと追加マークの間にレベルを維持してください。
- オイルを追加する前に、エンジンを停止してください。
- 1日に4時間以上エンジンを運転する場合は、オイルレベルを1日に2回点検してください。

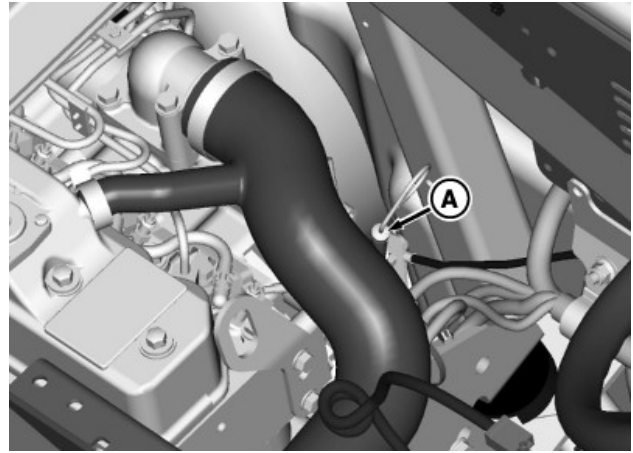
1. 機械を安全に駐車します。(「安全」セクションの「安全な駐車」を参照してください。)
2. オペレータシートプラットフォームを前に傾けます。



TCT010630—UN—21MAR14
図：モデル 1550

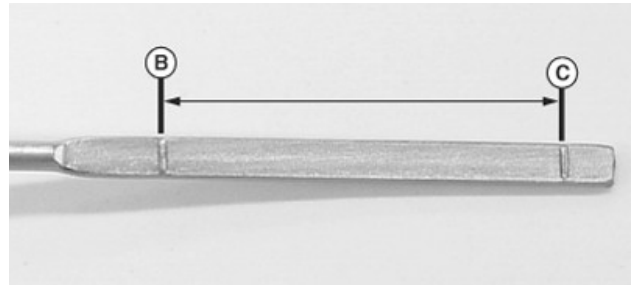


TCT010753—UN—27MAR14
図：モデル 1570、1575



TCT010754—UN—27MAR14
図：モデル 1580、1585

3. シート下のエンジンの左側にあるディップスティック (A) を取り外します。ディップスティックをきれいな布で拭きます。



TCAL43345—UN—14MAR13

4. ディップスティックを取り付けて、もう一度取り外します。オイルレベルを点検します。オイルレベルは、ディップスティックのレベル (B) と (C) の範囲内にある必要があります。

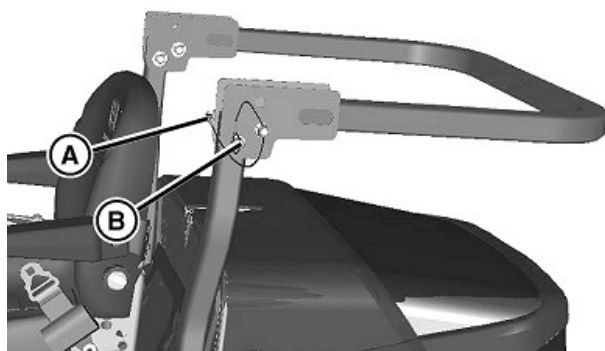
- オイルが少ない場合は、ディップスティックのレベル (B) 以下までオイルを追加します。
- オイルレベルがディップスティックのレベル (B) を超えている場合は、適切なレベルになるまでオイルを抜きます。

5. ディップスティックを取り付けます。
6. オペレータシートプラットフォームを下げます。

OUMX068,0000693-40-27MAR14

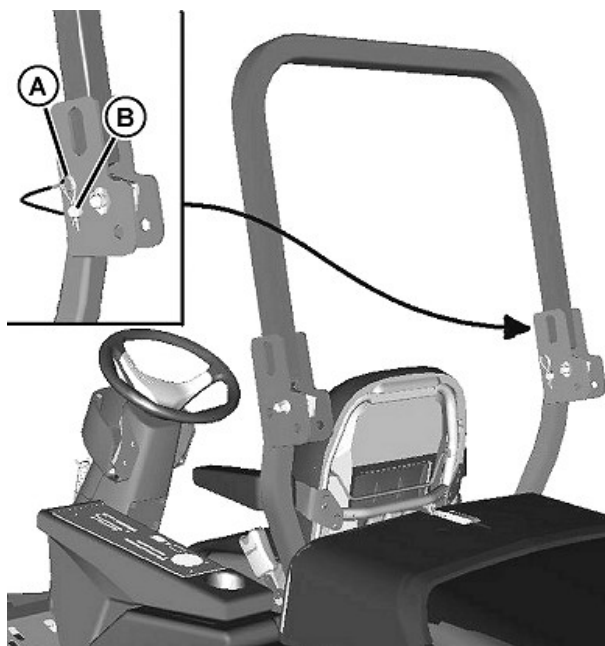
組み立て

ROPS を上げる



TCT007882—UN—11JUL13

1. ROPS の左右にあるドリルピン (B) からスプリングピン (A) を取り外します。
2. ROPS の左右にあるドリルピンを取り外します。

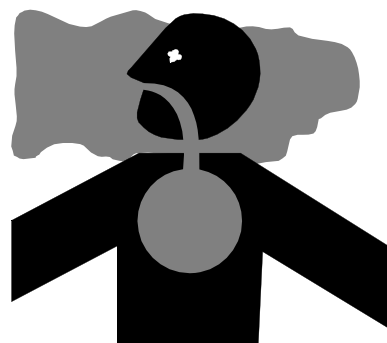


TCT007883—UN—01NOV13

3. ROPS を直立位置まで押します。
4. ROPS の左右の穴にドリルピン (B) を取り付けて、スプリングピン (A) でその位置に固定します。

OOU2005,000029B-40-05NOV13

安全システムのテスト



TCAL41599—UN—22JAN13

⚠ 注意： エンジンの排気ガスは一酸化炭素を含んでおり、深刻な疾患や死亡の原因になります。

- エンジンを運転する前に、機械を屋外に移動させてください。
- 適切な換気装置がない密閉された場所でエンジンを運転しないでください。
- エンジンの排気管に延長管を接続して、排気ガスをエリア外に排出してください。
- 屋外の新鮮な空気を作業エリアに取り込み、排気ガスを除去してください。

機械を使用する前に、機械に装備されている安全システムを点検する必要があります。これらの安全システムの点検を実施する前に、機械のオペレータマニュアルをよく読み、機械の運転を完全に習得してください。

機械の通常の運転のための点検手順については、以下に従ってください。

これらの手順中に故障が確認された場合は、機械を運転しないでください。整備については、認定された取扱店にお問い合わせください。

これらのテストは、開放されたエリアで行ってください。人を近づけないでください。

OOU1023,0000464-40-14MAR13

PTO スイッチのテスト

1. シートに座ってシートがオペレータの体重に合わせて正しく調整されていることを確認します。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
2. パーキングブレーキをかけます。
3. PTO スイッチをオンにします。スイッチの PTO ノブを「ON」位置まで引き上げます。
4. エンジンの始動を試みます。

結果： スタータモーターは回りません。回った場合、安全インターロック回路に問題があります。

組み立て

5. パーキングブレーキを解除します (PTO スイッチはオンのままです)。エンジンの始動を試みます。

結果：スタータモーターはかみ合いません。かみ合った場合、安全インターロック回路に問題があります。

OUO2005,0000062-40-04NOV13

シートおよびパーキングブレーキスイッチのテスト

1. シートに座ってシートがオペレータの体重に合わせて正しく調整されていることを確認します。(シートスイッチが作動するようにシートが少し沈む必要があります)。
2. 以下の手順に従って PTO スイッチをオフにします。スイッチの PTO ノブを「OFF」位置まで押し下げます。
3. マスターブレーキペダルを踏み込みます。
4. エンジンを始動します。
5. マスターブレーキペダルを解除します。
6. シートから腰を上げますが、機械からは降りないでください。

結果：数秒後にエンジンが停止する必要があります。エンジンが停止しない場合、安全インターロック回路に問題があります。

OUO2005,0000063-40-04NOV13

パーキングブレーキのテスト

機械を 17° の斜面 (30% 勾配) に停車します。エンジンを停止してパーキングブレーキをかけます。

結果：パーキングブレーキは機械を静止状態に保持しなければなりません。(ANSI 規格では 1 時間に 61cm (24 in) 未満の動きは許容されています)。これ以上機械が動く場合は、ブレーキを調整する必要があります。John Deere 取扱店にお問い合わせください。

OUO1023,0000467-40-13MAR13

仕様

エンジン

1550 のエンジン

エンジンモデル番号	Yanmar 3TNV80F
エンジンの種類	4 サイクル、3 気筒、直列ディーゼル
排気量	1.267 L (77.3 cu in)
ボア	80 mm (3.15 インチ)
ストローク	84 mm (3.31 インチ)
バルブクリアランス	0.2 mm (0.008 インチ)
冷却	液冷式
インジェクションの種類	インダイレクト
エアクリーナ	ドライ、交換式デュアルエレメント
始動補助装置	グロープラグ

1570、1575 のエンジン

エンジンモデル番号	Yanmar 3TNV82F
エンジンの種類	4 サイクル、3 気筒、直列ディーゼル
排気量	1.331 L (81.2 cu in)
ボア	82 mm (3.07 インチ)
ストローク	84 mm (3.31 インチ)
バルブクリアランス	0.2 mm (0.008 インチ)
冷却	液冷式
インジェクションの種類	ダイレクト
エアクリーナ	ドライ、交換式デュアルエレメント
始動補助装置	グロープラグ

1580、1585 のエンジン

エンジンモデル番号	Yanmar 3TNV88F
エンジンの種類	4 サイクル、3 気筒、直列ディーゼル
排気量	1.642 L (100.2 cu in)
ボア	88 mm (3.46 インチ)
ストローク	90 mm (3.54 インチ)
バルブクリアランス	0.2 mm (0.008 インチ)
冷却	液冷式
インジェクションの種類	ダイレクト
エアクリーナ	ドライ、交換式デュアルエレメント
始動補助装置	グロープラグ

OUO2005,000007C-40-27MAR14

容量

燃料タンク	60.5 L (16.0 gal)
クーラント (1550)	7.1 L (7.5 qt)
クーラント (1570、1575、1580、1585)	7.6 L (8.0 qt)
ハイドロスタティックトランスミッション (2WD)	8.5 L (9 qt)
ハイドロスタティックトランスミッション (1550、1570、4WD)	8.7 L (9.2 qt)
ハイドロスタティックトランスミッション (1575、1580、1585)	10.0 L (10.5 qt)
リア車軸 (4WD)	4.7 L (5 qt)
エンジンオイル容量 1550 (フィルタを含む)	3.1 L (3.3 qt)
エンジンオイル容量 1570、1575、1580、1585 (フィルタを含む)	4.1 L (4.3 qt)
キャブ冷媒	1.13 kg (2.5 lb)

OUO2005,000007D-40-09NOV18

仕様

締め付けトルク

前輪	122 N・m (90 lb・ft)
後輪 : 4WD	122 N・m (90 lb・ft)
後輪 : 2WD	82 N・m (60 lb・ft)

OUO2005,000007F-40-13MAR20

走行速度

1550, 1570, 1575

前進	0 ~ 12 km/h (0 ~ 7.5 mph)
後退	0 ~ 5 km/h (0 ~ 3.1 mph)

1580, 1585

前進 (ローレンジ)	0 ~ 13.7 km/h (0 ~ 8.5 mph)
前進 (ハイレンジ)	0 ~ 24.1 km/h (0 ~ 15.0 mph)
後退 (ローレンジ)	0 ~ 6.8 km/h (0 ~ 4.2 mph)
後退 (ハイレンジ)	0 ~ 12.9 km/h (0 ~ 8.0 mph)

OUO2005,0000080-40-30JUL13

タイヤの寸法

1550, 1570

前輪駆動タイヤ : 標準	23x10.50-12
前輪駆動タイヤ : オプション	23x8.50-12
前輪駆動タイヤ : ダブル	23x8.50-12
リアタイヤ : 2WD	18x8.50-8
リアタイヤ : 4WD	18x8.50-10

1575

前輪駆動タイヤ : 標準	23x10.5-12
リアタイヤ	18x8.5-10

1580, 1585

前輪駆動タイヤ : 標準	26x12-12
リアタイヤ	20x10-10

OUO2005,0000081-40-30JUL13

仕様

タイヤ空気圧

1550

フロントおよびリアタイヤ 140 kPa (20 psi)

1570, 1575

前部 140 kPa (20 psi)

リアタイヤ : 2 輪駆動 140 kPa (20 psi)

リアタイヤ : 4 輪駆動 220 kPa (32 psi)

1580, 1585

前部 210 kPa (30 psi)

リアタイヤ 220 kPa (32 psi)

OUO2005,000007E-40-18DEC14

寸法

高さ (キャビン付き) 2.2 m (86.6 in)

幅 (標準タイヤ装着時) 1.3 m (51.7 in)

長さ (モアデッキ非装備時) 2.2 m (86.6 in)

軸距 1.3 m (49.2 in)

重量 (モアデッキまたは燃料を含まず) 844 kg (1860 lb)

地上高 (1550、1570、1575) 16.5 cm (6.5 in)

地上高 (1580、1585) 17.8 cm (7 in)

OUO2005,0000082-40-17MAR14

騒音測定値

ISO 11201:1995 によるワークステーションでの平均騒音レベル

項目	仕様
1550 (モアデッキ非装備時)	85 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3170 rpm 時)
1570 (モアデッキ非装備時)	84 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3090 rpm 時)
1575 (モアデッキ非装備時)	86 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3170 rpm 時)
1580 (モアデッキ非装備時)	84 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3080 rpm 時)
1585 (モアデッキ非装備時)	87 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3210 rpm 時)

OUO2005,000029C-40-26JUN14

騒音レベル

指令 2009/63/EC (2) 準拠の測定方法

項目	仕様
最大通過騒音	84 dB(A)

OUO2005,000029D-40-26JUN14

仕様

振動測定値

「ハンドアーム」システムがさらされる全振動は重み付きの $2.5 \text{ m/s}^2 \text{ rms}$ を超えません。

ISO5395-1 により測定された全身振動 $0.4 \sim 1.0 \pm 0.1 \text{ m/s}^2$

注記：上記の値または範囲は、代表的な機械で実際の芝刈りおよび輸送条件中に全身がさらされる補正加速度実効値を表しています。加速度値は、地面の凹凸、トラクターの速度、およびオペレータ自身の体重と運転の傾向により異なります。測定値は、ISO5395-1 の STD 手順に従って実際のフィールドデータを通じて得られています。

振動

振動ストレスの評価には John Deere 取扱店がお手伝いいたします。

振動を減らす方法

OUO2005,000029E-40-07JAN15

- 適切な運転スタイル (速度が速すぎないなど)
- 運転席を正しく調整する
- タイヤ空気圧を調整する
- メンテナンス計画に対して整備された機械

OUO2005,000029F-40-09NOV18

60 in サイドディスチャージモアデッキの騒音測定値

騒音測定値

1550 フロントモア	86 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3140 rpm 時)
1570 フロントモア	86 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3085 rpm 時)
1575 フロントモア	85 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3150 rpm 時)
1580 フロントモア	86 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3100 rpm 時)
1585 フロントモア	88 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3180 rpm 時)

音響パワー測定値

1570 フロントモア	102 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3085 rpm 時)
1575 フロントモア	103 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3150 rpm 時)
1580 フロントモア	105 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3100 rpm 時)
1585 フロントモア	106 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3180 rpm 時)

OUMX068,0000676-40-07JAN15

60 in GLC サイドディスチャージモアデッキの騒音測定値

騒音測定値

1570 フロントモア	93 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3090 rpm 時)
1580 フロントモア	93 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3000 rpm 時)
1585 フロントモア	88 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3070 rpm 時)

仕様

音響パワー測定値

1570 フロントモア	108 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3090 rpm 時)
1580 フロントモア	107 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3000 rpm 時)
1585 フロントモア	108 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3040 rpm 時)

OUMX068,0000677-40-07JAN15

62 in リアディスチャージモアデッキの騒音測定値

騒音測定値

1550 フロントモア	87 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3150 rpm 時)
1570 フロントモア	86 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3080 rpm 時)
1575 フロントモア	83 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3140 rpm 時)
1580 フロントモア	86 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3060 rpm 時)
1585 フロントモア	87 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3210 rpm 時)

音響パワー測定値

1570 フロントモア	103 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3080 rpm 時)
1575 フロントモア	103 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3140 rpm 時)
1580 フロントモア	104 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3060 rpm 時)
1585 フロントモア	104 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3060 rpm 時)

OUMX068,0000678-40-07JAN15

72 in サイドディスチャージモアデッキの騒音測定値

騒音測定値

1550 フロントモア	87 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3150 rpm 時)
1570 フロントモア	85 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3080 rpm 時)
1575 フロントモア	86 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3140 rpm 時)
1580 フロントモア	85 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3050 rpm 時)
1585 フロントモア	87 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3160 rpm 時)

音響パワー測定値

1570 フロントモア	103 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3080 rpm 時)
1575 フロントモア	104 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3140 rpm 時)
1580 フロントモア	105 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3050 rpm 時)
1585 フロントモア	104 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3160 rpm 時)

OUMX068,0000679-40-07JAN15

仕様

72 in GLC サイドディスチャージモアデッキの騒音測定値

騒音測定値

1570 フロントモア	95 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3060 rpm 時)
1580 フロントモア	93 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3000 rpm 時)
1585 フロントモア	89 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3070 rpm 時)

音響パワー測定値

1570 フロントモア	108 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3060 rpm 時)
1580 フロントモア	107 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3000 rpm 時)
1585 フロントモア	107 ± 1 dB(A) (エンジン回転数 3070 rpm 時)

OUMX068,000067A-40-07JAN15

法規遵守の宣言

EC 法規遵守の宣言

Deere & Company
Moline, Illinois U.S.A.

下記署名者は以下を宣言します。

機械の種類： フロントモア (DSL FRT MOW)

モデル： 1550

シリアル番号： 製品識別ページ参照

上記の製品は、以下の指令と関係するあらゆる規定および基本要件をすべて満たしています：

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認証
電磁環境適合性指令	2014/30/EU	自己認証
騒音に関する指令	2000/14/EC (Annex VI、Procedure 2)	第三者機関証明書
		認定機関
測定音響出力レベル		AV Technology Unit 2 Easter Court Europa Boulevard Warrington, Cheshire WA5 7ZB, UK
1550	103.6 dB(A)	
保証音響出力レベル		
1550	105 dB(A)	

技術構造ファイルの編集権限を与えられた欧州共同体担当者の氏名および住所：

Brigitte Birk
John Deere GmbH & Co. KG
Mannheim Regional Center
John Deere Strasse 70
D-68163 Mannheim

宣言場所： Fuquay-Varina, NC USA

宣言日： 2016 年 1 月 31 日

製造ユニット： John Deere Turf Care



DXCE01—UN—28APR09

氏名： Dan Thiemke

役職： Product Engineering Manager, Commercial
Mowing

OUO2005,0000370-40-17JUL17

TCT015240—UN—28MAR17

法規遵守の宣言

EC 法規遵守の宣言

Deere & Company
Moline, Illinois U.S.A.

下記署名者は以下を宣言します。

機械の種類： フロントモア (DSL FRT MOW)

モデル： 1570、1575、1580、1585

シリアル番号： 製品識別ページ参照

上記の製品は、以下の指令と関係するあらゆる規定および基本要件をすべて満たしています：

指令	番号	認定方法
機械指令	2006/42/EC	自己認証
電磁環境適合性指令	2014/30/EU	自己認証

技術構造ファイルの編集権限を与えられた欧州共同体担当者の氏名および住所：

Brigitte Birk
John Deere GmbH & Co. KG
Mannheim Regional Center
John Deere Strasse 70
D-68163 Mannheim

宣言場所： Fuquay-Varina, NC USA

宣言日： 2016 年 1 月 31 日

製造ユニット： John Deere Turf Care



DXCE01—UN—28APR09

TCT015240—UN—28MAR17

氏名： Dan Thiemke

役職： Product Engineering Manager, Commercial
Mowing

MX00654,0000032-40-17JUL17

サービスに関する声明

John Deere 製部品



TCT007370—UN—07MAY13

当社は、正規の John Deere 製部品を迅速にお届けして、ダウンタイムを最小限に抑えます。

豊富で充実した在庫を常に維持し、お客様のニーズを先取りしてお応えいたします。

OUMX068,00004C0-40-07MAY13

担当者がお客様の機器とそのメンテナンス方法を確実に理解しているように、訓練教育は定期的に行われています。

その成果は信頼してお試しいただけます。安心してお任せいただける、経験に裏付けられたサービスとしてお客様に提供されます。

OUMX068,00004C2-40-07MAY13

迅速なサービス



TCT007589—UN—07MAY13

当社の目標は、お客様の望む時に、お客様の望む場所で、迅速で効率的なケアを提供することです。

お客様の所在地、または当社にて、それぞれの状況に応じた修理を行うことができます。何でもご安心してご相談ください。

卓越した JOHN DEERE のサービス：いつでも必要な時にお応えいたします。

OUMX068,00004C3-40-07MAY13

適切な工具



TCT007371—UN—07MAY13

お客様の時間と経費を無駄にしないように、当社のサービス部門は、精密工具と検査機器を使用して迅速に故障を特定し、修理を行います。

OUMX068,00004C1-40-07MAY13

十分な訓練を受けた技術者



TCT007588—UN—07MAY13

John Deere の整備士は常に技術を磨いています。

整備記録

整備日の記録

[illegible]

TH84124,000022B-40-05SEP12

索引

P	
PTO シャフト、潤滑	41
PTO スイッチ、テスト	25, 83

R	
ROPS、上げる / 下げる	33
ROPS、組み立て時に上げる	83

う	
ウォーターセパレータ、抜き取り (1570、1575、1580、1585)	53

え	
エアクリーナエレメント、整備	48
エンジン、始動	34
エンジン、停止	34
エンジンオイル	
フィルタ、交換	45
レベル、点検	44, 81
エンジンカバー、開く	29
エンジンのトラブルシューティング	76

お	
オイル、エンジン	43
オイル、トランスアクスル、交換	56
オイルクーラーとラジエータの清掃	46
オイルレベル、トランスアクスル	56
オペレータディスプレイ、使用	31
オペレータのトレーニングが必要です	11
オルタネータベルト、調整	54

き	
キャビン、ROPS (転倒時保護構造) の取り付けの点検	
ROPS (転倒時保護構造) の取り付け、キャビンの点検	72
キャビン、エアコンの整備	
エアコン、キャビン、整備	69
キャビン、乗降	24
キャビンのエアフィルタ、清掃	71
キャブのコントロール	28

く	
クーラント、エンジン	50
クーラントレベル、点検	50
グリース	40
クリーブの調整	57

こ	
コントロール類、運転席	19

さ	
サービスハッチ、開く	30

し	
シート、調整	26
シート、調整 (デラックスサスペンション)	25
シートスライド、潤滑	42
シートプラットフォーム、上げる / 下げる	43

す	
スイッチ、PTO の使用	27
スイッチ、キーの使用	27
スイッチ、シートおよびパーキングブレーキのテスト	
ト	25, 84
スクリーン、エンジンカバーの清掃	46
ステアリングコラム、調整	27
ステアリングコラムのチルトロック、潤滑	42
ステアリングシリンダ、潤滑	40
ステアリングスピンドル、潤滑	41
スロットルレバー、使用	28

た	
タイロッド、潤滑	40
タイロッドトーイン調整	60
ダストアンローディングバルブ、清掃	49

ち	
チルトロックの調整、ステアリングコラム	61

て	
ディーゼル燃料、使用	68

と	
トラブルシューティング表	76
トランスアクスルオイル	56
トランスアクスルドライブシャフト、潤滑	41

は	
ハイドロスタティックリンケージ、潤滑	41
バッテリー、ブースターの使用	64
バッテリー、安全な整備	63
バッテリー、取り付けと取り外し	63
バッテリー、組み立て時の充電と接続	81
バッテリーと端子、清掃	64

ひ	
ヒューズ	
点検と交換	65
キャビン、1575 および 1585	66

ふ	
フィルタ目詰まりインジケータ、点検	47
プラスチック面、清掃	72
プラスチック面や塗装面、損傷の防止	24
ブレーキ、パーキングのテスト	25, 84
ブレーキ、使用	32

索引

ブレーキペダルリンケージ、潤滑 42

へ

ペダル、トラクションアシストの使用 32

ペダル、ハイドロスタティックの使用 32

ベルト、オルタネータの交換 54

ほ

ホイールの取り外しと取り付け、後輪 73

ホイールの取り外しと取り付け、前輪 72

ホースとクランプの点検、エアインテーク 49

ホースの点検、ラジエータ 49

り

リア車軸オイル 58

リア車軸オイル、交換 59

リア車軸のオイルレベル 58

漢字

安全、タイヤ 17

安全システム、テスト 24, 83

安全な牽引 15

安全な保管 78

安全ラベル、警告：挟み込み防止 TCU31702 8

慣らし運転整備間隔 38

技術マニュアル 37

金属面、補修と清掃 71

後退ペダルと前進ペダルの調整 57

車軸ピボットピン、潤滑 40

準備 11

振動 88

整備用ラッチ、使用 69

組み立て時のタイヤ空気圧、点検 81

装置、上昇と下降 33

測定値

振動 88

騒音 87

電解液レベル、バッテリーの点検 63

電気のトラブルシューティング 77

燃料システム

プライミング 53

燃料シャットオフバルブ、使用 32

燃料タンク、注入 68

燃料の安全 17

燃料の保管 78

燃料フィルタ

交換 (1570、1575、1580、1585) 53

整備 (1550) 52

排出ガス

必要な言語

EPA 2

部品、交換 37

保管、機械の準備 78

保管、機械の復帰 79

冷却システム、安全な整備 50

冷却システム、整備 51